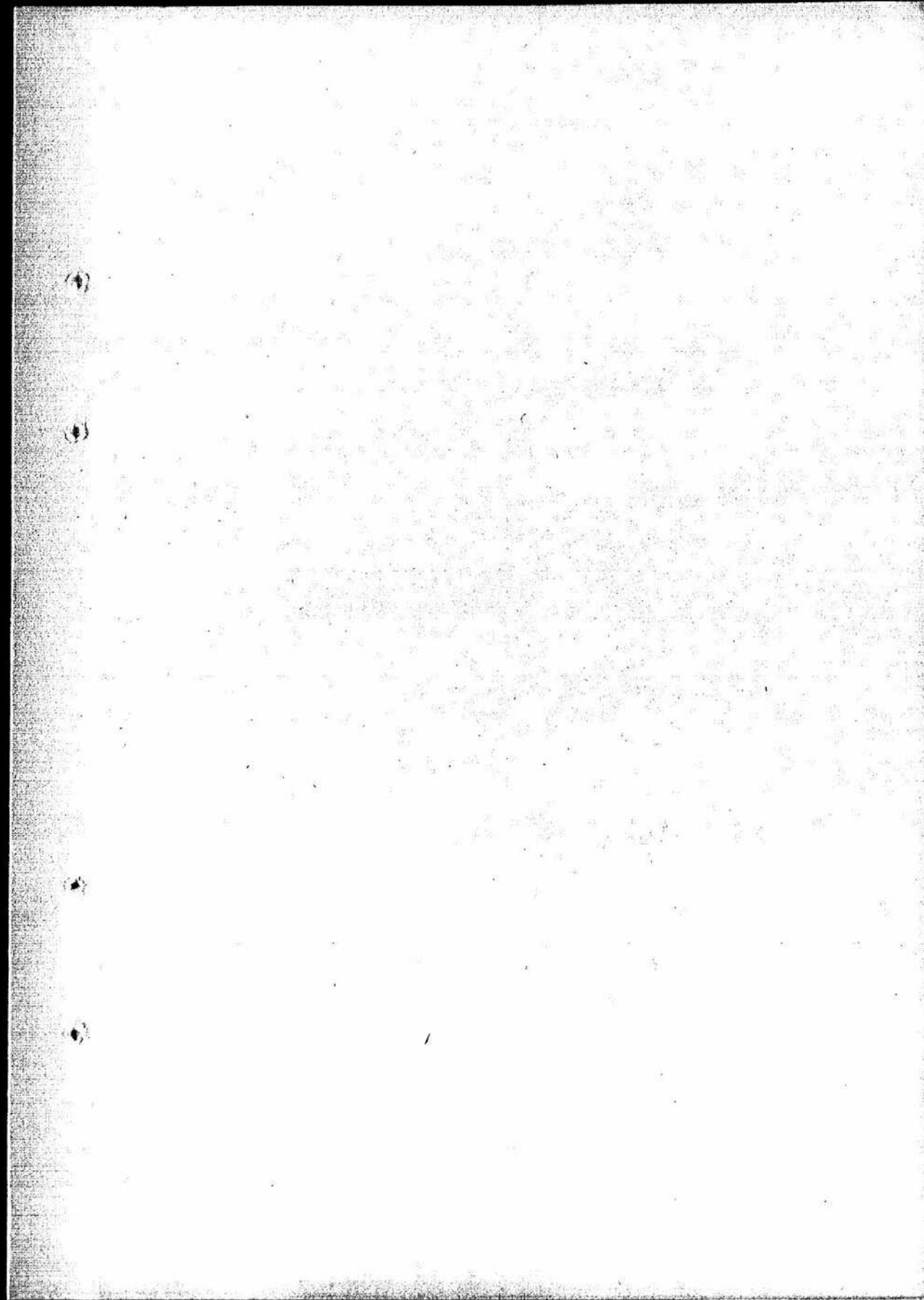


0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

国立公文書館	
分類	
	⑫ ⑬
配架番号	3 A
	15
	60-3-1



# 商工經濟會法

## 吉田

22470-1

WPC  
22470-1



国立公文書館	
分類	③ ④
配架番号	3 A
	15
	60-3-1

裏面白紙

60-3-1

大日本帝國政府

商工會議所法改正法律要綱	一七、二二、二四	附議決定	1.
商工經濟會法案	一七、二二、二二		2.

(規定規格 5 公 × 3 公 耗)

裏面白紙





商工經濟會法ニ關シ議會ニ於ケル質疑豫想事項

- 現時局下ニ於テ商工經濟會設立ノ積極的理山如何
- 現行商工會議所法改正ノ手續ニ依ラザリシ理由
- 從來ニ於ケル商工會議所ノ業績トソノ發展的解消ニ至レル經緯如何
- 日本商工會議所ヲ解散セル後何故ニ之ニ代ルベキ新法人ヲ設立セザルヤ
- 本法案ノ立案ニ際シテハ商工會議所ノ意見ヲ參酌シタルヤ
- 歐米諸國ニ於ケル商工會議所ノ現狀如何
- 構成員指定ノ標準如何
- 本法成立後商工經濟會ノ經費賦課ニ關スル當局ノ意圖如何
- 支部ノ運用方針如何
- 新法ト現行法トノ相違點

裏面白紙

商 工 省

- 一 本法公布後商工經濟會設立ニ至ル迄ノ手續ヲ如何ニスル方針ナリヤ
- 一 商工經濟會ト大政翼贊會ト抵觸スルコトナキヤ
- 一 商工經濟會ノ聯合組織ニ對付當局ハ如何様ニ考慮シアリヤ
- 一 商工經濟會ノ具體的事業如何
- 一 商工經濟會ニ對シ政府ハ官廳權限ヲ委讓スル準備アリヤ
- 一 本法案ト商工組合法案トノ關係如何
- 一 商工經濟會ノ會員數及豫算額ハ凡ソ幾許ノ豫定ナリヤ
- 一 統制會其ノ他各種統制團體トノ關係如何
- 一 地方廳トノ具體的關係如何
- 一 全國ヲ一地區トスル産業經濟團體ハ何レノ會ノ會員トスベキヤ



裏面白紙

商 工 省

役員ハ名譽職ナリヤ  
新法律案第二十三條ニ依ルニ個以上ノ議決權ハ如何ナル團體ニ與ツルヤ

本法ノ施行期日ハ何時頃ナリヤ  
現存商工會議所ハ全部支部トナスヤ、又商工會議所現存地域以外ノ重要ナル地ニ商工經濟會ノ支部ヲ設置スル意アリヤ  
地方事務所トノ關係如何

各條ニ行政官廳トアルハ地方官廳ナリヤ中央官廳ナリヤ  
商工經濟會法第四十三條ニ依リ商工會議所ノ解散シタル場合其ノ清算規程ニ付テハ商工會議所法ノ清算規定及同法ノ清算規定ハ適用セザル旨規定アルモ之ニ付テハ如何ナル方法ニヨリテ處置スルヤ  
例ハバ(1)現在商工會議所ノ所有セル財産ノ不動産ノ動産  
(2) 借入金

(a) 現在ノ會議所ニ勤務セル事務局職員  
(b) 現存職員ノ退職給與金等

商工經濟會法施行規則案

一八、一、八

第一條 商工大臣商工經濟會法（以下法ト稱ス）第六條第一項ノ規定ニ依リ商工經濟會ノ設立ヲ命ズル場合ニ於テハ左ニ掲グル事項ヲ指定シ之ヲ告示ス

一 地區

二 設立ノ認可ヲ申請スベキ期限

前項ノ場合ニ於テ商工大臣會員タル資格ヲ有スル者（以下有資格者ト稱ス）ノ申ヨリ地方長官ノ意見ヲ徵シ設立委員ヲ命ジ其ノ氏名又ハ名稱及住所ヲ告示ス

前項ノ告示アリタルトキハ設立委員ハ遲滯ナク創立總會ヲ招集スベシ

第二條 創立總會ヲ招集スルニハ有資格者ニ對シ少クトモ二週間前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ示シ招集ノ通知ヲ發スベシ

第三條 左ニ掲グル事項ハ創立總會ニ於テ定ムベシ



一定款

二 商工經濟會ノ負擔ニ歸スベキ創立費及其ノ償却方法

三 初年度ノ收支豫算及初年度ニ於ケル法第二十四條ノ規定ニ依ル賦課金ノ賦課徴收方法

第四條 創立總會ノ議決ハ有資格者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ以テ之ヲ爲ス

創立總會ニ於テ有資格者ハ代理人ヲ以テ議決權ヲ行フコトヲ得但有資格者ニ非ザレバ代理人タルコトヲ得ズ

代理人ハ代理權ヲ證スル書面ヲ差出スベシ

第五條 創立總會終結シタルトキハ設立委員ハ遲滞ナク商工經濟會ノ

設立認可ヲ申請スベシ

設立認可申請書ニハ定款、創立總會ノ議事録ノ謄本並ニ第三條第二號及第三號ニ掲グル事項ヲ記載シタル書面ヲ添附スベシ

第六條 監事ノ選任ハ評議員ノ過半数ヲ以テ之ヲ爲ス

第七條 商工大臣法第十四條第一項ノ規定ニ依ル任命ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ告示スベシ

副會頭、理事長、理事、評議員及支部長ノ任命若ハ解任ヲ爲シタルトキ又ハ監事ノ選任アリタルトキハ遲滯ナク其ノ氏名、履歷書及住所ヲ商工大臣及地方長官ニ届出ズベシ

第八條 商工經濟會ノ事業年度ハ毎年四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

第九條 商工經濟會ハ毎年七月末日迄ニ前年度ノ收支決算及事業成績ヲ商工大臣及地方長官ニ届出ズベシ

前項ノ届出書ニハ前年度末日現在ニ依リ調製シタル財産目錄及貸借對照表ヲ添附スベシ

第十條 商工經濟會定款ノ變更ノ認可ヲ受ケントスルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ<sup>商工</sup>事務大臣ニ提出スベシ

一 變更スベキ條文

二 變更ヲ必要トスル事由

前項ノ申請書ニハ總會ノ議事録ノ謄本ヲ附スベシ

第十一條 商工經濟會收支豫算及賦課金ノ賦課徵收方法ノ認可ヲ受ケ  
ントスルトキハ收支豫算ノ明細書及總會ノ議事録ノ謄本ヲ添附シ年  
度開始前一ヶ月以前ニ地方長官ニ申請スベシ

收支豫算及賦課金ノ賦課徵收方法ニ變更セントスルトキハ前項ヲ準  
用ス

第十二條 商工經濟會借入金ヲ爲サントスルトキハ金額、利率、期間、  
擔保ノ有無及種別、借入先、借入ヲ必要トスル事由竝ニ償還ノ方法  
ヲ具シ地方長官ノ認可ヲ申請スベシ

第十三條 法第三十二條ノ規定ニ依ル定款ノ變更ハ商工大臣之ヲ命ズ

第十四條 法第十條ノ規定ニ依ル登記ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク登記  
簿謄本ヲ商工大臣及地方長官ニ提出スベシ

第十五條 本令ノ規定（但第十二條ヲ除ク）ニ依リ商工大臣ニ提出ス



裏面白紙

商工省

ベキ書類ハ地方長官ヲ經由スベシ  
コノ場合地方長官ハ意見ヲ具シ  
遲滞ナク商工大臣ニ申達スベシ



商 工 省

商工經濟會法施行令案

一七 一三 一五

第一條 商工經濟會成立シタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ二週間

内ニ左ニ掲グル事項ヲ登記スルコトヲ要ス

一 名稱

二 地區

三 事務所

四 成立ノ年月日

五 會頭、副會頭、理事長、理事及監事ノ氏名及住所

前項ニ掲グル事項中ニ變更ヲ生ジタルトキハ二週間内ニ變更ノ登記  
ヲ爲スコトヲ要ス

第二條 商工經濟會成立ノ後新ニ事務所ヲ設ケタルトキハ其ノ事務所  
ノ所在地ニ於テハ二週間内ニ前條第一項ニ掲グル事項ヲ登記スルコ  
トヲ要ス但シ現ニ存スル事務所ノ所在地ノ登記所ノ管轄區域内ニ  
於テ新ニ事務所ヲ設ケタルトキハ其ノ事務所ヲ設ケタルコトヲ登記  
スルヲ以テ足ル

裏面白紙



第三條 商工經濟會ガ事務所ヲ移轉シタルトキハ舊所在地ニ於テハ二週間内ニ移轉ノ登記ヲ爲シ新所在地ニ於テハ二週間内ニ第一條第一項ニ掲グル事項ヲ登記スルコトヲ要ス但シ同一ノ登記所ノ管轄區域内ニ於テ事務所ヲ移轉シタルトキハ其ノ移轉ノ登記ヲ爲スヲ以テ足ル

第四條 商工經濟會ノ解散ノ命令アリタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ二週間内ニ解散ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第五條 商工經濟會ハ解散ノ後ト雖モ清算ノ目的ノ範圍内ニ於テハ仍存續スルモノト看做ス

第六條 主務大臣商工經濟會ノ解散ヲ命ジタルトキハ地方長官ハ職權ヲ以テ清算人ヲ選任ス

地方長官必要アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ清算人ヲ解任スルコトヲ得

第七條 清算人ハ商工經濟會ヲ代表シ清算ヲ爲スニ必要ナル一切ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス



第八條 清算人ハ清算及財産處分ノ方法ヲ定メ地方長官ノ認可ヲ受クベシ  
地方長官必要アリト認ムルトキハ清算人ニ對シ清算及財産處分ノ方法ノ變更其ノ他監督上必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第九條 商工經濟會ハ解散ノ後ト雖モ地方長官ノ認可ヲ受ケ其ノ債務ヲ完済スルニ必要ナル金額ヲ賦課徴收スルコトヲ得

第十條 商工經濟會法第二十條ノ規定ハ前項ノ賦課徴收ニ關シ之ヲ準用ス  
民法第七十九條及第八十條ノ規定ハ商工經濟會ノ清算ニ之ヲ準用ス

第十一條 商工經濟會ノ清算人ノ選任アリタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ二週間内ニ清算人ノ氏名及住所ヲ登記スルコトヲ要ス

第十二條 商工經濟會ノ清算結了シタルトキハ各事務所ノ所在地ニ於テ二週間内ニ清算結了ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第十三條 本令ニ依リ登記スベキ事項ニシテ行政官ノ認可ヲ要スルモノハ其ノ認可書ノ到達シタル時ヨリ登記ノ期間ヲ起算ス

裏面白紙

商工省

第十四條 商工經濟會ノ登記ニ付テハ其ノ事務所ノ所在地ノ裁判所  
 ヲ以テ管轄登記所トス

第十五條 登記シタル事項ハ裁判所選審ナク之ヲ公告スルコトヲ要ス

第十六條 非訟事件手續法第百二十五條第一項ハ第百五十一條及第百七  
 十七條ノ規定ヲ準用スル部分ヲ除ク一ノ規定ハ商工經濟會ノ登記ニ  
 之ヲ準用ス



商工省

商工經濟會法施行令案

第一條

商工經濟會成立シタルトキハ一週間以内ニ各事務所ノ所在地ニ於テ左ニ掲グル事項ヲ登記スルコトヲ要ス

一 名称

二 地區

三 事務所

四 成立ノ年月日

五 代表者ノ姓名及住所

六 前項ニ掲グル事項ニ變更ヲ生ジタルトキハ一週間以内ニ變更ノ登記ヲ爲ス

第二條

商工經濟會成立ノ後新ニ事務所ヲ設ケタルトキハ各事務所ノ

Handwritten notes and corrections in the top margin, including '登記簿', '事務所', and '代表者'.

Vertical handwritten notes on the left side of the page, including '商工省' and '登記簿'.

所在地ニ於テハ二週間以内ニ事務所ヲ設ケタルコトヲ登記シ新ニ設  
ケタル事務所ノ所在地ニ於テハ三週間以内ニ前條第一項ニ掲グル事  
項ヲ登記スルコトヲ要ス但シ現ニ存スル事務所ノ所在地ノ登記所ノ  
管轄區域内ニ於テ新ニ事務所ヲ設ケタルトキハ其ノ事務所ヲ設ケタ  
ルコトヲ登記スルヲ以テ足ル

第三條 商工經濟會ガ事務所ヲ移轉シタルトキハ舊所在地ニ於テハ二  
週間以内ニ移轉ノ登記ヲ爲シ新所在地ニ於テハ三週間以内ニ第一條  
第一項ニ掲グル事項ヲ登記スルコトヲ要ス但シ同一ノ登記所ノ管轄  
區域内ニ於テ事務所ヲ移轉シタルトキハ其ノ移轉ノ登記ヲ爲スヲ以  
テ足ル

第四條 商工經濟會ノ解散ノ命令アリタルトキハ各事務所ノ所在地ニ  
於テ解散ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第五條 商工經濟會ノ清算人ノ選任アリタルトキハ二週間以内ニ各事  
務所ノ所在地ニ於テ清算人ノ氏名及住所ヲ登記スルコトヲ要ス  
第一條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

三週間以内

第十七條、商工經濟會ノ清算結了シタルトキハ清算ハ二週間以内ニ各

事務所ノ所在地ニ於テ清算結了ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第十七條、登記シタル事項ハ裁判所選滞ナク之ヲ公告スルコトヲ要ス

非訟事件手續法第一百七條、第一百九條、第二百二十五條第一

項(第一百五十條)及第一百七十七條ノ規定ヲ準用スル部

分ヲ除クノ規定ハ商工經濟會ノ登記ニ之ヲ準用ス

第十八條、商工經濟會ハ解散ノ後ト雖モ清算ノ目的ノ範圍内ニ於テハ仍

存續スルモノト看做ス

第十九條、主務大臣商工經濟會ノ解散ヲ命ジタルトキハ地方長官ハ

清算人ヲ選任ス

主務大臣又ハ地方長官必要アリト認ムルトキハ清算人ヲ解任スルコ

トヲ得

第二十條、清算人ハ商工經濟會ヲ代表シ清算ヲ爲スニ必要ナル一切ノ

才由係、商工  
清算ノ登記ニ行  
才、其ノ事務所  
所在地ノ已裁利  
所ヲ以テ管轄  
記所トス

第十七條  
才由係  
才、其ノ事務所  
所在地ノ已裁利  
所ヲ以テ管轄  
記所トス

職推シテ

行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第十八條 清算人ハ清算及財産處分ノ方法ヲ定メ地方長官ノ認可ヲ受クベシ

非清算人地方長官必要アリト認ムルトキハ清算人ニ對シ清算及財産處分ノ方法ノ變更其ノ他監督上必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十九條 商工經濟會ハ解散ノ後ト雖モ地方長官ノ認可ヲ受ケ其ノ債務ヲ完済スルニ必要ナル金額ヲ賦課徵收スルコトヲ得

商工經濟會法第十八條及第二十條ノ規定ハ前項ノ賦課徵收ニ關シ之ヲ準用ス

第二十條 民法第七十九條及第八十條及第九十二條ノ規定ハ商工經濟會ノ清算ニ之ヲ準用ス

# 大日本帝國政府

## 一 地區

市又ハ町ヲ範圍トセルヲ道府縣ヲ區域トス

## 二 權成員

議員選舉制度ヲ改メ行政官廳ニ於テ權成員タル資格者ヲ指定シ其ノ指定ヲ受ケタル者ハ當然加入スルモノトス此ノ場合ニ於テ比較的大ナル事業者ハ單獨ニテ、然ラザル者ハ組合等ニ依リ團體加入スルモノトス

## 三 設立

任意設立ヲ命令設立トス

## 四 事業

單ナル商工業ノ改善向上ヲ主トシタルヲ地方産業經濟ニ關スル行政ニ對スル協力ヲ主トス

役員ノ任免等ハ從來當事者ノ意思ニ任サレタルヲ改メ行政官廳ノ任命(會頭)又ハ承認(副會頭、理事長、理事)副座下爲ス

裏面白紙

商工經濟會法案

イセ・シ・シ・用議決定

第一條 商工經濟會ハ國民經濟ノ總力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル爲國策ニ協力シ産業經濟ノ圓滑ナル連絡ヲ圖ルト共ニ其ノ改善向上ニ努ムルコトヲ目的トス

本法ニ於テ産業經濟トハ第五條第一號ニ掲グル事業ニ關スル産業經濟ヲ謂フ (旧ニ)

第二條 商工經濟會ハ法人トス (旧ニ)

第三條 商工經濟會ノ地區ハ道府縣ノ區域ニ依ル (旧三)

第四條 商工經濟會ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ニ掲グル事業ヲ行フ (旧七)  
一 當該地區内ニ於ケル産業經濟ニ關スル統制ニ對スル協力

二 當該地區内ニ於ケル産業經濟ノ運營又ハ整備ニ關スル連絡

三 當該地區内ニ於ケル産業經濟ノ改善向上ニ關スル施設

四 産業經濟ニ關スル調査及研究

五 前各號ニ掲グルモノノ外商工經濟會ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事

え



業

第五條 商工經濟會ノ會員タル資格ヲ有スル者ハ左ニ掲グル者ニシテ地方長官ノ指定スルモノトス

一 當該地區内ニ營業所、工場又ハ事業場ヲ有シ陶業、交易業、工業、鑛業、金融業、電氣事業、交通運輸業又ハ土木建築業ヲ營ム者

二 前號ニ掲グル事業ヲ營ム者ヲ以テ組織スル團體ニシテ當該地區内ニ事務所ヲ有スルモノ

三 前號ニ掲グル團體ノ外當該地區内ニ事務所ヲ有スル産業經濟ニ關スル團體

第六條 主務大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ前條ノ規定ニ依リ會員タル資格ヲ有スル者ニ對シ商工經濟會ノ設立ヲ命ズベシ

前項ノ規定ニ依ル設立ノ命令アリタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ創立總會ヲ開キ定款其ノ他商工經濟會ノ設立ニ必要ナル事項ヲ定メ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

第一項ノ規定ニ依リ設立ヲ命ゼラレタル者主務大臣ノ指定スル期限迄ニ設立ノ認可ヲ申請セザルトキハ主務大臣ハ定款ノ作成其ノ他設立ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第七條 商工經濟會ノ定款ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ (旧令)

- 一 名稱
  - 二 地區
  - 三 事務所ノ所在地
  - 四 會員ニ關スル規定
  - 五 事業及其ノ執行ニ關スル規定
  - 六 役員ニ關スル規定
  - 七 會議ニ關スル規定
  - 八 會計ニ關スル規定
  - 九 支部ニ關スル規定
- 第八條 商工經濟會ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ設立ノ登記ヲ爲ス (旧令)

ニ因リテ成立ス

第九條 商工經濟會成立シタルトキハ其ノ會員タル資格ヲ有スル者ハ  
總テ其ノ商工經濟會ノ會員トス

第十條 商工經濟會ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ登記ヲ爲スコトヲ要ス  
前項ノ規定ニ依リ登記スベキ事項ハ登記ノ後ニ非ザレバ之ヲ以テ第  
三卷ニ對抗スルコトヲ得ズ

第十一條 商工經濟會ハ其ノ名稱中ニ商工經濟會ナル文字ヲ用フベシ  
商工經濟會又ハ商工經濟會ヲ以テ組織スル團體ニ非ザル者ハ其ノ名  
稱中ニ商工經濟會ナル文字ヲ用フルコトヲ得ズ

第十二條 商工經濟會ニハ左ノ役員ヲ置クベシ

- |     |     |      |
|-----|-----|------|
| 會頭  | 一人  | 旧二七工 |
| 理事  | 若干人 | 旧三四工 |
| 監事  | 若干人 | 旧三三工 |
| 評議員 | 若干人 |      |



商工經濟會ニハ前項ノ役員ノ外定款ノ定ムル所ニ依リ副會頭二人以  
内又ハ理事長一人ヲ置クコトヲ得

第十三條 會頭ハ商工經濟會ヲ代表シ會務ヲ總理ス

副會頭ハ會頭ヲ輔佐シ豫メ會頭ヲ定ムル順位ニ依リ會頭事故アルトキハ其ノ職務ヲ行フ

キハ其ノ職務ヲ代理シ會頭缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

理事長ハ會頭及副會頭ヲ輔佐シ會務ヲ掌理シ會頭及副會頭共ニ事故

アルトキハ會頭ノ職務ヲ代理シ會頭及副會頭共ニ缺員ノトキハ會頭

ノ職務ヲ行フ

理事ハ會頭、副會頭及理事長ヲ輔佐シ會務ヲ分掌シ豫メ會頭ノ定ム

ル順位ニ依リ會頭、副會頭及理事長共ニ事故アルトキハ會頭ノ職務

ヲ代理シ會頭、副會頭及理事長共ニ缺員ノトキハ會頭ノ職務ヲ行フ

監事ハ商工經濟會ノ業務及財産ノ狀況ヲ監査ス

評議員ハ會頭ノ諮問ニ對シ答申シ又ハ會頭ニ對シ意見ヲ具申ス

第十四條 會頭ハ會頭銓衡委員ノ推薦シタル者ノ中ヨリ地方長官ノ意

6  
10月18日  
二三八  
五二

見ヲ徵シ主務大臣之ヲ命ズ

前項ノ會頭詮衡委員ハ當該商工經濟會ノ地區内ニ於ケル産業經濟ニ  
關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ地方長官之ヲ命ズ

副會頭、理事長及競争ハ當該商工經濟會ノ地區内ニ於ケル産業經濟

ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ地方長官ノ承認ヲ受ケ會頭

之ヲ命ズ

△ 監事ハ命令ノ定ムル所ニ依リ評議員之ヲ選任ス

評議員ハ評議員詮衡委員ノ推薦シタル者ノ中ヨリ會頭之ヲ命ズ

前項ノ評議員詮衡委員ハ會員及會員タル法人ノ業務ヲ執行スル役員

ノ中ヨリ地方長官ノ承認ヲ受ケ會頭之ヲ命ズ

第十五條 商工經濟會ノ役員ノ任期ハ左ノ如トス

會頭 三年

副會頭 三年

旧二九  
申

理事長 三年

理事 三年

監事 二年

評議員 二年

會頭必要アリト認ムルトキハ任期中ト雖モ地方長官ノ承認ヲ受ケ副會頭、理事長又ハ理事ヲ解任スルコトヲ得

第十六條 商工經濟會ニ總會ヲ置ケ 10-1

通常總會ハ毎年一回會頭之ヲ招集ス 10-2

會頭必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ臨時總會ヲ招集スルコトヲ得

第十七條 左ニ掲グル事項ハ總會ノ議決ヲ經ベシ 10-3

定款ノ變更

收支豫算

第二十四條ノ規定ニ依ル賦課金ノ賦課徵收方法



△四 其ノ他命令ヲ以テ定ムル事項

第十八條 會員ハ總會ニ於テ各一個ノ議決權ヲ有ス但シ第五條第二號

ノ會員ニ付テハ定款ノ定ムル所ニ依リ一人ニ付十個ヲ越エザル範圍

内ニ於テ二個以上ノ議決權ヲ有セシムルコトヲ得

第十九條 總會ノ議長ハ會頭ヲ以テ之ニ充ツ(旧云云II)

第二十條 總會ハ會員三分ノ一以上出席スルニ非ザレバ之ヲ開クコト

ヲ得ズ

總會ノ議決ハ出席者ノ議決權ノ過半數ニ依リ可否同數ナルトキハ議

長之ヲ決ス

定款ノ變更ノ議決ハ會員ノ半數以上出席シ出席者ノ議決權ノ三分ノ

二以上ヲ以テ之ヲ爲ス

會員ハ代理人ヲ以テ議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ出

席ト看做ス

前項ノ代理人ノ資格其ノ他代理人ニ關スル事項ハ定款ヲ以テ之ヲ定

ム

第十一條 商工經濟會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ總會ニ代ルベキ總代  
會ヲ設クルコトヲ得

旧

前五條ノ規定ハ前項ノ總代會ニ之ヲ準用ス

第十二條 商工經濟會ハ産業經濟ニ關スル事項ニ付行政官廳ニ建議  
スルコトヲ得

旧  
八

商工經濟會ハ行政官廳ノ諮問ニ對シ答申スベシ

第十三條 商工經濟會ハ其ノ會員及會員タル團體ヲ組織スル者ニ對  
シ産業經濟ニ關スル事項ノ調査ヲ爲ス爲必要ナル資料ノ提出ヲ求ム  
コトヲ得

旧  
一〇

第十四條 商工經濟會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員ニ對シ經費  
賦課スルコトヲ得

旧  
三六

第十五條 商工經濟會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ定款ニ違反シタル會  
員ニ對シ過怠金ヲ課スルコトヲ得

旧  
三七



第二十六條 第二十四條ノ規定ニ依ル賦課金又ハ過怠金ヲ滞納スル者  
アル場合ニ於テ商工經濟會ノ請求アルトキハ市町村ハ市町村税ノ例  
ニ依リ之ヲ處分ス此ノ場合ニ於テ商工經濟會ハ其ノ徵收金額ノ百分  
ノ四ヲ市町村ニ交付スベシ 旧三八

前項中町村トアルハ町村制ヲ施行セザル地ニ在リテハ之ニ準ズベキ  
モノトス

第一項ノ規定ニ依ル徵收金ノ先取特權ノ順位ハ市町村其ノ他之ニ準  
ズベキモノノ徵收金ニ次ギ其ノ時效ニ付テハ市町村税ノ例ニ依ル  
第二十七條 商工經濟會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ使用料及手数料ヲ徵  
收スルコトヲ得 旧三九

前項ノ使用料及手数料ノ徵收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ  
得

第二十八條 商工經濟會ハ其ノ地區内ノ必要ナル地ニ支那ヲ置キ其ノ  
事業ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得



第二十九條 商工經濟會ノ支部長ヲ置キ必要ニ應ジ參與ヲ置ク

支部長ハ支部長ノ事務ヲ掌理ス

參與ハ支部長ノ事務ニ參與ス

支部長ハ商工經濟會ノ職務以外ノ役職中ヨリ地方長官ノ承認ヲ受ケ  
會頭之ヲ命ズ

參與ハ會頭ノ承認ヲ受ケ支部長之ヲ命ズ

△第三十條 定款ノ變更、収支決算及第二十四條ノ規定ニ依ル賦課金ノ旧五厘

賦課徴収方法ハ行政自體ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼ

ズ

第三十一條 行政自體ハ商工經濟會ニ對シ産業經濟ニ關スル事項ノ議

登ヲ命ズルコトヲ得

第三十二條 行政自體當該地區内ニ於ケル産業經濟ノ統制運営上必要ノ

マリト認ムルトキハ商工經濟會ニ對シ必要ナル事業ノ施行ヲ命ジ又ハ  
定款ノ變更兵ノ他必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

第三十三條 行政自體ハ商工經濟會ニ對シ業務及會計ニ關シ監督上必要



ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得  
行政官廳必要アリト認ムルトキハ監事ヲシテ監査ノ結果ヲ報告セシム  
ルコトヲ得

第三十四條 行政官廳必要アリト認ムルトキハ商工經濟會ヨリ其ノ事業  
ニ關シ報告ヲ徵シ又ハ商工經濟會ノ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ  
物件ヲ検査スルコトヲ得

第三十五條 總會若ハ總代會ノ議決又ハ役員ノ行爲ガ法令若ハ定款ニ違  
反シ又ハ公益ヲ害スト認ムルトキハ行政官廳ハ總會若ハ總代會ノ決議  
ヲ取消シ又ハ役員ヲ解任スルコトヲ得

第三十六條 商工經濟會ハ主務大臣ノ命令ニ因リテ解散ス

第三十七條 商工經濟會ノ解散及清算ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ  
之ヲ定ム

第三十八條 本法ニ基キテ發スル勅令ニ違反シ登記ヲ爲スコトヲ怠リ又  
ハ不正ノ登記ヲ爲シタルトキハ會頭、副會頭、理事長又ハ理事ヲ千圓

以下ノ過料ニ處ス

第三十九條 第十一條第二項ノ規定ニ違反シ名稱中ニ商工經濟會ナル文字ヲ用ヒタル者ハ千圓以下ノ過料ニ處ス

第四十條 樺太ニ於テ本法ヲ適用スルニ付必要ナル事項ニ關シテハ勅令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

附 則

第四十一條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十二條 商工會議所法ハ之ヲ廢止ス

第四十三條 商工會議所法ニ依リ設立セラレ本法施行ノ際現ニ存スル商工會議所ハ本法施行後ト雖モ仍存續スルモノトス

前項ノ商工會議所ニハ商工會議所法ノ規定ヲ適用ス

第四十四條 前條第一項ノ商工會議所ハ其ノ地區ノ屬スル道府縣ニ於テ商工經濟會成立シタル時解散スルモノトシ其ノ權利義務ハ當該商工經濟會之ヲ承繼ス此ノ場合ニ於テハ商工會議所法中解散及清算ニ關スル



規定ハ之ヲ適用セズ

第四十五條 商工會議所法ニ依ル日本商工會議所ハ本法施行ノ日ニ於テ解散ス此ノ場合ニ於ケル清算ニ付テハ商工會議所法中清算ニ關スル規定ヲ適用ス

第四十六條 商工經濟會ガ第四十四條ノ規定ニ依リ承繼シタル不動産ニ關スル權利ノ取得ニ付登記ヲ受ケル場合ニ於テハ其ノ登録税ノ額ハ不動産ノ價格ノ千分ノ三トス但シ登録税法ニ依リ算出シタル登録税ノ額ガ本條ノ規定ニ依リ算出シタル税額ヨリ少キトキハ其ノ額ニ依ル

第四十七條 本法施行ノ際現ニ商工經濟會ノ名稱ヲ使用スル者ハ本法施行後齋月以内ニ其ノ名稱ヲ變更スルコトヲ要ス

第三十九條ノ規定ハ前項ノ期間内之ヲ前項ニ掲グル者ニ適用セズ

第四十八條 商工經濟會成立ノ際商工會議所法ニ依ル異議ノ申立ニシテ現ニ申立中ノモノ又ハ申立期間滿了セザルモノ、同法ニ依ル賦課金又ハ過怠金ニシテ現ニ滯納セルモノ等ノ處理ニ關シ必要アル場合ニ於テハ勅令ヲ以テ必要ナル定ヲ爲スコトヲ得



商工經濟會法案

第一條 商工經濟會ハ國民經濟ノ總力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル爲國策

ニ協力シ産業經濟ノ圓滑ナル連絡ヲ圖ルト共ニ其ノ改善向上ニ努ムル

コトヲ目的トス

本法ニ於テ産業經濟トハ第五條第一號ニ掲グル事業ニ關スル産業經濟

ヲ謂フ

第二條 商工經濟會ハ法人トス

第三條 商工經濟會ノ地區ハ道府縣ノ區域ニ依ル

第四條 商工經濟會ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ニ掲グル事業ヲ行フ

一 當該地區内ニ於ケル産業經濟ニ關スル統制ニ對スル協力

二 當該地區内ニ於ケル産業經濟ノ運営又ハ整備ニ關スル連絡

三 當該地區内ニ於ケル産業經濟ノ改善向上ニ關スル施設

四 産業經濟ニ關スル調査及研究

五 前各號ニ掲グルモノノ外商工經濟會ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事

裏面白紙

法務局

業

第五條 商工經濟會ノ會員タル資格ヲ有スル者ハ左ニ掲グル者ニシテ地方長官ノ指定スルモノトス

一 當該地區内ニ營業所、工場又ハ事業場ヲ有シ商業、交易業、工業、鑛業、金融業、電氣事業、交通運輸業又ハ土木建築業ヲ營ム者

二 前號ニ掲グル事業ヲ營ム者ヲ以テ組織スル團體ニシテ當該地區内ニ事務所ヲ有スルモノ

三 前號ニ掲グル團體ノ外當該地區内ニ事務所ヲ有スル産業經濟ニ關スル團體

第六條 主務大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ前條ノ規定ニ依リ會員タル資格ヲ有スル者ニ對シ商工經濟會ノ設立ヲ命ズベシ

前項ノ規定ニ依リ設立ノ命令アリタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ創立總會ヲ開キ定款其ノ他商工經濟會ノ設立ニ必要ナル事項ヲ定メ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ



第一項ノ規定ニ依リ設立ヲ命ゼラレタル者主務大臣ノ指定スル期限  
迄ニ設立ノ認可ヲ申請セザルトキハ主務大臣ハ定款ノ作成其ノ他設  
立ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第七條 商工經濟會ノ定款ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

- 一 名稱
  - 二 地區
  - 三 事務所ノ所在地
  - 四 會員ニ關スル規定
  - 五 事業及其ノ執行ニ關スル規定
  - 六 役員ニ關スル規定
  - 七 會議ニ關スル規定
  - 八 會計ニ關スル規定
  - 九 支部ニ關スル規定
- 第八條 商工經濟會ハ主タル事務所ノ所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ爲ス





ニ因リテ成立ス

第九條 商工經濟會成立シタルトキハ其ノ會員タル資格ヲ有スル者ハ  
總テ其ノ商工經濟會ノ會員トス

第十條 商工經濟會ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ登記ヲ爲スコトヲ要ス  
前項ノ規定ニ依リ登記スベキ事項ハ登記ノ後ニ非ザレバ之ヲ以テ第  
三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

第十一條 商工經濟會ハ其ノ名稱中ニ商工經濟會ナル文字ヲ用フベシ  
商工經濟會又ハ商工經濟會ヲ以テ組織スル團體ニ非ザル者ハ其ノ名  
稱中ニ商工經濟會ナル文字ヲ用フルコトヲ得ズ

第十二條 商工經濟會ニハ左ノ役員ヲ置クベシ

- 會頭 一人
- 理事 若干人
- 監事 若干人
- 評議員 若干人



商工經濟會ニハ前項ノ役員ノ外定款ノ定ムル所ニ依リ副會頭二人以  
内又ハ理事長一人ヲ置クコトヲ得

第十三條

會頭ハ商工經濟會ヲ代表シ會務ヲ總理ス

副會頭ハ會頭ヲ輔佐シ豫メ會頭ヲ定ムル順位ニ依リ會頭事故アルト  
キハ其ノ職務ヲ代理シ會頭缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

理事長ハ會頭及副會頭ヲ輔佐シ會務ヲ掌理シ會頭及副會頭共ニ事故  
アルトキハ會頭ノ職務ヲ代理シ會頭及副會頭共ニ缺員ノトキハ會頭  
ノ職務ヲ行フ

理事ハ會頭、副會頭、理事長ヲ輔佐シ會務ヲ分掌シ豫メ會頭ノ定ム  
ル順位ニ依リ會頭、副會頭及理事長共ニ事故アルトキハ會頭ノ職務  
ヲ代理シ會頭、副會頭及理事長共ニ缺員ノトキハ會頭ノ職務ヲ行フ

監事ハ商工經濟會ノ業務及財産ノ狀況ヲ監査ス

第十四條

會頭ハ會頭ノ諮問ニ對シ答申シ又ハ會頭ニ對シ意見ヲ具申ス

見ヲ徵シ主務大臣之ヲ命ズ

前項ノ會頭詮衡委員ハ當該商工經濟會ノ地區内ニ於ケル産業經濟ニ  
關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ地方長官之ヲ命ズ

副會頭、理事長及執事ハ當該商工經濟會ノ地區内ニ於ケル産業經濟  
ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ地方長官ノ承認ヲ受ケ會頭  
之ヲ命ズ

監事ハ命令ノ定ムル所ニ依リ評議員之ヲ選任ス  
評議員ハ評議員詮衡委員ノ推薦シタル者ノ中ヨリ會頭之ヲ命ズ  
前項ノ評議員詮衡委員ハ會員及會員タル法人ノ業務ヲ執行スル役員  
ノ中ヨリ地方長官ノ承認ヲ受ケ會頭之ヲ命ズ

第十五條 商工經濟會ノ役員ノ任期ハ左ノ如クス

會頭 三年

副會頭 三年

理事長 三年

理事 三年

監事 二年

評議員 二年

會頭必要アリト認ムルトキハ任期中ト雖モ地方長官ノ承認ヲ受ケ副會頭、理事長又ハ理事ヲ解任スルコトヲ得

第十六條 商工經濟會ニ總會ヲ置ケ

通常總會ハ毎年一回會頭之ヲ招集ス

第十七條 左ニ掲グル事項ハ總會ノ議決ヲ經ベシ  
會頭必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ臨時總會ヲ招集スルコトヲ得

定款ノ變更

收支豫算

第二十四條ノ規定ニ依ル賦課金ノ賦課徵收方法

四 其ノ他命令ヲ以テ定ムル事項

第十八條 會員ハ總會ニ於テ各一個ノ議決權ヲ有ス但シ第五條第二號ノ會員ニ付テハ定款ノ定ムル所ニ依リ一人ニ付十個ヲ越エザル範圍内ニ於テ二個以上ノ議決權ヲ有セシムルコトヲ得

第十九條 總會ノ議長ハ會頭ヲ以テ之ニ充ツ

第二十條 總會ハ會員三分ノ一以上出席スルニ非ザレバ之ヲ開クコトヲ得ズ

總會ノ議決ハ出席者ノ議決權ノ過半數ニ依リ可否同數ナルトキハ議長之ヲ決ス

定款ノ變更ノ議決ハ會員ノ半數以上出席シ出席者ノ議決權ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ爲ス

會員ハ代理人ヲ以テ議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ出席ト看做ス

前項ノ代理人ノ資格其ノ他代理人ニ關スル事項ハ定款ヲ以テ之ヲ定

第十一條 商工經濟會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ總會ニ代ルベキ總代  
會ヲ設クルコトヲ得

第十二條 前條ノ規定ハ前項ノ總代會ニ之ヲ準用ス

第十三條 商工經濟會ハ產業經濟ニ關スル事項ニ付行政官廳ニ建議  
スルコトヲ得

第十四條 商工經濟會ハ行政官廳ノ諮問ニ對シ答申スベシ

第十五條 商工經濟會ハ其ノ會員及會員タル團體ヲ組織スル者ニ對  
シ產業經濟ニ關スル事項ノ調査ヲ爲ス爲必要ナル資料ノ提出ヲ求ム  
コトヲ得

第十六條 商工經濟會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員ニ對シ經費  
賦課スルコトヲ得

第十七條 商工經濟會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ定款ニ違反シタル會  
員ニ對シ過怠金ヲ課スルコトヲ得



第二十六條 第二十四條ノ規定ニ依ル賦課金又ハ過怠金ヲ滯納スル者  
アル場合ニ於テ商工經濟會ノ請求アルトキハ市町村ハ市町村税ノ例  
ニ依リ之ヲ處分ス此ノ場合ニ於テ商工經濟會ハ其ノ徵收金額ノ百分  
ノ四ヲ市町村ニ交付スベシ

前項中町村トアルハ町村制ヲ施行セザル地ニ在リテハ之ニ準ズベキ  
モノトス

第一項ノ規定ニ依ル徵收金ノ先取特權ノ順位ハ市町村其ノ他之ニ準  
ズベキモノノ徵收金ニ次ギ其ノ時效ニ付テハ市町村税ノ例ニ依ル

第二十七條 商工經濟會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ使用料及手墩料ヲ徵  
收スルコトヲ得

前項ノ使用料及手墩料ノ徵收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ  
得

第二十八條 商工經濟會ハ其ノ地區内ノ必要ナル地ニ支部ヲ置キ其ノ  
事業ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得



第二十九條 商工經濟會ノ支部長ヲ置キ必要ニ應ジ參與ヲ優ク  
支部長ハ支部長ノ事務ヲ掌理ス

參與ハ支部長ヲ輔ケ支部長ノ事務ニ參與ス

支部長ハ商工經濟會ノ監事以外ノ役員中ヨリ地方長官ノ承認ヲ受ケ  
會頭之ヲ命ズ

參與ハ會頭ノ承認ヲ受ケ支部長之ヲ命ズ

第三十條 定款ノ變更、收支決算及第二十四條ノ規定ニ依ル賦課金ノ  
賦課徴收方法ハ行政官廳ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼ  
ズ

第三十一條 行政官廳ハ商工經濟會ニ對シ産業經濟ニ關スル事項ノ備  
登ヲ命ズルコトヲ得

第三十二條 行政官廳當該地區内ニ於ケル産業經濟ノ統制運営上必要  
アリト認ムルトキハ商工經濟會ニ對シ必要ナル事業ノ施行ヲ命ジ又ハ  
定款ノ變更其ノ他必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

第三十三條 行政官廳ハ商工經濟會ニ對シ業務及會計ニ關シ監督上必要





ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

行政官廳必要アリト認ムルトキハ監事ヲシテ監査ノ結果ヲ報告セシムルコトヲ得

第三十四條 行政官廳必要アリト認ムルトキハ商工經濟會ヨリ其ノ事業ニ關シ報告ヲ徵シ又ハ商工經濟會ノ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査スルコトヲ得

第三十五條 總會若ハ總代會ノ議決又ハ役員ノ行爲ガ法令若ハ定款ニ違反シ又ハ公益ヲ害スト認ムルトキハ行政官廳ハ總會若ハ總代會ノ決議ヲ取消シ又ハ役員ヲ解任スルコトヲ得

第三十六條 商工經濟會ハ主務大臣ノ命令ニ因リテ解散ス

第三十七條 商工經濟會ノ解散及清算ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十八條 本法ニ基キテ發スル勅令ニ違反シ登記ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ登記ヲ爲シタルトキハ會頭、副會頭、理事長又ハ理事ヲ千圓

以下ノ過料ニ處ス

第三十九條 第十一條第二項ノ規定ニ違反シ名稱中ニ商工經濟會ナル文字ヲ用ヒタル者ハ千圓以下ノ過料ニ處ス

第四十條 樺太ニ於テ本法ヲ適用スルニ付必要ナル事項ニ關シテハ勅令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

附則

第四十一條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十二條 商工會議所法ハ之ヲ廢止ス

第四十三條 商工會議所法ニ依リ設立セラレ本法施行ノ際現ニ存スル商工會議所ハ本法施行後ト雖モ仍存續スルモノトス

前項ノ商工會議所ニハ商工會議所法ノ規定ヲ適用ス

第四十四條 前條第一項ノ商工會議所ハ其ノ地區ノ屬スル道府縣ニ於テ商工經濟會成立シタル時解散スルモノトシ其ノ權利義務ハ當該商工經濟會之ヲ承繼ス此ノ場合ニ於テハ商工會議所法中解散及清算ニ關スル

規定ハ之ヲ適用セズ

第四十五條 商工會議所法ニ依ル日本商工會議所ハ本法施行ノ日ニ於テ解散ス此ノ場合ニ於ケル解散及清算ニ付テハ仍商工會議所法（同法第五十九條ニ於テ準用スル同法第二十五條第一項第九號及同條第二項ノ規定ヲ除ク）ニ依ル

第四十六條 商工經濟會ガ第四十四條ノ規定ニ依リ承繼シタル不動産ニ關スル權利ノ取得ニ付登記ヲ受ケル場合ニ於テハ其ノ登録稅ノ額ハ不動産ノ價格ノ千分ノ三トス但シ登録稅法ニ依リ算出シタル登録稅ノ額ガ本條ノ規定ニ依リ算出シタル稅額ヨリ少キトキハ其ノ額ニ依ル

第四十七條 本法施行ノ際現ニ商工經濟會ノ名稱ヲ使用スル者ハ本法施行後六月以内ニ其ノ名稱ヲ變更スルコトヲ要ス

第三十九條ノ規定ハ前項ノ期間内之ヲ前項ニ掲グル者ニ適用セズ

第四十八條 商工經濟會成立ノ際商工會議所法ニ依ル異議ノ申立ニシテ現ニ申立中ノモノ又ハ申立期間滿了セザルモノ、同法ニ依ル賦課金又

ハ過急令ニシテ現ニ滞納セルモノ等ノ處理ニ應シ必要アル場合ニ於テ  
ハ命令ヲ以テ必要ナル定ヲ爲スコトヲ得

裏面白紙

通常總會ハ毎年一回會頭之ヲ招集ス  
會頭必要アリ下認ムルトキハ何時ニテヒ臨時總會ヲ招集スルコトヲ  
得

第二十三條 會員ハ總會ニ於テ各一個ノ議決權ヲ有ス但シ定款ノ定ム  
ル所ニ依リ二個以上ノ議決權ヲ有セシムルコトヲ得

第二十四條 總會ノ議長ハ會頭ヲ以テ之ニ充ツ

第二十五條 左ニ掲グル事項ハ總會ノ議決ヲ經ルコトヲ要ス

- 一 定款ノ變更
- 二 收支豫算
- 三 第十八條ノ規定ニ依ル賦課金ノ賦課徵收方法
- 四 其ノ他命令ヲ以テ定ムル事項

第二十六條 總會ノ議決ハ會員ノ三分ノ一以上出席シ出席者ノ議決權ノ過  
半數ヲ以テ之ヲ爲ス可  
否同數ナルトキハ議長之ヲ決ス  
定款ノ變更ノ議決ハ會員ノ半數以上出席シ出席者ノ議決權ノ三分ノ二以上ヲ

以テ之ヲ爲ス

會員ハ代理人ヲ以テ議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ出席ト看做ス

前項ノ代理人ノ資格其他代理人ニ關スル事項ハ定款ヲ以テ之ヲ定ム  
第二十七條 商工經濟會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ總會ニ代ルベキ總代  
會ヲ設クルコトヲ得

前五條ノ規定ハ前項ノ總代會ニ之ヲ準用ス  
第二十八條 商工經濟會ハ其ノ地區内ノ必要ナル地ニ支部ヲ置キ其ノ  
事業ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第二十九條 商工經濟會ノ支部ニ支部長ヲ置キ必要ニ應ジ參與ヲ置ク  
コトヲ得  
支部長ハ支部ノ事務ヲ掌理ス

參與ハ支部長ヲ輔ケ支部ノ事務ニ參與ス  
支部長ハ商工經濟會ノ監事以外ノ役員中ヨリ地方長官ノ承認ヲ受ケ  
會頭之ヲ命ズ



參與ハ會頭ノ承認ヲ受ケ支部長之ヲ命ズ

第三十條 定款ノ變更、收支豫算及賦課金ノ賦課徵收方法ノ議決ハ行政官廳ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第三十一條 行政官廳ハ商工經濟會ニ對シ産業經濟ニ關スル事項ノ調査ヲ命ズルコトヲ得

第三十二條 行政官廳當該地區内ニ於ケル産業經濟ノ運營上必要アリト認ムルトキハ商工經濟會ニ對シ必要ナル事業ノ施行ヲ命ジ又ハ定款ノ變更其ノ他必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

第三十三條 行政官廳ハ商工經濟會ニ對シ業務及會計ニ關シ監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

行政官廳必要アリト認ムルトキハ監事ヲシテ監査ノ結果ヲ報告セシムルコトヲ得

第三十四條 行政官廳必要アリト認ムルトキハ商工經濟會ヨリ其ノ事業ニ關シ報告ヲ徴シ又ハ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査スルコトヲ得



第三十五條 總會若ハ總代會ノ議決又ハ役員ノ行爲ガ法令若ハ定款ニ違反シ又ハ公然ト害スト認ムルトキハ行政官職ハ議決ノ取消又ハ役員ノ解任ヲ爲スコトヲ得

第三十六條 商工經濟會ハ主務大臣ノ命令ニ因リテ解散ス

第三十七條 商工經濟會ノ解散及清算ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十八條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シ登記ヲ爲スコトヲ爲リ又ハ不正ノ登記ヲ爲シタルトキハ會該又ハ會該ノ職員ヲ行ヒ若ハ代理スル者ヲ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十九條 第十一條ノ規定ニ違反シ右表中ニ定ムる罰金ナル文字ヲ用ヒタル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス





△  
南之令  
其ノ厚  
道行果ニ能ク  
依以南之院  
没也  
△

附則

第四十條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十一條 商工會議所法ハ之ヲ廢止ス

第四十二條 商工會議所法ニ依リ設立セラレ本法施行ノ際現ニ存スル商工會議所ハ本法施行後ト雖モ仍存續スルモノトシテ第四十三條ノ規定ニ依リ前項ノ商工會議所ハ本法施行後ト雖モ仍存續スルモノトシテ現行ノ規定ニ依リ

第四十三條 本法ニ依ル商工經濟會設立セラレタルトキハ其ノ範圍内ノ前條ノ商工會議所ハ特種商工經濟會設立ノ時解散シ其ノ權利義務ハ當該商工經濟會之ヲ承継ス此ノ場合ニ於テハ商工會議所法其ノ他ノ法令中解散及清算ニ關スル規定ハ之ヲ適用セズ

第四十四條 商工會議所法ニ依ル日本商工會議所ハ本法施行ノ日ニ於テ解散ス此ノ場合ニ於ケル解散及清算ニ付テハ仍舊工會議所法及同法第十九條ニ於テ適用スル同法第二十五條第一項及第九條及同法第二十二條ノ規定ヲ除クニ依ル

◎前條ノ一項ノ商工會議所ハ其ノ屬スル道府縣ニ於テ本法ニ依ル商工經濟會  
設立スルニ依ル



商工經濟會法案

Handwritten notes in cursive script, including the characters '小' and '大'.

第一條 商工經濟會ハ國民經濟ノ總力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル爲國策ニ協力シ産業經濟ノ圓滑ナル連絡ヲ圖ルト共ニ其ノ改善向上ニ努ムルコトヲ目的トス

本法ニ於テ産業經濟トハ第五條第一號ニ掲グル事業ニ關スルモノヲ謂フ

第二條 商工經濟會ハ法人トス

第三條 商工經濟會ノ地區ハ道府縣ノ區域ニ依ル

第四條 商工經濟會ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ニ掲グル事業ヲ行フ

一 當該地區内ニ於ケル産業經濟ニ關スル統制ニ對スル協力

二 當該地區内ニ於ケル産業經濟ノ運営又ハ整備ニ關スル連絡

三 當該地區内ニ於ケル産業經濟ノ改善向上ニ關スル施設

四 産業經濟ニ關スル調査及研究

五 前各號ニ掲グルモノノ外商工經濟會ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事

裏面白紙

第五條 商工經濟會ノ會員タル資格ヲ有スル者ハ左ニ掲グル者ニシテ地方長官ノ指定スルモノトス

- 一 當該地區内ニ營業所、工場又ハ事業場ヲ有シ商業、交易業、工業、鑛業、金融業、電氣事業、交通運輸業又ハ土木建築業ヲ營ム者
- 二 前號ニ掲グル事業ヲ營ム者ヲ以テ組織スル團體ニシテ當該地區内ニ事務所ヲ有スルモノ
- 三 前號ニ掲グルモノノ外當該地區内ニ事務所ヲ有スル産業經濟ニ關スル團體

第六條 主務大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ前條ノ規定ニ依リ會員タル資格ヲ有スル者ニ對シ商工經濟會ノ設立ヲ命ズベシ  
前項ノ規定ニ依ル設立ノ命令アリタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ創立總會ヲ開キ定款其ノ他商工經濟會ノ設立ニ必要ナル事項ヲ定メ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

第一項ノ規定ニ依リ設立ヲ命ゼラレタル者其ノ設立ヲ爲サザルトキハ  
主務大臣ハ定款ノ作成其ノ他商工經濟會ノ設立ニ關シ必要ナル處分ヲ  
爲スコトヲ得

第七條 商工經濟會ノ定款ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

- 一 名稱
- 二 地區
- 三 事務所ノ所在地
- 四 會員ニ關スル規定
- 五 事業及其ノ執行ニ關スル規定
- 六 役員ニ關スル規定
- 七 會議ニ關スル規定
- 八 會計ニ關スル規定
- 九 支部ニ關スル規定

第八條 商工經濟會ハ第六條第二項ノ認可アリタル時又ハ同條第三項ノ

規定ニ依リ定款ノ作成アリタル時成立ス

第九條 商工經濟會成立シタルトキハ其ノ會員タル資格ヲ有スル者ハ  
總テ其ノ商工經濟會ノ會員トス

第十條 商工經濟會ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ登記ヲ爲スコトヲ要ス  
前項ノ規定ニ依リ登記スベキ事項ハ登記ノ後ニ非ザレバ之ヲ以テ第  
三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

第十一條 商工經濟會ハ其ノ名稱中ニ商工經濟會ナル文字ヲ用フベシ  
商工經濟會又ハ商工經濟會ヲ以テ組織スル團體ニ非ザル者ハ其ノ名  
稱中ニ商工經濟會ナル文字ヲ用フルコトヲ得ズ

第十二條 商工經濟會ニハ左ノ役員ヲ置ク

會頭 一人

理事 若干人

監事 若干人

評議員 若干人

4

商工經濟會ニハ前項ノ役員ノ外定款ノ定ムル所ニ依リ副會頭二人以  
内又ハ理事長一人ヲ置クコトヲ得

第十三條 會頭ハ商工經濟會ヲ代表シ會務ヲ總理ス

副會頭ハ會頭ヲ輔佐シ豫メ會頭ノ定ムル順位ニ依リ會頭事故アルト  
キハ其ノ職務ヲ代理シ會頭缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

理事長ハ會頭及副會頭ヲ輔佐シ會務ヲ掌理シ會頭及副會頭共ニ事故  
アルトキハ會頭ノ職務ヲ代理シ會頭及副會頭共ニ缺員ノトキハ會頭  
ノ職務ヲ行フ

理事ハ會頭、副會頭及理事長ヲ輔佐シ會務ヲ分掌シ豫メ會頭ノ定ム  
ル順位ニ依リ會頭、副會頭及理事長共ニ事故アルトキハ會頭ノ職務  
ヲ代理シ會頭、副會頭及理事長共ニ缺員ノトキハ會頭ノ職務ヲ行フ  
監事ハ商工經濟會ノ業務及財産ノ狀況ヲ監査ス

評議員ハ會頭ノ諮問ニ對シ答申シ又ハ會頭ニ對シ意見ヲ具申ス

第十四條 會頭ハ會頭銓衡委員ノ推薦シタル者ノ中ヨリ地方長官ノ意

見ヲ徵シ主務大臣之ヲ命ズ

前項ノ會頭銓衡委員ハ當該商工經濟會ノ地區内ニ於ケル産業經濟ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ地方長官之ヲ命ズ

副會頭、理事長及理事ハ當該商工經濟會ノ地區内ニ於ケル産業經濟ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ地方長官ノ承認ヲ受ケ會頭之ヲ命ズ

監事ハ命令ノ定ムル所ニ依リ評議員之ヲ選任ス

評議員ハ命令ノ定ムル所ニ依リ評議員銓衡委員ノ推薦シタル者ノ中ヨリ會頭之ヲ命ズ

前項ノ評議員銓衡委員ハ會員又ハ其ノ代表者ノ中ヨリ地方長官ノ承認ヲ受ケ會頭之ヲ命ズ

第十五條 商工經濟會ノ役員ノ任期ハ左ノ通トス

會頭 三年

副會頭 三年



理事長 三年

理事 三年

監事 二年

評議員 二年

會頭必要アリト認ムルトキハ任期中ト雖モ地方長官ノ承認ヲ受ケ副會頭、理事長又ハ理事ヲ解任スルコトヲ得

第十六條 商工經濟會ハ産業經濟ニ關スル事項ニ付行政官廳ニ建議スルコトヲ得

商工經濟會ハ行政官廳ノ諮問ニ對シ答申スベシ

第十七條 商工經濟會ハ其ノ會員及會員タル團體ヲ組織スル者ニ對シ産業經濟ニ關スル調査ヲ爲ス爲必要ナル資料ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第十八條 商工經濟會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員ニ對シ經費ヲ賦課スルコトヲ得

第十九條 商工經濟會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ定款ニ違反シタル會員ニ

對シ過怠金ヲ課スルコトヲ得

第二十條 第十八條ノ規定ニ依ル賦課金又ハ過怠金ヲ滯納スル者アル  
場合ニ於テ商工經濟會ノ請求アルトキハ市町村ハ市町村稅ノ例ニ依  
リ之ヲ處分ス此ノ場合ニ於テ商工經濟會ハ其ノ徵收金額ノ百分ノ四  
ヲ市町村ニ交付スベシ  
前項中町村トアルハ町村制ヲ施行セザル地ニ在リテハ之ニ準ズベキ  
モノトス

第一項ノ規定ニ依ル徵收金ノ先取特權ノ順位ハ市町村其ノ他之ニ準  
ズベキモノノ徵收金ニ次ギ其ノ時効ニ付テハ市町村稅ノ例ニ依ル  
第二十一條 商工經濟會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ使用料及手數料ヲ徵  
收スルコトヲ得

前項ノ使用料及手數料ノ徵收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ  
得

第二十二條 商工經濟會ニ總會ヲ置ク

8

通常總會ハ毎年一回會頭之ヲ招集ス

會頭必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ臨時總會ヲ招集スルコトヲ得

第二十三條 會員ハ總會ニ於テ各一個ノ議決權ヲ有ス但シ第五條第二號ノ會員ニ付テハ定款ノ定ムル所ニ依リ一人ニ付十個ヲ離エザル範圍内ニ於テ二個以上ノ議決權ヲ有セシムルコトヲ得

第二十四條 總會ノ議長ハ會頭ヲ以テ之ニ充ツ

第二十五條 左ニ掲グル事項ハ總會ノ議決ヲ經ルコトヲ要ス

一 定款ノ變更

二 收支豫算

三 第十八條ノ規定ニ依ル賦課金ノ賦課徵收方法

四 其ノ他命令ヲ以テ定ムル事項

第二十六條 總會ノ議決ハ會員ノ三分ノ一以上出席シ出席者ノ議決權ノ過半数ヲ以テ之ヲ爲ス可否同數ナルトキハ議長之ヲ決ス

定款ノ變更ノ議決ハ會員ノ半數以上出席シ出席者ノ議決權ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ爲ス

會員ハ代理人ヲ以テ議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ出席ト看做ス

前項ノ代理人ノ資格其ノ他代理人ニ歸スル事項ハ定款ヲ以テ之ヲ定ム

第二十七條 商工經濟會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ總會ニ代ルベキ總代會ヲ設クルコトヲ得

前五條ノ規定ハ前項ノ總代會ニ之ヲ準用ス

第二十八條 商工經濟會ハ其ノ地區内ノ必要ナル地ニ支部ヲ置キ其ノ専業ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第二十九條 商工經濟會ノ支部ニ支部長ヲ置キ必要ニ應ジ與テ置クコトヲ得

支部長ハ支部ノ事務ヲ掌理ス

與ハ支部長ヲ輔ケ支部ノ事務ニ參預ス

支部長ハ商工經濟會ノ監事以外ノ役員中ヨリ地方長官ノ承認ヲ受ケ  
會頭之ヲ命ズ

參與ハ會頭ノ承認ヲ受ケ支部長之ヲ命ズ

第三十條 定款ノ變更、收支豫算及賦課金ノ賦課徵收方法ノ議決ハ行政  
官廳ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第三十一條 行政官廳ハ商工經濟會ニ對シ產業經濟ニ關スル事項ノ調査  
ヲ命ズルコトヲ得

第三十二條 行政官廳當該地區内ニ於ケル產業經濟ノ運営上必要アリト  
認ムルトキハ商工經濟會ニ對シ必要ナル事業ノ施行ヲ命ジ又ハ定款ノ  
變更其ノ他必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

第三十三條 行政官廳ハ商工經濟會ニ對シ業務及會計ニ關シ監督上必要  
ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

行政官廳必要アリト認ムルトキハ監事ヲシテ監査ノ結果ヲ報告セシム  
ルコトヲ得

第三十四條 行政官廳必要アリト認ムルトキハ商工經濟會ヨリ其ノ事業ニ關シ報告ヲ徵シ又ハ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査スルコトヲ得

第三十五條 總會若ハ總代會ノ議決又ハ役員ノ行爲ガ法令若ハ定款ニ違反シ又ハ公益ヲ害スト認ムルトキハ行政官廳ハ議決ノ取消又ハ役員ノ解任ヲ爲スコトヲ得

第三十六條 商工經濟會ハ主務大臣ノ命令ニ因リテ解散ス

第三十七條 商工經濟會ノ解散及清算ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十八條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル勅令ニ違反シ登記ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ登記ヲ爲シタルトキハ會頭又ハ會頭ノ職務ヲ行ヒ若ハ代理スル者ヲ千圓以下ノ過料ニ處ス

第三十九條 第十一條ノ規定ニ違反シ名稱中ニ商工經濟會ナル文字ヲ用ヒタル者ハ千圓以下ノ過料ニ處ス

極秘

大正十一年 商工業

商工經濟會法案

第一條

商工經濟會ハ國民經濟ノ總力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル爲メ行政

官ニ協力シ産業經濟ノ圓滑ナル連絡ヲ圖ルト共ニ其ノ改善向上ニ努

ムルコトヲ目的トス 〔10一〕 〔10二〕 〔10三〕 〔10四〕 〔10五〕

第二條

商工經濟會ハ法人トス

第三條

商工經濟會ノ設置ハ道府縣ノ區域ニ依ル

第四條

商工經濟會ハ其ノ目的ヲ達スル爲メ左ニ掲グル事業ヲ行フ

第五條

商工經濟會ノ職員タル資格ヲ有スル者ハ左ニ掲グル者ニシテ

第六條

商工經濟會ノ職員タル資格ヲ有スル者ハ左ニ掲グル者ニシテ

第七條

商工經濟會ノ職員タル資格ヲ有スル者ハ左ニ掲グル者ニシテ

第八條

商工經濟會ノ職員タル資格ヲ有スル者ハ左ニ掲グル者ニシテ

第九條

商工經濟會ノ職員タル資格ヲ有スル者ハ左ニ掲グル者ニシテ

第十條

商工經濟會ノ職員タル資格ヲ有スル者ハ左ニ掲グル者ニシテ

第十一條

商工經濟會ノ職員タル資格ヲ有スル者ハ左ニ掲グル者ニシテ

第十二條

商工經濟會ノ職員タル資格ヲ有スル者ハ左ニ掲グル者ニシテ

第十三條

商工經濟會ノ職員タル資格ヲ有スル者ハ左ニ掲グル者ニシテ

第十四條

商工經濟會ノ職員タル資格ヲ有スル者ハ左ニ掲グル者ニシテ

第十五條

商工經濟會ノ職員タル資格ヲ有スル者ハ左ニ掲グル者ニシテ

第十六條

商工經濟會ノ職員タル資格ヲ有スル者ハ左ニ掲グル者ニシテ

第十七條

商工經濟會ノ職員タル資格ヲ有スル者ハ左ニ掲グル者ニシテ

第十八條

商工經濟會ノ職員タル資格ヲ有スル者ハ左ニ掲グル者ニシテ

第十九條

商工經濟會ノ職員タル資格ヲ有スル者ハ左ニ掲グル者ニシテ

第二十條

商工經濟會ノ職員タル資格ヲ有スル者ハ左ニ掲グル者ニシテ

第二十一條

商工經濟會ノ職員タル資格ヲ有スル者ハ左ニ掲グル者ニシテ

第二十二條

商工經濟會ノ職員タル資格ヲ有スル者ハ左ニ掲グル者ニシテ

第二十三條

商工經濟會ノ職員タル資格ヲ有スル者ハ左ニ掲グル者ニシテ

第二十四條

商工經濟會ノ職員タル資格ヲ有スル者ハ左ニ掲グル者ニシテ

第二十五條

商工經濟會ノ職員タル資格ヲ有スル者ハ左ニ掲グル者ニシテ

第二十六條

商工經濟會ノ職員タル資格ヲ有スル者ハ左ニ掲グル者ニシテ

第二十七條

商工經濟會ノ職員タル資格ヲ有スル者ハ左ニ掲グル者ニシテ

第二十八條

商工經濟會ノ職員タル資格ヲ有スル者ハ左ニ掲グル者ニシテ

第二十九條

商工經濟會ノ職員タル資格ヲ有スル者ハ左ニ掲グル者ニシテ

第三十條

商工經濟會ノ職員タル資格ヲ有スル者ハ左ニ掲グル者ニシテ

裏面白紙

(有価証券)  
有価証券

地方官ノ指定スルモノトス

地方官ノ指定

ガス事業

(有価証券)  
有価証券

一 官設地内ニ營業所、工場又ハ事業場ヲ有シ商業、交易業、工業

有シ商業、交易業、工業  
有シ商業、交易業、工業

統制令ハ  
指定セズ

二 前號ニ掲グル事業ヲ營ム者ヲ以テ組織スル團體ニシテ當該地區内ニ事務所ヲ有スルモノ

社団

三 前號ニ掲グルモノノ外當該地區内ニ事務所ヲ有スル農業、漁業、林業、水産業ニ關スルモノヲ除

スルモノハ本令ノ非サル團體但シ農林畜水産業ニ關スルモノヲ除  
工業、農業、漁業、林業、水産業  
農林畜水産業ニ關スルモノヲ除

第六條 主務大臣前號ニ規定スルモノニ對シテ命令ノ定ムル

旧四

(有価証券)  
有価証券

所ニ依リ前條ノ規定ニ依リ會員タル資格ヲ有スル者ニ對シテ商工業協會ノ設立ヲ命ズベシ

商工業協會

商工業協會

前項ノ規定ニ依ル商工業協會ノ設立ノ命令アリタルトモハ命令ノ定ムル所ニ依リ創立總會ヲ請キ定款其ノ他商工業協會ノ設立ニ必要ナル事項ヲ定メ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ



裏面白紙

○ 第一項ノ規定ニ依リ設立ヲ命ゼラレタル者其ノ設立ヲ爲ササルトキハ  
主務大臣ハ定款ノ作成其ノ他商工經濟會ノ設立ニ關シ必要ナル處分ヲ  
爲スル事ヲ得

位置

第七條 商工經濟會ノ定款ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ 旧六

- 一 名稱
- 二 地區 (一)
- 三 事務所ノ所在地 (一)
- 四 會員ニ關スル規定 (二) 議決
- 五 事業及其ノ執行ニ關スル規定 (三)
- 六 役員ニ關スル規定 (三)
- 七 會議ニ關スル規定 (四)
- 八 會計ニ關スル規定 (五)
- 九 文部ニ關スル規定 (六)

第八條 商工經濟會ハ第六條第二項ノ認可アリタル時又ハ同條第三項ノ  
規定ニ依リ定款ノ作成アリタル時成立ス

議決

旧五

裏面白紙

第九條 商工經濟會成立シタルトキハ其ノ會員タル資格ヲ有スル者ハ  
總テ其ノ商工經濟會ノ會員トス

第十條 商工經濟會ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ登記ヲ爲スコトヲ要ス  
前項ノ規定ニ依リ登記スベキ事項ハ登記ノ後ニ非ザレバ之ヲ以テ第  
三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

第十一條 商工經濟會又ハ商工經濟會ヲ以テ組織スル團體ニ非ザル  
者  
又ハ其ノ名稱中ニ商工經濟會ナル文字ヲ用フルコトヲ得ズ

第十二條 商工經濟會ニハ左ノ役員ヲ置ク  
會頭 一人 旧三四 職名

理事 若干人 旧三三 職名

監事 若干人

評議員 若干人 旧三三 職名

商工經濟會ニハ前項ノ役員ノ外定款ノ定ムル所ニ依リ副會頭二人以  
内又ハ理事長一人ヲ置クコトヲ得

董事ノ職名

裏面白紙

第十三條 會頭ハ商工經濟會ヲ代表シ會務ヲ總理ス

副會頭ハ會頭ヲ輔佐シ豫メ會頭ノ定ムル順位ニ依リ會頭事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理シ會頭缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

○理事長ハ會頭及副會頭ヲ輔佐シ會務ヲ掌理シ會頭及副會頭共ニ事故アルトキハ會頭ノ職務ヲ代理シ會頭及副會頭共ニ缺員ノトキハ會頭ノ職務ヲ行フ

理事ハ會頭、副會頭及理事長ヲ輔佐シ會務ヲ分掌シ豫メ會頭ノ定ムル順位ニ依リ會頭、副會頭及理事長共ニ事故アルトキハ會頭ノ職務ヲ代理シ會頭、副會頭及理事長共ニ缺員ノトキハ會頭ノ職務ヲ行フ

給事ハ商工經濟會ノ業務及財産ノ狀況ヲ踏査ス  
評議員ハ會頭ノ諮問ニ對シ答申シ又ハ會頭ニ對シ意見ヲ具申ス

第十四條 會頭ハ會頭銓衡委員ノ推薦シタル者ノ中ヨリ地方長官ノ意見ヲ徵シ主務大臣之ヲ命ズ

○前項ノ會頭銓衡委員ハ當該商工經濟會ノ地區内ニ於ケル産業經濟ニ

5  
1038  
1039  
1040

可定  
觀門ヲ  
キハ其ノ  
アルトキハ

1037  
1038

1039

裏面白紙

關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ地方長官之ヲ命ズ  
副會頭、理事長及理事ハ當該商工經濟會ノ地區内ニ於ケル産業經濟  
ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ地方長官ノ承認ヲ受ケ會頭  
之ヲ命ズ

○ 論專ハ命令ノ定ムル所ニ依リ評議員之ヲ選任ス  
評議員ハ命令ノ定ムル所ニ依リ評議員銓衡委員ノ推薦シタル者ノ中ヨリ會頭之ヲ命ズ  
前項ノ評議員銓衡委員ハ會員又ハ其ノ代表者ノ中ヨリ地方長官ノ承認ヲ受ケ會頭之ヲ命ズ

第十五條 商工經濟會ノ役員ノ任期ハ左ノ通トス

- 會頭 三年 1129
- 副會頭 三年 1130
- 理事長 三年 1131
- 理事 三年 1132

監事 二年

評議員 二年

會頭必要アリト認ムルトキハ任期中ト雖モ地方長官ノ承認ヲ受ケ副  
會頭、理事長又ハ理事ヲ解任スルコトヲ得

第十六條 商工經濟會ハ産業經濟ニ關スル事項ニ付行政官廳ニ建議ス  
ルコトヲ得  
行政官(市役所)ニ  
亦三項ヲ

商工經濟會ハ行政官廳ノ諮問ニ對シ答申スベシ

第十七條 商工經濟會ハ其ノ會員及會員タル團體ヲ組織スル者ニ對シ  
産業經濟ニ關スル調査ヲ爲ス爲必要ナル資料ノ提出ヲ求ムルコトヲ  
得  
罰則ナシ  
定款違反及逸失金

第十八條 商工經濟會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員ニ對シ經費ヲ  
賦課スルコトヲ得  
罰則ナシ  
定款違反及逸失金

第十九條 商工經濟會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ定款ニ違反シタル會員  
ニ對シ過怠金ヲ課スルコトヲ得  
罰則ナシ  
定款違反及逸失金

旧二六  
旧三七

裏面白紙

第二十條 第十條ノ規定ニ依ル賦課金又ハ過怠金ヲ滯納スル者アル

場合ニ於テ商工經濟會ノ請求アルトキハ市町村ハ市町村税ノ例ニ依  
リ之ヲ處分ス此ノ場合ニ於テ商工經濟會ハ其ノ徵收金額ノ百分ノ四  
ヲ市町村ニ交付スベシ

徵收手續  
手續  
モノトス

前項中町村トアルハ町村制ヲ施行セザル地ニ在リテハ之ニ準ズベキ

第一項ノ規定ニ依ル徵收金ノ先取特權ノ順位ハ市町村其ノ他之ニ準  
ズベキモノノ徵收金ニ次ギ其ノ時効ニ付テハ市町村税ノ例ニ依ル

第二十一條 商工經濟會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ使用料及手数料ヲ徵  
收スルコトヲ得

前項ノ使用料及手数料ノ徵收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ  
得

第二十二條 商工經濟會ニ總會ヲ置ク  
通常總會ハ毎年一回會頭之ヲ招集ス

10-1

10-3

10-38



○ 會頭必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ臨時總會ヲ招集スルコトヲ得

外之  
第二十三條 會員ハ總會ニ於テ各一個ノ議決權ヲ有ス但シ定款ノ定ムル所ニ依リ二個以上ノ議決權ヲ有セシムルコトヲ得

第二十四條 總會ノ議長ハ會頭ヲ以テ之ニ充ツ

第二十五條 左ニ掲グル事項ハ總會ノ議決ヲ經ルコトヲ要ス

一 定款ノ變更

二 收支豫算

三 賦課金ノ賦課徵收方法

第二十六條 總會ノ議決ハ定款ノ變更ヲ除クノ外出席シタル會員ノ議決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

定款ノ變更ハ總會ニ於テ會員ノ半數以上出席シ出席者ノ議決權ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ議決ス

○ 會員ハ代理人ヲ以テ議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ出

1826

Handwritten notes and stamps at the bottom of the page, including a circular stamp with the number 1826.

席ト看做ス

前項ノ代理人ノ資格其ノ他代理人ニ關スル事項ハ定款ヲ以テ之ヲ定

ム

第二十七條 商工經濟會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ總會ニ代ルベキ總代

會ヲ設クルコトヲ得

代理

前五條ノ規定ハ前項ノ總代會ニ之ヲ準用ス

第二十八條 商工經濟會ハ其ノ地區内ノ必要ナル地ニ支部ヲ置キ其ノ

事業ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第二十九條 商工經濟會ノ支部ニ支部長ヲ置キ必要ニ應ジ參與ヲ置ク

支部長ハ

31 支部長ハ商工經濟會ノ徵集中ヨリ地方長官ノ承認ヲ受ケ會頭之ヲ命

ズ 職權

參與ハ會頭ノ承認ヲ受ケ支部長之ヲ命ズ

第三十條 定款ノ變更 收支豫算及賦課金ノ賦課徵收方法ハ行政官廳

有教習件カ

ハ行政官廳ノ認可ヲ得ルコトヲ要ス

地方長官

1125 II



ノ認可ヲ受クベシルニ非カレバ其ノ效力ヲ生ズ

第三十一條 行政官廳ハ商工經濟會ニ對シ産業經濟ニ關スル事項ノ調査ヲ命ズルコトヲ得

第三十二條 行政官廳ハ商工經濟會ニ對シ必要ナル事業ノ施行ヲ命ジ又ハ定款ノ變更其ノ他必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

第三十三條 行政官廳ハ商工經濟會ニ對シ業務及會計ニ關シ監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

行政官廳必要アリト認ムルトキハ監事ヲシテ監査ノ結果ヲ報告セシムルコトヲ得

第三十四條 行政官廳必要アリト認ムルトキハ商工經濟會ヨリ其ノ事業ニ關シ報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ其ノ事務所ニ臨檢シ業務ノ

狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得  
前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢検査セシムル場合ニ於テハ其

ノ中分シ示ス證據ヲ携帯セシムベシ

旧九

旧九  
後發

旧九  
報告  
事務  
局長

Faint, illegible text, possibly bleed-through from the reverse side of the page. The text is arranged in vertical columns and is extremely light and blurry.

144  
8/21

裏面白紙

第三十五條

商工經濟會ノ議決又ハ役員ノ行爲ガ法令若ハ定款ニ違反  
シ又ハ公益ヲ害スト認ムルトキハ行政官廳ハ議決ノ取消又ハ役員ノ  
解任ヲ爲スコトヲ得

第三十六條

商工經濟會ハ主務大臣ノ命令ニ因リテ解散ス

第三十七條

商工經濟會ノ解散及清算ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以  
テ之ヲ定ム

第三十八條

第三十四條第一項ノ規定ニ依ル當該官吏ノ検査ヲ拒ミ、  
妨ゲ又ハ忌避シタル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十九條

第十一條ノ規定ニ違反シ名稱中ニ商工經濟會ナル文字ヲ  
用ヒタル者ハ千圓以下ノ過料ニ處ス

附則

第四十條

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十一條

商工會議所法ハ之ヲ廢止ス

第四十二條

従前ノ商工會議所法ノ規定ニ依リ設立セラレ不法施行ノ

1048  
1043  
1042  
1041  
1040  
1039  
1038  
1037  
1036  
1035  
1034  
1033  
1032  
1031  
1030  
1029  
1028  
1027  
1026  
1025  
1024  
1023  
1022  
1021  
1020  
1019  
1018  
1017  
1016  
1015  
1014  
1013  
1012  
1011  
1010  
1009  
1008  
1007  
1006  
1005  
1004  
1003  
1002  
1001  
1000

際現ニ存スル商工會議所ハ本法施行後ト雖モ仍存續スルモノトス  
前項ノ商工會議所ニハ從前ノ商工會議所法ノ規定ヲ適用ス

第四十三條 本法ノ規定ニ依ル商工經濟會設立セラレタルトキハ其ノ  
地區内ノ前條第一項ノ商工會議所ハ同條第二項ノ規定ニ拘ラズ當該  
商工經濟會設立ノ時解散スルモノトス

第四十四條 舊商工會議所法ノ規定ニ依リ設立セラレタル本法施行ノ  
際現ニ存スル日本商工會議所ハ本法施行ノ日ニ於テ解散スルモノト

ト此ノ場合ニ於テ  
前項ノ規定ニ依ル日本商工會議所ノ解散及清算ニ付テハ仍從前ノ商工  
會議所法ノ規定ニ依ル第五十九條ニ於テ準用スル第二十五條第一項第九  
號及同條第二項ヲ除クテ適用ス

第四十五條 本法ノ規定ニ依ル商工經濟會ガ第四十二條第一項ノ商工  
會議所ヨリ譲受ケタル不動産ニ關スル權利ノ取得ニ付登記ヲ受クル  
場合ニ於テハ其ノ登録税ノ額ハ不動産ノ價格ノ千分ノ三トス但シ登録

1938

1938

税法ニ依リ算出シタル登録税ノ額ガ本法ニ依リ算出シタル税額ヨリ少キトキハ其ノ額ニ依ル

第四十六條 本法施行ノ際現ニ商工經濟會ノ名簿ヲ使用スル者ハ本法施行後六月以内ニ其ノ名簿ヲ變更スルコトヲ要ス

第三十九條ノ規定ハ前項ノ期間内之ヲ前項ニ掲グル者ニ適用セズ

経過規定中ニ異議申立

長務官法 五二

医師会令

17. 8. 22 官報

1939. 異議中

才十二條 一 三十四條 滋養倍食 从 採 養 之 趣 是

三〇 — 三一

滋養倍食 从 採 養 之 趣 是

三五

高 養 以 五 葉 以

四〇 肆

滋養倍食 从 採 養 之 趣 是

四一

滋養倍食 从 採 養 之 趣 是

五三

五九 日 之 向

六〇

滋養倍食 从 採 養 之 趣 是

入江 長井 其不

入江 長井 其不

入江 長井 其不

極秘

商工經濟會法案

一七、一八、一七

第一條 商工經濟會ハ國民經濟ノ總力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル爲行政官廳ニ協力シ産業經濟ノ圓滑ナル連絡ヲ圖ルト共ニ其ノ改善向上ニ努ムルコトヲ目的トス

第二條 商工經濟會ハ法人トス

第三條 商工經濟會ノ地區ハ道府縣ノ區域ニ依ル

第四條 商工經濟會ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ニ攝クル專權ヲ行フ

一 當該地區内ニ於ケル産業經濟ニ關スル規制ニ對スル協力

二 當該地區内ニ於ケル産業經濟ノ運営又ハ整備ニ關スル連絡

三 當該地區内ニ於ケル産業經濟ノ改善向上ニ關スル施設

四 産業經濟ニ關スル調査及研究

五 前各號ニ攝クルモノノ外商工經濟會ノ目的ヲ達スルニ必要ナル專

權

第五條 商工經濟會ノ會員タル資格ヲ有スル者ハ左ニ攝クル者ニシテ

裏面白紙



方長官ノ指定スルモノトス

- 一 當該地區内ニ營業所、工場又ハ事業場ヲ有シ商賣、交易業、工業、鑛業、金融業、電氣事業、交通運輸業又ハ土木建築業ヲ營ム者
- 二 前號ニ滿グル事業ヲ營ム者ヲ以テ組織スル團體ニシテ當該地區内ニ事務所ヲ有スルモノ
- 三 前號ニ滿グルモノノ外當該地區内ニ事務所ヲ有スル産業經濟ニ關スル法人又ハ法人ニ非ザル團體但シ農林畜水産業ニ關スルモノヲ除ク

△第六條 主務大臣陸工經濟會ヲ設立セシメントスルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ前條ノ規定ニ依リ會員タル資格ヲ有スル者ニ對シ陸工經濟會ノ設立ヲ命ズベシ

前項ノ規定ニ依ル商工經濟會ノ設立ノ命令アリタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ創立總會ヲ關キ定款其ノ他陸工經濟會ノ設立ニ必要ナル事項ヲ定メ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ





第一項ノ規定ニ依リ設立ヲ命ゼラレタル者其ノ設立ヲ爲サザルトキハ  
主務大臣ハ定款ノ作成其ノ他商工經濟會ノ設立ニ關シ必要ナル處分ヲ  
爲ス得

第七條 商工經濟會ノ定款ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

- 一 名稱
  - 二 地區
  - 三 事務所ノ所在地
  - 四 會員ニ關スル規定
  - 五 事業及其ノ執行ニ關スル規定
  - 六 役員ニ關スル規定
  - 七 會議ニ關スル規定
  - 八 會計ニ關スル規定
  - 九 支部ニ關スル規定
- 第八條 商工經濟會ハ第六條第二項ノ認可アリタル時又ハ同條第三項ノ  
規定ニ依リ定款ノ作成アリタル時成立ス

第九條 商工經濟會成立シタルトキハ其ノ會員タル資格ヲ有スル者ハ  
總テ其ノ商工經濟會ノ會員トス

第十條 商工經濟會ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ登記ヲ爲スコトヲ要ス  
前項ノ規定ニ依リ登記スベキ事項ハ登記ノ後ニ非ザレバ之ヲ以テ第  
三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

第十一條 商工經濟會又ハ商工經濟會ヲ以テ組織スル團體ニ非ザルモ  
ノハ其ノ名稱中ニ商工經濟會ナル文字ヲ用フルコトヲ得ズ

第十二條 商工經濟會ニハ左ノ役員ヲ置ク

會頭 一人

理事 若干人

監事 若干人

評議員 若干人

商工經濟會ニハ前項ノ役員ノ外定款ノ定ムル所ニ依リ副會頭二人以  
内又ハ理事長一人ヲ置クコトヲ得

第十三條 會頭ハ商工經濟會ヲ代表シ會務ヲ總理ス

副會頭ハ會頭ヲ輔佐シ濠メ會頭ノ定ムル順位ニ依リ會頭事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理シ會頭缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

理事長ハ會頭及副會頭ヲ輔佐シ會務ヲ掌理シ會頭及副會頭共ニ事故アルトキハ會頭ノ職務ヲ代理シ會頭及副會頭共ニ缺員ノトキハ會頭ノ職務ヲ行フ

理事ハ會頭、副會頭及理事長ヲ輔佐シ會務ヲ分掌シ濠メ會頭ノ定ムル順位ニ依リ會頭、副會頭及理事長共ニ事故アルトキハ會頭ノ職務ヲ代理シ會頭、副會頭及理事長共ニ缺員ノトキハ會頭ノ職務ヲ行フ

第十四條 會頭ハ會頭銓衡委員ノ推薦シタル者ノ中ヨリ地方長官ノ意見ヲ徵シ主務大臣之ヲ命ズ

評議員ハ會頭ノ諮問ニ對シ答申シ又ハ會頭ニ對シ意見ヲ具申ス

前項ノ會頭銓衡委員ハ當該商工經濟會ノ地區内ニ於ケル産業經濟ニ

關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ地方長官之ヲ命ズ  
副會頭、理事長及理事ハ當該商工經濟會ノ地區内ニ於ケル產業經濟  
ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ地方長官ノ承認ヲ受ケ會頭  
之ヲ命ズ

給事ハ命令ノ定ムル所ニ依リ評議員之ヲ選任ス

評議員ハ命令ノ定ムル所ニ依リ評議員銓衡委員ノ推薦シタル者ノ中  
ヨリ會頭之ヲ命ズ

前項ノ評議員銓衡委員ハ會員又ハ其ノ代表者ノ中ヨリ地方長官ノ承  
認ヲ受ケ會頭之ヲ命ズ

第十五條 商工經濟會ノ役員ノ任期ハ左ノ通トス

- 會頭 三年
- 副會頭 三年
- 理事長 三年
- 理事 三年



監事 二年

評議員 二年

會頭必要アリト認ムルトキハ任期中ト雖モ地方長官ノ承認ヲ受ケ副會頭、理事長又ハ理事ヲ解任スルコトヲ得

第十六條 商工經濟會ハ産業經濟ニ關スル事項ニ付行政官廳ニ建議スルコトヲ得

商工經濟會ハ行政官廳ノ諮問ニ對シ答申スベシ

第十七條 商工經濟會ハ其ノ會員及會員タル團體ヲ組織スル者ニ對シ産業經濟ニ關スル調査ヲ爲ス爲必要ナル資料ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第十八條 商工經濟會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員ニ對シ經費ヲ賦課スルコトヲ得

第十九條 商工經濟會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ定款ニ違反シタル會員ニ對シ過怠金ヲ課スルコトヲ得



第二十條 第十八條ノ規定ニ依ル賦課金又ハ適意金ヲ滯納スル者アル

場合ニ於テ商工經濟會ノ請求アルトキハ市町村ハ市町村税ノ例ニ依  
リ之ヲ處分ス此ノ場合ニ於テ商工經濟會ハ其ノ徵收金額ノ百分ノ四  
ヲ市町村ニ交付スベシ

前項中町村トアルハ町村制ヲ施行セザル地ニ在リテハ之ニ準ズベキ  
モノトス

第一項ノ規定ニ依ル徵收金ノ先取特權ノ順位ハ市町村其ノ他之ニ準  
ズベキモノノ徵收金ニ次ギ其ノ時効ニ付テハ市町村税ノ例ニ依ル  
第二十一條 商工經濟會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ使用料及手數料ヲ徵  
收スルコトヲ得

前項ノ使用料及手數料ノ徵收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ  
得

第二十二條 商工經濟會ニ總會ヲ置ク  
通常總會ハ毎年一回會頭之ヲ招集ス

會頭必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ臨時總會ヲ招集スルコトヲ得

第二十三條 會員ハ總會ニ於テ各一個ノ議決權ヲ有ス但シ定款ノ定ムル所ニ依リ二個以上ノ議決權ヲ有セシムルコトヲ得

第二十四條 總會ノ議長ハ會頭ヲ以テ之ニ充ツ

第二十五條 左ニ掲グル事項ハ總會ノ議決ヲ經ルコトヲ要ス

一 定款ノ變更

二 收支豫算

三 賦課金ノ賦課徵收方法

第二十六條 總會ノ議決ハ定款ノ變更ヲ除クノ外出席シタル會員ノ議決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス

定款ノ變更ハ總會ニ於テ會員ノ半數以上出席シ出席者ノ議決權ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ議決ス

會員ハ代理人ヲ以テ議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ出

席卜看做ス

前項ノ代理人ノ資格其ノ他代理人ニ關スル事項ハ定款ヲ以テ之ヲ定ム

第二十七條 商工經濟會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ總會ニ代ルベキ總代會ヲ設クルコトヲ得

前五條ノ規定ハ前項ノ總代會ニ之ヲ準用ス

第二十八條 商工經濟會ハ其ノ地區内ノ必要ナル地ニ支部ヲ置キ其ノ事業ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第二十九條 商工經濟會ノ支部ニ支部長ヲ置キ必要ニ應ジ參與ヲ置クコトヲ得

支部長ハ商工經濟會ノ役員中ヨリ地方長官ノ承認ヲ受ケ會頭之ヲ命ズ

參與ハ會頭ノ承認ヲ受ケ支部長之ヲ命ズ

第三十條 定款ノ變更、收支豫算及賦課金ノ賦課徵收方法ハ行政官廳



ノ認可ヲ受クベシ

第三十一條 行政官廳ハ商工經濟會ニ對シ産業經濟ニ關スル事項ノ調査ヲ命ズルコトヲ得

第三十二條 行政官廳ハ商工經濟會ニ對シ必要ナル事業ノ施行ヲ命ジ又ハ定款ノ變更其ノ他必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

第三十三條 行政官廳ハ商工經濟會ニ對シ業務及會計ニ關シ監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

行政官廳必要アリト認ムルトキハ監事ヲシテ監査ノ結果ヲ報告セシムルコトヲ得

第三十四條 行政官廳必要アリト認ムルトキハ商工經濟會ヨリ其ノ事業ニ關シ報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ其ノ事務所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢検査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ

第三十五條 商工經濟會ノ議決又ハ役員ノ行爲ガ法令若ハ定款ニ違反シ又ハ公益ヲ害スト認ムルトキハ行政官廳ハ議決ノ取消又ハ役員ノ解任ヲ爲スコトヲ得

第三十六條 商工經濟會ハ主務大臣ノ命令ニ因リテ解散ス

第三十七條 商工經濟會ノ解散及清算ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十八條 第三十四條第一項ノ規定ニ依ル當該官吏ノ検査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十九條 第十一條ノ規定ニ違反シ名稱中ニ商工經濟會ナル文字ヲ用ヒタル者ハ千圓以下ノ過料ニ處ス

附則

第四十條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十一條 商工會議所法ハ之ヲ廢止ス

第四十二條 従前ノ商工會議所法ノ規定ニ依リ設立セラレ本法施行ノ

際現ニ存スル商工會議所ハ本法施行後ト雖モ仍存續スルモノトス  
前項ノ商工會議所ニハ從前ノ商工會議所法ノ規定ヲ適用ス

第四十三條 本法ノ規定ニ依ル商工經濟會設立セラレタルトキハ其ノ  
地區内ノ前條第一項ノ商工會議所ハ同條第二項ノ規定ニ拘ラズ當該  
商工經濟會設立ノ時解散スルモノトス

第四十四條 從前ノ商工會議所法ノ規定ニ依リ設立セラレ本法施行ノ  
際現ニ存スル日本商工會議所ハ本法施行ノ日ニ於テ解散スルモノト  
ス

前項ニ規定スル日本商工會議所ノ解散及清算ニ付テハ仍從前ノ商工  
會議所法ノ規定一第五十九條ニ於テ準用スル第二十五條第一項第九  
號及同條第二項ヲ除ク一ヲ適用ス

第四十五條 本法ノ規定ニ依ル商工經濟會ガ第四十二條第一項ノ商工  
會議所ヨリ讓受ケタル不動産ニ關スル權利ノ取得ニ付登記ヲ受クル  
場合ニ於テハ其ノ登録稅ノ額ハ不動産ノ價格ノ千分ノ三トス但シ登録

税法ニ依リ算出シタル登録税ノ額ガ本法ニ依リ算出シタル税額ヨリ少キトキハ其ノ額ニ依ル

第四十六條 本法施行ノ際現ニ商工經濟會ノ名稱ヲ使用スル者ハ本法施行後六月以内ニ其ノ名稱ヲ變更スルコトヲ要ス

第三十九條ノ規定ハ前項ノ期間内之ヲ前項ニ掲グル者ニ適用セス

商工經濟會法案

一七ノ五  
目録

第一條 商工經濟會ハ國民經濟ノ總力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル爲行政  
官廳ニ協力シ産業經濟ノ圓滑ナル連絡ヲ圖ルト共ニ其ノ改善向上ニ努  
ムルコトヲ目的トス

第二條 商工經濟會ハ法人トス

第三條 商工經濟會ノ範圍ハ道府縣ノ區域ニ依ル

第四條 商工經濟會ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ニ稱グル專課ヲ行フ

一 當該地區内ニ於ケル産業經濟ニ關スル統制ニ對スル協力

二 當該地區内ニ於ケル産業經濟ノ運営又ハ整備ニ關スル連絡

三 當該地區内ニ於ケル産業經濟ノ改善向上ニ關スル施設

四 産業經濟ニ關スル調査及研究

五 前各條ニ稱グルモノノ外商工經濟會ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事

察

第五條 商工經濟會ノ會員タル資格ヲ有スル者ハ左ニ稱グル者ニシテ取

人

方長官ノ指定スルモノトス

一 當該地區内ニ營業所、工場又ハ事業場ヲ有シ商業、交易業、工業、  
鐵業、金融業、電氣事業、交通運輸業又ハ土木建築業ヲ營ム者

二 前號ニ滿クル事業ヲ營ム者ヲ以テ組織スル團體ニシテ當該地區内  
ニ事務所ヲ有スルモノ

三 前號ニ滿グルモノノ外當該地區内ニ事務所ヲ有スル農林漁業ニ就  
スル法人又ハ法人ニ非ザル團體但シ農林畜水産業ニ關スルモノヲ除

第六條

主務大臣商工經濟會ヲ設立セシメントスルトキハ命令ノ定ムル  
所ニ依リ前條ノ規定ニ依リ會員タル資格ヲ有スル者ニ對シ商工經濟會  
ノ設立ヲ命ズベシ

前項ノ規定ニ依ル商工經濟會ノ設立ノ命令アリタルトキハ命令ノ定ム  
ル所ニ依リ創立總會ヲ請キ定款其ノ他商工經濟會ノ設立ニ必キナル事  
宜ヲ定メ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

主務大臣  
命令ノ定ムル  
所ニ依リ

第一項ノ規定ニ依リ設立ヲ命ゼラレタル者其ノ設立ヲ爲ササルトキハ  
主務大臣ハ定款ノ作成其ノ他商工經濟會ノ設立ニ關シ必要ナル處分ヲ  
爲ス得

第七條 商工經濟會ノ定款ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

- 一 名稱
  - 二 地區
  - 三 事務所ノ所在地
  - 四 會員ニ關スル規定
  - 五 事業及其ノ執行ニ關スル規定
  - 六 役員ニ關スル規定
  - 七 會議ニ關スル規定
  - 八 會計ニ關スル規定
  - 九 文部ニ關スル規定
- 第八條 商工經濟會ハ第六條第二項ノ認可アリタル時又ハ同條第三項ノ  
規定ニ依リ定款ノ作成アリタル時成立ス

第九條 商工經濟會成立シタルトキハ其ノ會員タル資格ヲ有スル者ハ

總テ其ノ商工經濟會ノ會員トス

第十條 商工經濟會又ハ商工經濟會ヲ以テ組織スル團體ニ非ザルモノ

ハ其ノ名稱中ニ商工經濟會ナル文字ヲ用フルコトヲ得ズ

第十一條 商工經濟會ニハ左ノ役員ヲ置クベシ

會員 一人

理事 若干人

監事 若干人

評議員 若干人

商工經濟會ニハ前項ノ役員ノ外定款ノ定ムル所ニ依リ副會頭二人以

内又ハ理事長一人ヲ置クコトヲ得

第十二條 會頭ハ商工經濟會ヲ代表シ會務ヲ統理ス

副會頭ハ會頭ヲ輔佐シ豫メ會頭ノ定ムル順位ニ依リ會務ヲ行フ

又ハ其ノ職務ヲ代理シ會頭缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

32條



理事長ハ會頭及副會頭ヲ輔佐シ會務ヲ掌理シ會頭及副會頭共ニ事務  
アルトキハ會頭ノ職務ヲ代理シ會頭及副會頭共ニ缺員ノトキハ會頭  
ノ職務ヲ行フ

理事ハ會頭、副會頭及理事長ヲ輔佐シ會務ヲ分掌シ豫メ會頭ノ定ム  
ル順位ニ依リ會頭、副會頭及理事長共ニ專設アルトキハ會頭ノ職務  
ヲ代理シ會頭、副會頭及理事長共ニ缺員ノトキハ會頭ノ職務ヲ行フ  
並ニ商工經濟會ノ業務及財源ノ狀況ヲ監査ス

第十三條 會頭ハ會頭餘額委員ノ推薦シタル者ノ中ヨリ地方長官ノ意  
見ヲ徴シ主務大臣之ヲ命ズ

前項ノ會頭餘額委員ハ當該商工經濟會ノ地區内ニ於ケル商業經濟ニ  
關シ經驗アル者及熟識アル者ノ中ヨリ地方長官之ヲ命ズ

副會頭、理事長及理事ハ當該商工經濟會ノ地區内ニ於ケル商業經濟  
ニ關シ經驗アル者及熟識アル者ノ中ヨリ地方長官ノ推薦ヲ受ケ會頭  
之ヲ命ズ



監事ハ命令ノ定ムル所ニ依リ評議員之ヲ適任ス  
評議員ハ命令ノ定ムル所ニ依リ評議員銓衡委員ノ推薦シタル者ノ中ヨ  
リ會頭之ヲ命ズ

前項ノ評議員銓衡委員ハ會員又ハ其ノ代表者ノ中ヨリ地方長官ノ承認  
ヲ受ケ會頭之ヲ命ズ

第十四條 商工經濟會ノ役員ノ任期ハ左ノ通トス

- 會頭 三年
- 副會頭 三年
- 理事長 三年
- 理事 三年
- 監事 二年
- 評議員 二年

會頭必要アリト認ムルトキハ任期中ト雖モ地方長官ノ承認ヲ受ケ副會  
頭、理事長又ハ理事ヲ解任スルコトヲ得



第十五條 商工經濟會ハ産業經濟ニ關スル事項ニ付行政官廳ニ建議スル  
コトヲ得

商工經濟會ハ行政官廳ノ諮問ニ對シ答申スベシ

第十六條 商工經濟會ハ其ノ會員及會員タル團體ヲ組織スル者ニ對シ  
産業經濟ニ關スル調査ヲ爲ス爲必至ナル資料ノ提出ヲ求ムルコトヲ  
得

第十七條 商工經濟會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員ニ對シ經費ヲ  
賦課スルコトヲ得

第十八條 商工經濟會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ定款ニ違反シタル會員  
ニ對シ過怠金ヲ課スルコトヲ得

第十九條 第十七條ノ規定ニ依ル賦課金又ハ過怠金ヲ帶納スル者アル  
場合ニ於テ商工經濟會ノ請求アルトキハ市町村ハ市町村税ノ列ニ依  
リ之ヲ處分ス此ノ場合ニ於テ商工經濟會ハ其ノ徴收金額ノ百分ノ四  
ヲ市町村ニ交付スベシ



前項中町村トアルハ町村制ヲ施行セザル地ニ在リテハ之ニ準ズベキモノトス

第一項ノ規定ニ依ル徵收金ノ先取特權ノ順位ハ市町村其ノ他之ニ準ズベキモノノ徵收金ニ次ギ其ノ時効ニ付テハ市町村税ノ例ニ依ル

第二十條 商工經濟會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ使用料及手数料ヲ徵收スルコトヲ得

前項ノ使用料及手数料ノ徵收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第二十一條 商工經濟會ニ總會ヲ置ク  
通常總會ハ毎年一回會期之ヲ招集ス  
會期必安アリト認ムルトキハ何時至當ニ臨時總會ヲ招集スルコトヲ得

第二十二條 左ニ掲グル事項ハ總會ノ議決ヲ經ルコトヲ要ス

- 一 定款ノ變更

教

✓

日取

才三修 第一号 三修 三修

修今 修今 修今 修今

修今 修今 修今 修今

別添

二 收支豫算

三 賦課金ノ賦課徴収方法

第二十三條 商工經濟會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ總會ニ代ルベキ總代會ヲ設クルコトヲ得

前二條ノ規定ハ前項ノ總代會ニ之ヲ準用ス

第二十四條 商工經濟會ハ其ノ地區内ノ必要ナル地ニ支部ヲ置キ其ノ事業ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第二十五條 商工經濟會ノ支部ニ支部長ヲ置キ必要ニ應ジ參與ヲ置クコトヲ得

支部長ハ商工經濟會ノ役員中ヨリ地方長官ノ承認ヲ受ケ會頭之ヲ命ズ

參與ハ會頭ノ承認ヲ受ケ支部長之ヲ命ズ

第二十六條 定款ノ變更、收支豫算及賦課金ノ賦課徴収方法ハ行政官ノ認可ヲ受クベシ

第二十七條 行政官廳ハ商工經濟會ニ對シ産業經濟ニ關スル事項ノ調査ヲ命ズルコトヲ得

第二十八條 行政官廳ハ商工經濟會ニ對シ必要ナル事業ノ施行ヲ命  
ジ又ハ定款ノ變更其ノ他必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

第二十九條 行政官廳ハ商工經濟會ニ對シ業務及會計ニ關シ監督上  
必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得  
行政官廳必要アリト認ムルトキハ監事ヲシテ監査ノ結果ヲ報告セ  
シムルコトヲ得

第三十條 行政官廳必要アリト認ムルトキハ商工經濟會ヨリ其ノ專  
業ニ關シ報告ヲ徵シ又ハ當該官吏ヲシテ其ノ事務所ニ臨檢シ業務  
ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得  
前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テハ  
其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ

第三十一條 商工經濟會ノ議決又ハ役員ノ行爲ガ法令若ハ定款ニ違  
反シ又ハ公益ヲ害スト認ムルトキハ行政官廳ハ議決ノ取消又ハ役  
員ノ解任ヲ爲スコトヲ得



十條

第三十二條 商工經濟會ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ登記ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依リ登記スベキ事項ハ登記ノ後ニ非ザレバ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

旧三十一條

第三十三條 商工經濟會ハ主務大臣ノ命令ニ因リテ解散ス

第三十四條 第三十條第一項ノ規定ニ依ル營該官更ノ検査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十五條 第三十條ノ規定ニ違反シ名稱中ニ商工經濟會ナル文字ヲ用ヒタル者ハ千圓以下ノ過料ニ處ス

附則

第三十六條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十七條 商工會議所法ハ之ヲ廢止ス

第三十八條 従前ノ商工會議所法ノ規定ニ依リ設立セラレ本法施行ノ際現ニ存スル商工會議所及日本商工會議所ハ本法施行後ト雖モ



裏面白紙

仍存續スルモノトス

前項ノ商工會議所及日本商工會議所ニハ従前ノ商工會議所法ノ規定ヲ適用ス

第三十九條 本法ノ規定ニ依ル商工經濟會設立セラレタルトキハ其ノ進  
區内ノ前條第一項ノ商工會議所ハ同條第二項ノ規定ニ拘ラス當該商工

經濟會設立ノ時前條第一項ノ規定ニ依リテモノトス  
第四十條 第三十八條第一項ノ日本商工會議所ハ本法施行ノ日ニ於テ廢止ス

第四十一條 本法ノ規定ニ依ル商工經濟會ガ第三十八條第一項ノ規定ニ依リテ設立スルモノトス  
議所及日本商工會議所ヨリ譲受ケタル不動産ニ歸スル權利ノ取得ニ付

登記ヲ受クル場合ニ於テハ其ノ登録税ノ額ハ不動産ノ買得ノ千分ノ三  
トス但シ登録税法ニ依リ算出シタル登録税ノ額ガ本法ニ依リ算出シタル  
ル税額ヨリ少キトキハ其ノ額ニ依ル

第四十二條 本法施行ノ際現ニ商工經濟會ノ名稱ヲ使用スル者ハ本法施行後六月以内ニ其ノ名稱ヲ變更スルコトヲ要ス

第三十五條ノ規定ハ前項ノ期間内ニ之ヲ前項ニ準グル者ニ適用セズ



大日本帝國政府 秘

同上書成所為以此法詳察ニ對スル見

(會談稅則)

一 第四十四條ノ規定ハ不設ナリト認メフルコト

二 第四十五條ノ規定ハ左ノ如ク設ク被コト

第四十一條

同上書成所為

第四十一條ニ關シテ二項ノ規定一依リテ

本國産ニ對スル權利ノ保持ニヨリテ受ケル利益ニ對テハ其ノ

利益ノ一部ハ不設ニ價付ノ了分ノ三トス但シ其利益法ニ依リ

損シタル利益ノ額力本法ニ依リ算出シタル利益ヨリ少キトキハ

其ノ利益ニ依ル

裏面白紙

大日本帝國政府

勸業獎勵法施行規則

(國家規格 5-23 × 35 毫米)

一、地租

二、所得稅

○ 稅法第四條

施行規則 第一條 第一號

15 勸 104

三、臨時所得稅

○ 稅法第二條

勸業獎勵法施行規則 第七條 法人 第二號 法人 稅法 第二條 第一號

四、法人稅

○ 稅法第四條

施行規則 第五條 第一號

五、遺產稅

○ 稅法第二條

勸業獎勵法 第二條 第一號

40

但書 民法 第三條 第二號 法人 勸業獎勵法 第二條 第一號

勸業獎勵法 第二條 第一號

裏面白紙

大日本帝國政府

登録法 第二條 三號

不効を由る登記

遺言贈與其 他無償主義に因り所有權を取得

不効を附格

千九百一十四年

但し神社 該法に宗教團體としての民法に於ては之を依り改定するに法に力  
無償主義に因り所有權を取得し且つ千九百一十四年

① 第三號

第一號 第二號 第三號 以下 第四號 第五號 第六號 第七號 第八號 第九號 第十號

千九百一十四年

第三條 三 高工債権會社

第三條 第一項 規定に依り

無償主義に依り

凡そ所有權を以て移轉するに於ては之を以て所有權の移轉と認むるに依り  
凡そ所有權を以て移轉するに於ては之を以て所有權の移轉と認むるに依り  
凡そ所有權を以て移轉するに於ては之を以て所有權の移轉と認むるに依り

裏面白紙

(規定規格 55 × 35 毫米)

大日本帝國政府

第四十一條 本法ノ規定ニ依ル商工経済会カ才三十八條才一項ノ商工会議所及日本

商工會議所ヨリ取得タル不利益ニ由ル權利ノ取得ニ付登記ヲ受タル場合

ニ於テハ其ノ登録税ノ額ハ不利益ノ價格ノ千分ノ三トス但シ登録税法

ニ依リ算出シタル登録税ノ額ガ本法ニ依リ算出シタル税額ヨリ少キトキハ

其ノ額ニ依ル

才四十二條

(國定規格四六三三五七)

裏面白紙

# 大日本帝國政府

## 商工經濟會法案

第一條 商工經濟會ハ國民經濟ノ總力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル爲行政官廳ニ協力シ產業經濟ノ圓滑ナル連絡ヲ圖ルト共ニ其ノ改善向上ニ努ムルコトヲ目的トス

第二條 商工經濟會ハ法人トス

第三條 商工經濟會ハ道府縣ノ<sup>地方</sup>區<sup>域</sup>ニ依ル

第四條 商工經濟會ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ニ掲グル事業ヲ行フ

- 一 當該地區内ニ於ケル產業經濟ニ關スル統制ニ對スル協力
- 二 當該地區内ニ於ケル產業經濟ノ運営又ハ整備ニ關スル連絡
- 三 當該地區内ニ於ケル產業經濟ノ改善向上ニ關スル施設
- 四 產業經濟ニ關スル調査及研究
- 五 前各號ニ掲グルモノノ外商工經濟ノ<sup>係</sup>目的ヲ達スルニ必要ナル事業

裏面白紙



# 大日本帝國政府

## 第五條

商工經濟會（會）員タル資格ヲ有スル者ハ左ニ掲グル者ニシテ  
地方長官ノ指定スルモノトス

- 一 當該地内ニ營業所、工場又ハ市場場ヲ有シ商業、交易業、工業、鑛業、金融業、電氣事業、交通運輸業又ハ土木建築業ヲ營ム者

二 前號ニ掲グル事業ヲ營ム者ヲ以テ組織スル團體ニシテ當該地

内ニ事務所ヲ有スルモノ

三 ~~前~~號ニ掲グルモノノ外當該地内ニ事務所ヲ有スル産業經濟ニ關スル團體但シ農林畜水産業ニ關スル團體ヲ除ク

## 第六條

主務大臣商工經濟會ヲ設立セシメントスルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ組織ニ定メ前條ノ規定ニ依リ資格タル資格ヲ有スル者ニ對シ商工經濟會ノ設立ヲ命ズベシ

前項ノ規定ニ依ル商工經濟會（會）ノ設立ノ命令アリタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ創立總會ヲ開キ定款其ノ他商工經濟會ノ設立ニ必要ナル事項ヲ定メ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

裏面白紙

# 大日本帝國政府

第一項ノ規定ニ依リ設立ヲ命ゼラレタル者其ノ設立ヲ爲サザルトキハ主務大臣ハ定款ノ作成其ノ他設立ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第七條 商工經濟會ノ定款ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

- 一 名稱
  - 二 地區
  - 三 事務所ノ所在地
  - 四 會員ニ關スル規定
  - 五 事業及其ノ執行ニ關スル規定
  - 六 役員ニ關スル規定
  - 七 會議ニ關スル規定
  - 八 會計ニ關スル規定
  - 九 支部ニ關スル規定
- 第八條 商工經濟會ハ第六條第二項ノ認可アリタル時又ハ第八條第三項ノ規定ニ依リ定款ノ作成アリタル時成立ス

裏面白紙



# 大日本帝國政府

第九條 商工經濟會成立シタルトキハ其ノ會員タル資格ヲ有スル者ハ  
總テ其ノ商工經濟會ノ會員トス

第十條 商工經濟會又ハ商工經濟會ヲ以テ組織スル團體ニ非ザルモノ  
ハ其ノ名稱中ニ商工經濟會ナル文字ヲ用フルコトヲ得ズ

第十一條 商工經濟會ニハ左ノ役員ヲ置クベシ

會 頭 一人

理 事 若干人

監 事 若干人

評議員 若干人

商工經濟會ニハ前項ノ役員ノ外定款ノ定ムル所ニ依リ副會頭二人以  
内又ハ理事長一人ヲ置クコトヲ得

第十二條 會頭ハ商工經濟會ヲ代表シ事務ヲ總理ス

副會頭ハ會頭ヲ輔佐シ豫メ會頭ノ定ムル順位ニ依リ會頭事故アルト  
キハ其ノ職務ヲ代理シ會頭缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

裏面白紙

# 大日本帝國政府

理事長ハ會頭及副會頭ヲ輔佐シ<sup>會</sup>職務ヲ掌理シ會頭及副會頭共ニ事故アルトキハ會頭ノ職務ヲ代理シ會頭及副會頭共ニ缺員ノトキハ會頭ノ職務ヲ行フ

理事ハ會頭、副會頭及理事長ヲ輔佐シ<sup>會</sup>職務ヲ分掌シ豫メ會頭ノ定ムル順位ニ依リ會頭、副會頭及理事長共ニ事故アルトキハ會頭ノ職務ヲ代理シ會頭、副會頭及理事長共ニ缺員ノトキハ會頭ノ職務ヲ行フ  
監事ハ商工經濟會ノ業務及財産ノ狀況ヲ監査ス

第十三條 會頭ハ會頭餘銜委員ノ推薦シタル者ノ中ヨリ地方長官ノ意見ヲ徵シ主務大臣之ヲ命ズ

前項ノ會頭餘銜委員ハ當該商工經濟會ノ地區内ニ於ケル產業經濟ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ地方長官之ヲ命ズ

副會頭、理事長及理事ハ當該商工經濟會ノ地區内ニ於ケル產業經濟ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ地方長官ノ承認ヲ受ケ會頭之ヲ命ズ

裏面白紙

# 大日本帝國政府

監事ハ命令ノ定ムル所ニ依リ評議員之ヲ選任ス

評議員ハ命令ノ定ムル所ニ依リ評議員銓衡委員ノ推薦シタル者ノ中ヨリ地方長官ノ承認ヲ受ケ會頭之ヲ命ズ

前項ノ評議員銓衡委員ハ會員又ハ其ノ代表者ノ中ヨリ地方長官ノ承認ヲ受ケ會頭之ヲ命ズ

第十四條 商工經濟會ノ役員ノ任期ハ左ノ如トス

會頭 三年

副會頭 三年

理事長 三年

理事 三年

監事 二年

評議員 二年

會頭必要アリト認ムルトキハ任期中ト雖モ地方長官ノ承認ヲ受ケ副會頭、理事長又ハ理事ヲ解任スルコトヲ得

裏面白紙

# 大日本帝國政府

第十五條 商工經濟會ハ産業經濟ニ關スル事項ニ付行政官廳ニ建議スルコトヲ得

商工經濟會ハ行政官廳ノ諮問ニ答申スベシ

第十六條 商工經濟會ハ其ノ會員及會員タル團體ヲ組織スル者ニ對シ産業經濟ニ關スル調査ヲ爲ス爲必要ナル資料ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第十七條 商工經濟會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員ニ對シ經費ヲ賦課スルコトヲ得

第十八條 商工經濟會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ定款ニ違反シタル會員ニ對シ過怠金ヲ課スルコトヲ得

第十九條 第十七條ノ規定ニ依ル賦課金又ハ過怠金ヲ滯納スル者アル場合ニ於テ商工經濟會ノ請求アルトキハ市町村ハ市町村稅ノ例ニ依リ之ヲ處分ス此ノ場合ニ於テ商工經濟會ハ其ノ徵收金額ノ百分ノ四ヲ市町村ニ交付スベシ

裏面白紙

# 大日本帝國政府

前項中町村トアルハ町村制ヲ施行セザル地ニ在リテハ之ニ準ズベキ  
モノトス

第一項ノ規定ニ依ル徵收金ノ先取特權ノ順位ハ市町村其ノ他之ニ準  
ズベキモノノ徵收金ニ次ギ其ノ時効ニ付テハ市町村稅ノ例ニ依ル  
第二十條 商工經濟會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ使用料及手数料ヲ徵收  
スルコトヲ得

前項ノ使用料及手数料ノ徵收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ  
得

第二十一條 商工經濟會ニ總會ヲ置ク  
通常總會ハ毎年一回會頭之ヲ招集ス  
會頭必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ臨時總會ヲ招集スルコトヲ  
得

第二十二條 左ニ掲グル事項ハ總會ノ議決ヲ經ルコトヲ要ス  
一 定款ノ變更

# 大日本帝國政府

## 二 收支豫算

### 三 賦課金ノ賦課徵收方法

第二十三條 商工經濟會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ總會ニ代ルベキ總代會ヲ設クルコトヲ得

前二條ノ規定ハ總代會ニ之ヲ準用ス

第二十四條 商工經濟會ハ其ノ地區内ノ必要ナル地ニ支部ヲ置キ其ノ郡縣ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第二十五條 商工經濟會ノ支部ニ支部長ヲ置キ必要ニ應ジ參與ヲ置クコトヲ得

支部長ハ商工經濟會ノ役員中ヨリ地方長官ノ承認ヲ受ケ會頭之ヲ命ズ

參與ハ會頭ノ承認ヲ受ケ支部長之ヲ命ズ

第二十六條 定款ノ變更、收支豫算及賦課金ノ賦課徵收方法ハ行政官廳ノ認可ヲ受クベシ

第二十七條 行政官廳ハ商工經濟會ニ對シ産業經濟ニ關スル事項ノ調査ヲ命ズルコトヲ得

# 大日本帝國政府

第二十八條 行政官廳ハ商工經濟會ニ對シ必要ナル舉業ノ施行ヲ命  
ジ又ハ定款ノ變更其ノ他必要ナル舉業ヲ命スルコトヲ得

第二十九條 行政官廳ハ商工經濟會ニ對シ業務及會計ニ關シ監督上  
必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得  
行政官廳必受アリト認ムルトキハ該事ヲシテ監督ノ結果ヲ報告セ  
シムルコトヲ得

第三十條 行政官廳必受アリト認ムルトキハ商工經濟會ヨリ其ノ事  
業ニ關シ報告ヲ發シ又ハ當該官吏ヲシテ其ノ事務所ニ臨檢シ業務  
ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢檢査セシムル場合ニ於テハ  
其ノ身分ヲ示ス證據ヲ携帶セシムベシ

第三十一條 商工經濟會ノ議決又ハ役員ノ行爲方法命令若ハ定款ニ違  
反シ又ハ公益ヲ害スト認ムルトキハ行政官廳ハ議決ノ取消又ハ役  
員ノ解任ヲ爲スコトヲ得

# 大日本帝國政府

第三十二條 商工經濟會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ登記ヲ爲スコトヲ

要ス

前項ノ規定ニ依リ登記スベキ事項ハ登記ノ後ニ非ザレバ之ヲ以テ

第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

第三十三條 商工經濟會ハ主務大臣ノ命令ニ因リテ解散ス

第三十四條 第三十條第一項ノ規定ニ依ル當該官吏ノ検査ヲ拒ミ、

妨ゲ又ハ忌避シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十五條 第十條ノ規定ニ違反シ名稱中ニ商工經濟會ナル文字ヲ

用ヒタル者ハ千圓以下ノ過料ニ處ス

附則

第三十六條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十七條 商工會議所法ハ之ヲ廢止ス

第三十八條 従前ノ商工會議所法ノ規定ニ依リ設立セラレ本法施行

ノ際現ニ存スル商工會議所及日本商工會議所ハ本法施行後ト雖仍

存續スルモノトス



大日本帝國政府

前項ノ商工會議所及日本商工會議所ニハ從前ノ商工會議所法ノ規定ヲ適用ス

第三十九條 本法ノ規定ニ依ル商工經濟會設立セラレタルトキハ其ノ地區内ノ前條第一項ノ商工會議所ハ同條第二項ノ規定ニ拘ラズ當該商工經濟會設立ノ時當然解散スルモノトス

第四十條 <sup>第三十一條ノ後ノ</sup> 前ノ商工會議所法ノ規定ニ依リ設立セラレ本法施行ノ際現ニ存スル日本商工會議所ハ本法施行ノ日ニ於テ <sup>同條</sup> 第三十八條第二項ノ規定ニ拘ラズ當然解散スルモノトス

第四十一條 登錄稅法中左ノ趣改正ス

第十九條第七號中「商工組合中央金庫」ノ下ニ「商工會議所」ヲ、「商工組合中央金庫法」ノ下ニ「商工會議所法」ヲ加フ

第四十二條 本法施行ノ際現ニ商工經濟會ノ名稱ヲ使用スル者ハ本法施行後六月以内ニ其ノ名稱ヲ變更スルコトヲ要ス

第三十五條ノ規定ハ前項ノ期間内之ヲ前項ニ當グル者ニ適用セズ

裏面白紙

大日本帝國政府  
 商工經濟會法案

商工經濟會法案

一七、一、一、四

- 第一條 商工經濟會ハ國民經濟ノ總力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル爲行政官廳ニ協力シ産業經濟ノ圓滑ナル連絡ヲ圖ルト共ニ其ノ改善向上ニ努ムルコトヲ目的トス
- 第二條 商工經濟會ハ法人トス
- 第三條 商工經濟會ハ道府縣ノ~~區域~~ニ依ル
- 第四條 商工經濟會ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ニ掲グル事業ヲ行フ
  - 一 當該地區内ニ於ケル産業經濟ニ關スル統制ニ對スル協力
  - 二 當該地區内ニ於ケル産業經濟ノ運営又ハ整備ニ關スル連絡
  - 三 當該地區内ニ於ケル産業經濟ノ改善向上ニ關スル施設
  - 四 産業經濟ニ關スル調査及研究
  - 五 前各號ニ掲グルモノノ外商工經濟ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事業

裏面白紙

# 大日本帝國政府

第五條 商工經濟會（後）ノ員タル資格ヲ有スル者ハ左ニ掲グル者ニシテ

地方長官ノ指定スルモノトス

一 該縣地區内ニ營業所、工場又ハ市場場ヲ有シ商業、交易業、工業、礦業、金融業、電氣事業、交通運輸業又ハ土木建築業ヲ

営ム者（後）

二 前條ニ掲グル事業ヲ営ム者ヲ以テ組織スル團體ニシテ該地

區内ニ事務所ヲ有スルモノ

三 前條ニ掲グルモノノ外該地區内ニ事務所ヲ有スル商業

者ニ關シ商工經濟會（後）ノ設立ヲ命ズベシ

第六條 主務大臣商工經濟會ヲ設立セシメントスルトキハ命令ノ定

ムル所ニ依リ其組織ヲ定メ前條ノ規定ニ依リ會員タル資格ヲ有スル

者ニ關シ商工經濟會ノ設立ヲ命ズベシ

前項ノ規定ニ依ル商工經濟會ノ設立ノ命令アリタルトキハ命令ノ定

ムル所ニ依リ創立總會ヲ開キ定款其ノ範圍、組織、會費ノ設立ニ必要ナ

ル事項ヲ定メ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

裏面白紙

# 大日本帝國政府

第一項ノ規定ニ依リ設立ヲ命ゼラレタル者其ノ設立ヲ爲サザルトキハ主務大臣ハ定款ノ作成其ノ他設立ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

（商工經濟會）

第七條 商工經濟會ノ定款ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

- 一 名稱
  - 二 地區
  - 三 事務所ノ所在地
  - 四 會員ニ關スル規定
  - 五 事業及其ノ執行ニ關スル規定
  - 六 役員ニ關スル規定
  - 七 會議ニ關スル規定
  - 八 會計ニ關スル規定
  - 九 支部ニ關スル規定
- 第八條 商工經濟會ハ第六條第二項ノ認可アリタル時又ハ非<sub>同</sub>本條第三項ノ規定ニ依リ定款ノ作成アリタル時成立ス

裏面白紙

# 大日本帝國政府

第九條 商工經濟會成立シタルトキハ其ノ會員タル資格ヲ有スル者ハ  
總テ其ノ商工經濟會ノ會員トス

第十條 商工經濟會又ハ商工經濟會ヲ以テ組織スル團體ニ非ザルモノ  
ハ其ノ名稱中ニ商工經濟會ナル文字ヲ用フルコトヲ得ズ

第十一條 商工經濟會ニハ左ノ役員ヲ置クベシ

會 頭 一 人

理 事 若干人

監 事 若干人

評議員 若干人

商工經濟會ニハ前項ノ役員ノ外定款ノ定ムル所ニ依リ副會頭二人以  
內又ハ理事長一人ヲ置クコトヲ得

第十二條 會頭ハ商工經濟會ヲ代表シ<sup>會</sup>職務ヲ總理ス

副會頭ハ會頭ヲ輔佐シ豫メ會頭ノ定ムル順位ニ依リ會頭事故アルト  
キハ其ノ職務ヲ代理シ會頭缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

# 大日本帝國政府

理事長ハ會頭及副會頭ヲ輔佐シ<sup>會</sup>事務ヲ總理シ會頭及副會頭共ニ事故アルトキハ會頭ノ職務ヲ代理シ會頭及副會頭共ニ缺員ノトキハ會頭ノ職務ヲ行フ

理事ハ會頭、副會頭及理事長ヲ輔佐シ<sup>會</sup>事務ヲ分掌シ豫メ會頭ノ定ムル順位ニ依リ會頭、副會頭及理事長共ニ事故アルトキハ會頭ノ職務ヲ代理シ會頭、副會頭及理事長共ニ缺員ノトキハ會頭ノ職務ヲ行フ  
監事ハ商工總經濟會ノ業務及財産ノ狀況ヲ監査ス  
評議員ハ會頭ノ諮問ニ對シ答申シ又ハ會頭ニ對シ意見ヲ具申ス

第十三條 會頭ハ會頭銜委員ノ推薦シタル者ノ中ヨリ地方長官ノ意見ヲ徵シ主務大臣之ヲ命ズ

前項ノ會頭銜委員ハ當該商工經濟會ノ地區内ニ於ケル産業經濟ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ地方長官之ヲ命ズ

副會頭、理事長及理事ハ當該商工經濟會ノ地區内ニ於ケル産業經濟ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ地方長官ノ承認ヲ受ケ會頭之ヲ命ズ

# 大日本帝國政府

監事ハ命令ノ定ムル所ニ依リ評議員之ヲ選任ス

評議員ハ命令ノ定ムル所ニ依リ評議員銓衡委員ノ推薦シタル者ノ中ヨ

リ地方長官ノ承認ヲ受ケ會頭之ヲ命ズ

前項ノ評議員銓衡委員ハ會員又ハ其ノ代表者ノ中ヨリ地方長官ノ承認

ヲ受ケ會頭之ヲ命ズ

第十四條 商工經濟會ノ役員ノ任期ハ左ノ通トス

會頭 三年

副會頭 三年

理事長 三年

理事 三年

監事 二年

評議員 二年

會頭必要アリト認ムルトキハ任期中ト雖モ地方長官ノ承認ヲ受ケ副會頭、理事長又ハ理事ヲ解任スルコトヲ得

裏面白紙

大日本帝國政府

第十五條 商工經濟會ハ産業經濟ニ關スル事項ニ付行政官廳ニ建議スルコトヲ得

商工經濟會ハ行政官廳ノ諮問ニ答申スベシ

第十六條 商工經濟會ハ其ノ會員及會員タル團體ヲ組織スル者ニ對シ産業經濟ニ關スル調査ヲ爲ス爲必要ナル資料ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第十七條 商工經濟會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員ニ對シ經費ヲ賦課スルコトヲ得

第十八條 商工經濟會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ定款ニ違反シタル會員ニ對シ過怠金ヲ課スルコトヲ得

第十九條 第十七條ノ規定ニ依ル賦課金又ハ過怠金ヲ滯納スル者アル場合ニ於テ商工經濟會ノ請求アルトキハ市町村ハ市町村税ノ例ニ依リ之ヲ處分ス此ノ場合ニ於テ商工經濟會ハ其ノ徵收金額ノ百分ノ四ヲ市町村ニ交付スベシ

裏面白紙





# 大日本帝國政府

前項中町村トアルハ町村制ヲ施行セザル地ニ在リテハ之ニ準ズベキ  
モノトス

第一項ノ規定ニ依ル徵收金ノ先取特權ノ順位ハ市町村其ノ他之ニ準  
ズベキモノノ徵收金ニ次ギ其ノ時効ニ付テハ市町村稅ノ例ニ依ル  
第二十條 商工經濟會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ使用料及手數料ヲ徵收  
スルコトヲ得

前項ノ使用料及手數料ノ徵收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ  
得

第二十一條 商工經濟會ニ總會ヲ置ク

通常總會ハ毎年一回會頭之ヲ招集ス

會頭必要アリト認ムルトヤハ何時ニテモ臨時總會ヲ招集スルコトヲ  
得

第二十二條 左ニ掲グル事項ハ總會ノ議決ヲ經ルコトヲ要ス

一 定款ノ變更

# 大日本帝國政府

## 二 收支豫算

### 三 賦課金ノ賦課徵收方法

第二十三條 商工經濟會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ總會ニ代ルベキ總代會ヲ設ケタルコトヲ得

前二條ノ規定ハ總代會ニ之ヲ準用ス

第二十四條 商工經濟會ハ其ノ地區内ノ必要ナル地ニ支部ヲ置キ其ノ事業ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第二十五條 商工經濟會ノ支部ニ支部長ヲ置キ必要ニ應ジ參與ヲ置クコトヲ得

支部長ハ商工經濟會ノ役員中ヨリ地方長官ノ承認ヲ受ケ會頭之ヲ命ズ

參與ハ會頭ノ承認ヲ受ケ支部長之ヲ命ズ

第二十六條 定款ノ變更、收支豫算及賦課金ノ賦課徵收方法ハ行政官廳ノ認可ヲ受クベシ

第二十七條 行政官廳ハ商工經濟會ニ對シ産業經濟ニ關スル事項ノ調査ヲ命ズルコトヲ得

# 大日本帝國政府

第二十八條 行政官廳ハ商工經濟會ニ對シ必要ナル學業ノ履行ヲ命

ジ又ハ定款ノ變更其ノ他必要ナル事項ヲ命スルコトヲ得

第二十九條 行政官廳ハ商工經濟會ニ對シ業務及會計ニ關シ監督上

必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

行政官廳必要アリト認ムルトキハ該會ヲシテ監査ノ結果ヲ報告セ

シムルコトヲ得

第三十條 行政官廳必要アリト認ムルトキハ商工經濟會ヨリ其ノ事

業ニ關シ報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ其ノ職務所ニ臨檢シ業務

ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ應檢査セシムル場合ニ於テハ

其ノ身分ヲ示ス證據ヲ辨別セシムベシ

第三十一條 商工經濟會ノ議決又ハ役員ノ行爲方法令若ハ定款ニ違

反シ又ハ公益ヲ害スト認ムルトキハ行政官廳ハ議決ノ取消又ハ役

員ノ解任ヲ爲スコトヲ得

裏面白紙



# 大日本帝國政府

第三十二條 商工經濟會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ登記ヲ爲スコトヲ

要ス

前項ノ規定ニ依リ登記スベキ事項ハ登記ノ後ニ非ザレバ之ヲ以テ

第三十三條 商工經濟會ハ主務大臣ノ命令ニ因リテ解散ス

第三十四條 第三十條第一項ノ規定ニ依ル當該官吏ノ検査ヲ拒ミ、

妨グ又ハ忌避シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十五條 第十條ノ規定ニ違反シ名稱中ニ商工經濟會ナル文字ヲ

用ヒタル者ハ千圓以下ノ過料ニ處ス

## 附則

第三十六條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十七條 商工會議所法ハ之ヲ廢止ス

第三十八條 従前ノ商工會議所法ノ規定ニ依リ設立セラレ本法施行

ノ際現ニ存スル商工會議所及日本商工會議所ハ本法施行後ト雖仍

存續スルモノトス

裏面白紙

# 大日本帝國政府

前項ノ商工會議所及日本商工會議所ニハ從前ノ商工會議所法ノ規定ヲ適用ス

第三十九條 本法ノ規定ニ依ル商工經濟會設立セラレタルトキハ其ノ地區内ノ前條第一項ノ商工會議所ハ同條第二項ノ規定ニ拘ラズ當該商工經濟會設立ノ時當然解散スルモノトス

第四十條 從前ノ商工會議所法ノ規定ニ依リ設立セラレ本法施行ノ樂規ニ付テハ日本商工會議所ハ本法施行ノ日ニ於テ第三十八條ノ規定ニ拘ラズ當然解散スルモノトス

第四十一條 登錄稅法中左ノ條改正ス  
（注） 凡そ、取得又ハ保存ニ付テシテ  
 第十九條 第七條中「商工組合中央金庫」ノ下ニ「商工會議所」ヲ、  
 「商工組合中央金庫法」ノ下ニ「商工會議所法」ヲ加フ

第四十二條 本法施行ノ際現ニ商工經濟會ノ名稱ヲ使用スル者ハ本法施行後六月以内ニ其ノ名稱ヲ變更スルコトヲ要ス

第三十五條ノ規定ハ前項ノ期間内之ヲ前項ニ滿タル者ニ適用セス

裏面白紙

商工會議所法改正法律案

ノ七ノ三ノ三ノ目商

商工會議所法左ノ通改正ス

第一條 商工會議所ハ國民經濟ノ總力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル爲  
行政官廳ニ協力シ産業經濟ノ圓滑ナル連絡ヲ圖ルト共ニ其ノ改善  
向上ニ努ムルコトヲ目的トス

第二條 商工會議所ハ法人トス

第三條 商工會議所ハ主務大臣ノ命令ニ依リ道府縣ノ地區ニ於テ之

ヲ設立ス

第四條 商工會議所ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ニ掲グル事業ヲ行フ

- 一 當該地區内ニ於ケル産業經濟ニ關スル統制ニ對スル協力
- 二 當該地區内ニ於ケル産業經濟ノ運営又ハ整備ニ關スル連絡
- 三 當該地區内ニ於ケル産業經濟ノ改善向上ヲ圖ル爲ノ施設
- 四 産業經濟ニ關スル調査及研究
- 五 前各號ニ掲グルモノノ外商工會議所ノ目的ヲ達スルニ必要ナ

加記

ル事業

第五條 商工會議所ノ構成員タル資格ヲ有スル者ハ左ニ掲グル者ニシテ地方長官ノ指定スルモノトス

- 一 當該地區内ニ營業所、工場又ハ事業場ヲ有シ商業、貿易業、工業、鑛業、金融事業、電氣事業、交通運輸業又ハ土木建築業ヲ營ム者

二 前號ニ掲グル事業ヲ營ム者ヲ以テ組織スル團體ニシテ當該地區内ニ事務所ヲ有スルモノ

三 前二號ニ掲グルモノノ外當該地區内ニ事務所ヲ有スル産業經濟ニ關スル法人又ハ團體但シ農林畜水産業ニ關スル團體ヲ除ク

第六條 主務大臣商工會議所ヲ設立セシメントスルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ地區ヲ定メ前條ノ規定ニ依リ構成員タル資格ヲ有スル者ニ對シ商工會議所ノ設立ヲ命ズベシ

前項ノ規定ニ依ル商工會議所ノ設立ノ命令アリタルトキハ命令ノ定

裏面白紙

ムル所ニ依リ創立總會ヲ開キ定款其ノ他商工會議所ノ設立ニ必要ナル  
事項ヲ定メ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

第一項ノ規定ニ依リ設立ヲ命ゼラレタル者其ノ設立ヲ爲サザルトキハ  
主務大臣ハ定款ノ作成其ノ他設立ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ待

第七條 商工會議所ノ定款ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

- 一 目的
- 二 名稱
- 三 地區
- 四 事務所ノ所在地
- 五 構成員ニ關スル規定
- 六 事業及其ノ執行ニ關スル規定
- 七 役員ニ關スル規定
- 八 會議ニ關スル規定
- 九 會計ニ關スル規定

〇十車よりほかに記す



第八條 商工會議所ハ第六條第二項ノ認可アリタル時又ハ第六條第三項ノ規定ニ依リ定款ノ作成アリタル時成立ス

第九條 商工會議所成立シタルトキハ其ノ構成員タル資格ヲ有スル者ハ總テ其ノ商工會議所ノ構成員トス

第十條 商工會議所又ハ商工會議所ヲ以テ組織スル團體ニ非ザルモノハ其ノ名稱中ニ商工會議所ナル文字ヲ用フルコトヲ得ズ

第十一條 商工會議所ニハ左ノ役員ヲ置クベシ

- 會頭 一人
- 理事 若干人
- 監事 若干人
- 評議員 若干人
- 商工會議所ニハ前項ノ役員ノ外定款ノ定ムル所ニ依リ議會頭二人以內又ハ理事長一人ヲ置クコトヲ得



第十二條 會頭ハ商工會議所ヲ代表シ所務ヲ總理ス

副會頭ハ會頭ヲ輔佐シ豫メ會頭ノ定ムル順位ニ依リ會頭事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理シ會頭缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

理事長ハ會頭及副會頭ヲ輔佐シ所務ヲ掌理シ會頭及副會頭共ニ事故アルトキハ會頭ノ職務ヲ代理シ會頭及副會頭共ニ缺員ノトキハ會頭ノ職務ヲ行フ

理事會

理事ハ會頭、副會頭及理事長ヲ輔佐シ所務ヲ分掌シ豫メ會頭ノ定ムル順位ニ依リ會頭、副會頭及理事長共ニ事故アルトキハ會頭ノ職務ヲ代理シ會頭、副會頭及理事長共ニ缺員ノトキハ會頭ノ職務ヲ行フ

第十三條 會頭ハ會頭銓衡委員ノ推薦シタル者ノ中ヨリ地方長官ノ意見ヲ徵シ主務大臣之ヲ命ズ

前項ノ會頭銓衡委員ハ産業經濟ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨ

リ地方長官之ヲ命ズ

副會頭、理事長及理事ハ産業經濟ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中

ヨリ地方長官ノ承認ヲ受ケ會頭之ヲ命ズ

監事ハ評議員之ヲ選任ス

評議員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ評議員銓衡委員ノ推薦シタル者ノ中ヨ

リ地方長官ノ承認ヲ受ケ會頭之ヲ命ズ

前項ノ評議員銓衡委員ハ商工會議所ノ構成員又ハ其ノ代表者ノ中ヨリ

地方長官ノ承認ヲ受ケ會頭之ヲ命ズ

第十四條 商工會議所ノ役員ノ任期ハ左ノ通トス

會頭 三年

副會頭 三年

理事長 三年

理事 三年



監事 二年

評議員 二年

會頭必要アリト認ムルトキハ任期中ト雖モ地方長官ノ承認ヲ受ケ副會頭、理事長又ハ理事ヲ解任スルコトヲ得

第十五條 商工會議所ハ産業經濟ニ關スル事項ニ付行政官廳ニ建議スルコトヲ得

商工會議所ハ行政官廳ノ諮問ニ對シ答申スベシ

第十六條 商工會議所ハ其ノ構成員及構成員タル團體ヲ組織スル者ニ對シ産業經濟ニ關スル調査ヲ爲ス爲必要ナル資料ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第十七條 商工會議所ハ定款ノ定ムル所ニ依リ其ノ構成員ニ對シ經費ヲ賦課スルコトヲ得

第十八條 商工會議所ハ定款ノ定ムル所ニ依リ定款ニ違反シタル構成員ニ對シ過怠金ヲ課スルコトヲ得

第十九條

第十七條ノ規定ニ依ル賦課金又ハ過怠金ヲ滯納スル者アル場合ニ於テ商工會議所ノ請求アルトキハ市町村ハ市町村税ノ例ニ依リ之ヲ處分ス此ノ場合ニ於テ商工會議所ハ其ノ徵收金額ノ百分ノ四ヲ市町村ニ交付スベシ

前項中町村トアルハ町村制ヲ施行セザル地ニ在リテハ之ニ準ズベキモノトス

第一項ノ規定ニ依ル徵收金ノ先取特權ノ順位ハ市町村其ノ他之ニ準ズベキモノノ徵收金ニ次ギ其ノ時効ニ付テハ市町村税ノ例ニ依ル

第二十條 商工會議所ハ定款ノ定ムル所ニ依リ使用料及手数料ヲ徵收スルコトヲ得

前項ノ使用料及手数料ノ徵收ニ關シテハ民事訴訟法ヲ提起スルコトヲ得

第二十一條 商工會議所ニ總會ヲ置ク

通常總會ハ毎年一回會頭之ヲ招集ス

會頭必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ臨時總會ヲ招集スルコトヲ得



第二十二條 左ニ掲グル事項ハ總會ノ議決ヲ經ルコトヲ要ス

一 定款ノ變更

二 收支豫算

三 賦課金ノ賦課徵收方法

第二十三條 總會ニ於ケル議決權ハ第五條第一號及第三號ノ構成員ニ付テハ各一個トシ同條第二號ノ構成員ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ各一個又ハ二個以上トス

第二十四條 商工會議所ノ業務及財産ノ狀況ハ毎年總會ニ之ヲ報告スベシ

第二十五條 商工會議所ハ定款ノ定ムル所ニ依リ總會ニ代ルベキ總代會ヲ設クルコトヲ得

前四條ノ規定ハ總代會ニ之ヲ準用ス

第二十六條 商工會議所ハ定款ノ定ムル所ニ依リ當該地區内ノ必要ナル

地ニ支部ヲ置キ其ノ事業ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第二十七條 商工會議所ノ支部ニ支部長ヲ置キ必要ニ應ジ參與ヲ置クコトヲ得

支部長ハ商工會議所ノ役員中ヨリ地方長官ノ承認ヲ受ケ會頭之ヲ命ズ  
參與ハ會頭ノ承認ヲ受ケ支部長之ヲ命ズ

支部ノ豫算其ノ他支部ニ關シ必要ナル事項ハ定款ヲ以テ之ヲ定ム

第二十八條 定款ノ變更、收支豫算及賦課金ノ賦課徵收方法ハ行政官廳  
ノ認可ヲ受クベシ

第二十九條 行政官廳ハ商工會議所ニ對シ産業經濟ニ關スル事項ノ調査  
ヲ命ズルコトヲ得

第三十條 行政官廳ハ商工會議所ニ對シ必要ナル事業ノ施行ヲ命ジ又ハ  
定款ノ變更其ノ他必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

第三十一條 行政官廳ハ商工會議所ニ對シ業務及會計ニ關シ監督上必要  
ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

行政官廳必要アリト認ムルトキハ監事ヲシテ監査ノ結果ヲ報告セシム  
ルコトヲ得

第三十二條 行政官廳必要アリト認ムルトキハ商工會議所ヨリ報告ヲ發

シ又ハ當該官吏ヲシテ商工會議所ノ事務所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢検査セシムル場合ニ於テハ其身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ

第三十三條 商工會議所ノ議決又ハ役員ノ行爲ガ法令若ハ定款ニ違反シ又ハ公益ヲ害スヲ認ムルトキハ行政官廳ハ議決ノ取消又ハ役員ノ解任ヲ爲スコトヲ得

第三十四條 商工會議所ハ命令ノ定ムル所ニ依リ登記ヲ爲スコトヲ要ス前項ノ規定ニ依リ登記スベキ事項ハ登記ノ後ニ非ザレバ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第三十五條 商工會議所ハ主務大臣ノ命令ニ因リテ解散ス

第三十六條 商工會議所ノ解散及清算ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十七條 第三十二條第一項ノ規定ニ依ル當該官吏ノ検査ヲ拒ミ、妨



ゲ又ハ忌避シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十八條

本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ基キテ爲ス處分ハ

ニ違反シタルトキハ會頭又ハ會頭ノ職務ヲ行ヒ若ハ代理スル役員ヲ五

千圓以下ノ過料ニ處ス

第三十九條

第十條ノ規定ニ違反シ名稱中ニ商工會議所ナル文字ヲ用ヒ

タル者ハ千圓以下ノ過料ニ處ス

附則

第四十條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十一條 従前ノ規定ニ依リテ設立セラレ本法施行ノ際現ニ存スル商

工會議所ハ本法施行ノ後ト雖第四十二條ノ規定ニ依リ解散スルマデ仍

従前ノ規定ニ依リ存續ス

第四十二條

主務大臣第六條第一項ノ規定ニ依リ商工會議所ノ設立ヲ命

ズルトキハ當該商工會議所ノ地區内ニ於ケル前條ノ商工會議所ニ對シ

其ノ解散ヲ命ズベシ

前項ノ解散ヲ命ゼラレタル商工會議所ハ同項ノ設立ヲ命ゼラレタル商  
工會議所成立ノ時解散スルモノトシ其ノ權利義務ハ成立シタル商工會  
議所之ヲ承継ス此ノ場合ニ於テハ前ノ法令中解散及清算ニ關スル規定  
ハ之ヲ解散スル商工會議所ニ適用セズ

前二項ニ規定スルモノノ外第一項ノ命令ニ係ル商工會議所ノ整理ニ關  
シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十三條 第四十一條ノ商工會議所ニ對スル前ノ法令又ハ之ニ基キテ  
發スル命令ニ依ル行政官廳ノ許可、認可其ノ前ノ處分ハ其ノ事務所ノ  
所在スル道府縣ニ於テ本條ノ規定ニ依リ設立セラルル商工會議所ニ對  
シテ之ヲ爲シタルモノト見做ス

第四十四條 登錄稅法中左ノ項改正ス

第十九條第七號中「商工組合中央金庫、」ノ下ニ「商工會議所、」ヲ、  
「商工組合中央金庫、」ノ下ニ「商工會議所、」ヲ加フ

第四十五條 第四十二條第二項ノ規定ニ依ル權利ノ承継ニ關シテハ命令



ノ定ムル所ニ依リ登録税ヲ軽減スルコトヲ得

第四十六條 本法施行ノ際第四十一條ノ商工會議所ニ非ズシテ其ニ名簿  
中ニ勸工會議所ナル文字ヲ使用スル者ハ本法施行後六月以内ニ其ノ名  
簿ヲ變更スルコトヲ要ス

第三十九條ノ規定ハ前項ノ期間内之ヲ同項ノ者ニ適用セス

商工會議所法改正法律案

商工會議所法修正ノ通致正ス

第一條 商工會議所ハ國民經濟ノ總力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル爲  
行政官廳ニ協力シ産業經濟ノ圓滑ナル連絡ヲ圖ルト共ニ其ノ改善  
向上ニ努ムルコトヲ目的トス

第二條 商工會議所ハ法人トス

第三條 商工會議所ハ主務大臣ノ命令ニ依リ道府縣ノ區域ニ於テ之

ヲ設立ス

第四條 商工會議所ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ニ掲グル事業ヲ行フ

- 一 當該地區内ニ於ケル産業經濟ニ關スル統制ニ對スル協力
- 二 當該地區内ニ於ケル産業經濟ノ運営又ハ整備ニ關スル連絡
- 三 當該地區内ニ於ケル産業經濟ノ改善向上ニ關スル爲メ設
- 四 産業經濟ニ關スル調査及研究
- 五 前各號ニ掲グルモノノ外商工會議所ノ目的ヲ達スルニ必要ナ

ル事業

第五條 商工會議所<sup>（終清）</sup>ノ構成員タル資格ヲ有スル者ハ左ニ掲グル者ニシテ地方長官ノ指定スルモノトス

- 一 當該地區内ニ營業所、工場又ハ事業場ヲ有シ商業、<sup>支</sup>貿易業、工業、鑛業、金融~~事業~~業、電氣事業、交通運輸業又ハ土木建築業ヲ營ム者

二 前號ニ掲グル事業ヲ營ム者ヲ以テ組織スル團體ニシテ當該地區内ニ事務所ヲ有スルモノ

三 前二號ニ掲グルモノノ外當該地區内ニ事務所ヲ有スル産業經濟ニ關スル<sup>（後去後ニ移ル）</sup>團體但シ農林畜水産業ニ關スル團體ヲ除ク

第六條 主務大臣商工會議所<sup>（後清）</sup>ヲ設立セシメントスルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ<sup>（後清）</sup>地區ヲ定メ前條ノ規定ニ依リ<sup>（後清）</sup>構成員タル資格ヲ有スル者ニ對シ商工會議所<sup>（後清）</sup>ノ設立ヲ命ズベシ

前項ノ規定ニ依ル商工會議所<sup>（後清）</sup>ノ設立ノ命令アリタルトキハ命令ノ定

ムル所ニ依リ創立總會ヲ開キ定款其ノ他商工會議所ノ設立ニ必要ナル  
事項ヲ定メ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

第一項ノ規定ニ依リ設立ヲ命ゼラレタル者其ノ設立ヲ爲サザルトキハ  
主務大臣ハ定款ノ作成其ノ他設立ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第七條 商工會議所ノ定款ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

- 一 名稱
- 二 地區
- 三 事務所ノ所在地
- 四 構成員ニ關スル規定
- 五 事業及其ノ執行ニ關スル規定
- 六 役員ニ關スル規定
- 七 會議ニ關スル規定
- 八 會計ニ關スル規定
- 九



第八條 商工會議所ハ第六條第二項ノ認可アリタル時又ハ第六條第三項ノ規定ニ依リ定款ノ作成アリタル時成立ス

第九條 商工會議所成立シタルトキハ其ノ構成員タル資格ヲ有スル者ハ總テ其ノ商工會議所ノ構成員トス

第十條 商工會議所又ハ商工會議所ヲ以テ組織スル團體ニ非ザルモノハ其ノ名稱中ニ商工會議所ナル文字ヲ用フルコトヲ得ズ

第十一條 商工會議所ニハ左ノ役員ヲ置クベシ

會頭 一人

理事 若干人

監事 若干人

評議員 若干人

商工會議所ニハ前項ノ役員ノ外定款ノ定ムル所ニ依リ副會頭二人以内又ハ理事長一人ヲ置クコトヲ得

第十二條 會頭ハ商工會議所ヲ代表シ所務ヲ總理ス

副會頭ハ會頭ヲ輔佐シ豫メ會頭ノ定ムル順位ニ依リ會頭學故アルトキハ其ノ職務ヲ代理シ會頭缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

理事長ハ會頭及副會頭ヲ輔佐シ所務ヲ掌理シ會頭及副會頭共ニ學故アルトキハ會頭ノ職務ヲ代理シ會頭及副會頭共ニ缺員ノトキハ會頭ノ職務ヲ行フ

理事ハ會頭、副會頭及理事長ヲ輔佐シ所務ヲ分掌シ豫メ會頭ノ定ムル順位ニ依リ會頭、副會頭及理事長共ニ學故アルトキハ會頭ノ職務ヲ代理シ會頭、副會頭及理事長共ニ缺員ノトキハ會頭ノ職務ヲ行フ監事ハ商工會議所ノ業務及財産ノ狀況ヲ監査ス

評議員ハ會頭ノ諮問ニ對シ答申シ又ハ會頭ニ對シ意見ヲ具申ス

第十三條 會頭ハ會頭銓衡委員ノ推薦シタル者ノ中ヨリ地方長官ノ意見ヲ徵シ主務大臣之ヲ命ズ

前項ノ會頭銓衡委員ハ産業經濟ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨ



リ地方長官之ヲ命ズ

副會頭、理事長及理事ハ産業經濟ニ關シ經驗アル者及學識アル者ノ中ヨリ地方長官ノ承認ヲ受ケ會頭之ヲ命ズ

監事ハ評議員之ヲ選任ス

評議員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ評議員銓衡委員ノ推薦シタル者ノ中ヨリ地方長官ノ承認ヲ受ケ會頭之ヲ命ズ

前項ノ評議員銓衡委員ハ商工會議所ノ構成員又ハ其ノ代表者ノ中ヨリ地方長官ノ承認ヲ受ケ會頭之ヲ命ズ

第十四條 商工會議所ノ役員ノ任期ハ左ノ通トス

會頭 三年

副會頭 三年

理事長 三年

理事 三年



監事 二年

評議員 二年

會頭必要アリト認ムルトキハ任期中ト雖モ地方長官ノ承認ヲ受ケ副會頭、理事長又ハ理事ヲ解任スルコトヲ得

第十五條 商工會議所ハ産業經濟ニ關スル事項ニ付行政官廳ニ建議スルコトヲ得

商工會議所ハ行政官廳ノ諮問ニ對シ答申スベシ

第十六條 商工會議所ハ其ノ構成員及構成員タル團體ヲ組織スル者ニ對シ産業經濟ニ關スル調査ヲ爲ス爲必要ナル資料ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第十七條 商工會議所ハ定款ノ定ムル所ニ依リ其ノ構成員ニ對シ經費ヲ賦課スルコトヲ得

第十八條 商工會議所ハ定款ノ定ムル所ニ依リ定款ニ違反シタル構成員ニ對シ過怠金ヲ課スルコトヲ得

第十九條 第十七條ノ規定ニ依ル賦課金又ハ過怠金ヲ滯納スル者アル

場合ニ於テ商工會議所ノ請求アルトキハ市町村ハ市町村税ノ例ニ依  
リ之ヲ處分ス此ノ場合ニ於テ商工會議所ハ其ノ徵收金額ノ百分ノ四  
ヲ市町村ニ交付スベシ

前項中町村トアルハ町村制ヲ施行セザル地ニ在リテハ之ニ準ズベキ  
モノトス

第一項ノ規定ニ依ル徵收金ノ先取特權ノ順位ハ市町村其ノ他之ニ準  
ズベキモノノ徵收金ニ次ギ其ノ時効ニ付テハ市町村税ノ例ニ依ル

第二十條 商工會議所ハ定款ノ定ムル所ニ依リ使用料及手数料ヲ徵收  
スルコトヲ得

前項ノ使用料及手数料ノ徵收ニ關シテハ民事訴訟法ヲ提起スルコト  
ヲ得

第二十一條 商工會議所ニ總會ヲ置ク

通常總會ハ毎年一回會頭之ヲ招集ス

會頭必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ臨時總會ヲ招集スルコトヲ  
得

第二十二條 左ニ掲グル事項ハ總會ノ議決ヲ經ルコトヲ要ス

一 定款ノ變更

二 收支豫算

三 賦課金ノ賦課徵收方法

第二十三條 總會ニ於ケル議決權ハ第五條第一號及第三號ノ構成員ニ付テハ各一個トシ同條第二號ノ構成員ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ各一個又ハ二個以上トス

第二十四條 商工會議所ノ業務及財産ノ狀況ハ毎年總會ニ之ヲ報告スベシ

第二十五條 商工會議所ハ定款ノ定ムル所ニ依リ總會ニ代ルベキ總代會ヲ設クルコトヲ得

前四條ノ規定ハ總代會ニ之ヲ準用ス

第二十六條 商工會議所ハ定款ノ定ムル所ニ依リ當該地區内ノ必要ナル地ニ支部ヲ置キ其ノ事業ノ一部ヲ分掌セシムルコトヲ得

第二十七條 商工會議所ノ支部ニ支部長ヲ置キ必要ニ應ジ參與ヲ置クコトヲ得

支部長ハ商工會議所ノ役員中ヨリ地方長官ノ承認ヲ受ケ會頭之ヲ命ズ  
參與ハ會頭ノ承認ヲ受ケ支部長之ヲ命ズ

支部ノ豫算其ノ他支部ニ關シ必要ナル事項ハ定款ヲ以テ之ヲ定ム

第二十八條 定款ノ變更、收支豫算及賦課金ノ賦課徵收方法ハ行政官廳  
ノ認可ヲ受クベシ

第二十九條 行政官廳ハ商工會議所ニ對シ産業經濟ニ關スル事項ノ調査  
ヲ命ズルコトヲ得

第三十條 行政官廳ハ商工會議所ニ對シ必要ナル事業ノ施行ヲ命ジ又ハ  
定款ノ變更其ノ他必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

第三十一條 行政官廳ハ商工會議所ニ對シ業務及會計ニ關シ監督上必要  
ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

行政官廳必要アリト認ムルトキハ監事ヲシテ監査ノ結果ヲ報告セシム  
ルコトヲ得

第三十二條 行政官廳必要アリト認ムルトキハ商工會議所ヨリ報告ヲ受

シ又ハ當該官吏ヲシテ商工會議所ノ事務所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢検査セシムル場合ニ於テハ其身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ

第三十三條 商工會議所ノ議決又ハ役員ノ行爲ガ法令若ハ定款ニ違反シ又ハ公益ヲ害スル認ムルトキハ行政官廳ハ議決ノ取消又ハ役員ノ解任ヲ爲スコトヲ得

第三十四條 商工會議所ハ命令ノ定ムル所ニ依リ登記ヲ爲スコトヲ要ス前項ノ規定ニ依リ登記スベキ事項ハ登記ノ後ニ非ザレバ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

第三十五條 商工會議所ハ主務大臣ノ命令ニ因リテ解散ス

第三十六條 商工會議所ノ解散及清算ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十七條 第三十二條第一項ノ規定ニ依ル當該官吏ノ検査ヲ拒ミ、妨

ゲ又ハ忌避シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十八條

本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ基キテ爲ス處分

ニ違反シタルトキハ會頭又ハ會員ノ職務ヲ行ヒ若ハ代理スル役員ヲ五  
千圓以下ノ過料ニ處ス

第三十九條

第十條ノ規定ニ違反シ名稱中ニ商工會議所ナル文字ヲ用ヒ

タル者ハ千圓以下ノ過料ニ處ス

附 則

第四十條

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十一條

従前ノ規定ニ依リテ設立セラレ本法施行ノ際現ニ存スル商

工會議所ハ本法施行ノ後ト雖第四十二條ノ規定ニ依リ解散スルマデ仍  
従前ノ規定ニ依リ存續ス

第四十二條

主務大臣第六條第一項ノ規定ニ依リ商工會議所ノ設立ヲ命

ズルトキハ當該商工會議所ノ地區内ニ於ケル前條ノ商工會議所ニ對シ  
其ノ解散ヲ命ズベシ

前項ノ解散ヲ命ゼラレタル商工會議所ハ同項ノ設立ヲ命ゼラレタル商工會議所成立ノ時解散スルモノトシ其ノ權利義務ハ成立シタル商工會議所之ヲ承継ス此ノ場合ニ於テハ他ノ法令中解散及清算ニ關スル規定ハ之ヲ適用スル商工會議所ニ適用セズ

前二項ニ規定スルモノノ外第一項ノ命令ニ係ル商工會議所ノ解散ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十三條 第四十一條ノ商工會議所ニ對スル他ノ法令又ハ之ニ準キテ發スル命令ニ依ル行政官廳ノ許可、認可其ノ他ノ処分ハ其ノ事務所ノ所在スル道府縣ニ於テ本法ノ規定ニ依リ設立セラルル商工會議所ニ適用シテ之ヲ爲シタルモノト見做ス

第四十四條 登録税法中左ノ改正正ス

第十九條第七號中「商工會合中央金庫、」ノ下ニ「商工會議所、」ヲ、  
「商工會合中央金庫法、」ノ下ニ「商工會議所法、」ヲ加フ

第四十五條 第四十二條第二項ノ規定ニ依ル權利ノ承継ニ關シテハ命令





裏面白紙

ノ宛ムル所ニ依リ登録税ヲ軽減スルコトヲ得

第四十六條 本法施行ノ際第四十一條ノ商工會議所ニ非ズシテ特ニ名簿

中ニ初工會議所ナル文字ヲ使用スル者ハ本法施行後六月以内ニ其ノ名

簿ヲ變更スルコトヲ要ス

第三十九條ノ規定ハ前項ノ期間内之ヲ同項ノ者ニ適用セス



商工會議所法改正法律案（假稱）要綱

（昭和十七年二月二日閣議決定）

- 一、商工會議所ハ國民經濟ノ總力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル爲行政官廳ニ協力シ産業經濟ノ圓滑ナル連絡ヲ圖ルト共ニ其ノ改善向上ニ努ムルコトヲ目的トスルコト
- 二、商工會議所ハ道府縣ノ區域ニ依リ之ヲ設立スルコト
- 三、商工會議所ハ法人トスルコト
- 四、商工會議所ノ構成員タル資格ヲ有スル者ハ左ニ掲グルモノニシテ行政官廳ノ指定スルモノトスルコト
  - (一) 當該地區内ニ營業所、工場又ハ事業場ヲ有シ商業、貿易業、工業、鑛業、金融業、電気事業、交通運輸業又ハ土木建築業ヲ營ム者
  - (二) 前號ニ掲グル事業ヲ營ム者ノ組織スル團體ニシテ當該地區内ニ事務所ヲ有スルモノ
  - (三) 前二號ニ掲グルモノノ外當該地區内ニ事務所ヲ有スル産業經濟ニ關スル法人又ハ團體（但シ農林畜水産業團體ヲ除ク）

- 五、商工會議所ノ設立及解散ハ行政官廳ノ命令ニ依ルモノトスルコト
- 六、商工會議所成立シタルトキハ其ノ構成員タル資格ヲ有スル者ハ總テ其ノ構成員タルモノトスルコト
- 七、商工會議所ハ左ニ掲グル事業ヲ行フモノトスルコト
  - (一) 當該地區内ニ於ケル産業經濟ニ關スル統制ニ對スル協力
  - (二) 當該地區内ニ於ケル産業經濟ノ運営又ハ整備ニ關スル連絡
  - (三) 産業經濟ニ關スル調査及研究
  - (四) 當該地區内ニ於ケル産業經濟ノ改善向上ヲ圖ル爲ノ施設
  - (五) 其ノ他商工會議所ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事業
- 八、商工會議所ハ行政官廳ニ建議シ又ハ行政官廳ノ諮問ニ對シ答申スルコト
- 九、商工會議所ニ會頭、理事、監事及評議員ヲ置キ必要ニ應ジ副會頭又ハ理事長ヲ置クコトヲ得ルコト
- 十、會頭ハ銓衡委員ノ推薦シタル者ノ中ヨリ主務大臣之ヲ命ズルコト

此ノ場合ニ於テハ地方長官ニ經伺セシメ其ノ副申ヲ徴スルコト  
前項ノ餘額委員ハ産業經濟ニ關シ經驗アル者又ハ學識アル者ノ  
中ヨリ地方長官之ヲ命ズルコト

副會頭、理事長、理事、監事及評議員ノ任命方法ニ關シ必要ナ  
ル規定ヲ設クルコト

十一、商工會議所ニ總會ヲ置キ必要ニ應ジ總會ニ代ルベキ總代會ヲ設  
クルコトヲ得ルコト

十二、商工會議所ハ其ノ構成員ニ對シ經營及過怠金ヲ賦課徴收スルコ  
トヲ得ルコト

十三、商工會議所ニ對スル政府ノ監督ニ關シ必要ナル規定ヲ設クルコ  
ト

十四、商工會議所ニ對スル課税ノ減免ニ關スル規定ヲ設クルコト

十五、當該地區内ノ必要ナル地ニ商工會議所ノ支部ヲ置キ商工會議所  
ノ事業ノ一環ヲ行ハシムルコトヲ得ルモノトスルコト

十六、商工會議所ハ命令ノ定ムル所ニ依リ登記ヲ爲スモノトスルコト  
備考

一、本制度ノ運用ニ付テハ關係各廳間ニ於テ必要ナル協議ヲ爲  
スモノトスルコト

二、外地ニ於テモ本要綱ニ準ジ實施スルモノトスルコト

裏面白紙



商工會議所法改正法律案（假稱）要綱

（昭和十七年二月四日閣議決定）

- 一、商工會議所ハ國民經濟ノ總力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル爲行政官廳ニ協力シ産業經濟ノ圓滑ナル連絡ヲ圖ルト共ニ其ノ改善向上ニ努ムルコトヲ目的トスルコト
- 二、商工會議所ハ道府縣ノ區域ニ依リ之ヲ設立スルコト
- 三、商工會議所ハ法人トスルコト
- 四、商工會議所ノ構成員タル資格ヲ有スル者ハ左ニ掲グルモノニシテ行政官廳ノ指定スルモノトスルコト
  - (一) 當該地區内ニ營業所、工場又ハ專業場ヲ有シ商業、貿易業、工業、鑛業、金鑛業、電氣專業、交通運輸業又ハ土木建築業ヲ營ム者
  - (二) 前號ニ掲グル專業ヲ營ム者ノ組織スル團體ニシテ當該地區内ニ事務所ヲ有スルモノ
  - (三) 前二號ニ掲グルモノノ外當該地區内ニ事務所ヲ有スル産業經濟ニ關スル法人又ハ團體（但シ農林畜水産業團體ヲ除ク）

- 五、商工會議所ノ設立及解散ハ行政官廳ノ命令ニ依ルモノトスルコト
- 六、商工會議所成立シタルトキハ其ノ構成員タル資格ヲ有スル者ハ總テ其ノ構成員タルモノトスルコト
- 七、商工會議所ハ左ニ掲グル事業ヲ行フモノトスルコト
  - (一) 當該地區内ニ於ケル産業經濟ニ關スル統制ニ對スル協力
  - (二) 當該地區内ニ於ケル産業經濟ノ運営又ハ整備ニ關スル連絡
  - (三) 産業經濟ニ關スル調査及研究
  - (四) 當該地區内ニ於ケル産業經濟ノ改善向上ヲ圖ル爲ノ施設
  - (五) 其ノ他商工會議所ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事業
- 八、商工會議所ハ行政官廳ニ建議シ又ハ行政官廳ノ諮問ニ對シ答申スルコト
- 九、商工會議所ニ會頭、理事、監事及評議員ヲ置キ必要ニ應ジ副會頭又ハ理事長ヲ置クコトヲ得ルコト
- 十、會頭ハ銓衡委員ノ推薦シタル者ノ中ヨリ主務大臣之ヲ命ズルコト

此ノ場合ニ於テハ地方長官ニ經伺セシメ其ノ副申ヲ致スルコト  
前項ノ銓衡委員ハ産業經濟ニ關シ經驗アル者又ハ學識アル者ノ  
中ヨリ地方長官之ヲ命ズルコト

副會頭、理事長、理事、監事及評議員ノ任命方法ニ關シ必要ナ  
ル規定ヲ設クルコト

十一、商工會議所ニ總會ヲ置キ必要ニ應ジ總會ニ代ルベキ總代會ヲ設  
クルコトヲ得ルコト

十二、商工會議所ハ其ノ構成員ニ對シ經費及過怠金ヲ賦課徴收スルコ  
トヲ得ルコト

十三、商工會議所ニ對スル政府ノ監督ニ關シ必要ナル規定ヲ設クルコ  
ト

十四、商工會議所ニ對スル課税ノ減免ニ關スル規定ヲ設クルコト

十五、當該地區内ノ必要ナル地ニ商工會議所ノ支部ヲ置キ商工會議所  
ノ事業ノ一部ヲ行ハシムルコトヲ得ルモノトスルコト



十六、商工會議所ハ命令ノ定ムル所ニ依リ登記ヲ爲スモノトスルコト

備考

一 本制度ノ運用ニ付テハ關係各機關ニ於テ必要ナル協議ヲ爲スモノトスルコト

二 外地ニ於テモ本要綱ニ準ジ實施スルモノトスルコト

裏面白紙

秘

經濟會議所法案要綱（案）

經濟會議所ハ國民經濟ノ總力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル爲行政官廳ニ協力シ産業經濟ノ圓滑ナル連絡ヲ圖ルト共ニ其ノ改善向上ニ努ムルコトヲ目的トスルコト

經濟會議所ハ道府縣ノ區域ニ依リ之ヲ設立スルコト

經濟會議所ハ法人トスルコト

經濟會議所ノ構成員タル資格ヲ有スル者ハ左ニ掲グルモノニシテ行政官廳ノ指定スルモノトスルコト

(一) 當該地區内ニ營業所、工場又ハ事業場ヲ有シ商業、貿易業、工業、鑛業、金融業、電氣事業、交通運輸業又ハ土木建築業ヲ營ム者

(二) 前號ニ掲グル事業ヲ營ム者ノ組織スル團體ニシテ當該地區内ニ事務所ヲ有スルモノ

(三) 前二號ニ掲グルモノノ外當該地區内ニ事務所ヲ有スル産業經濟ニ關スル法人又ハ團體（但シ農林畜水産業團體ヲ除ク）

裏面白紙

五 經濟會議所ノ設立及解散ハ行政官廳ノ命令ニ依ルモノトスルコト  
六 經濟會議所成立シタルトキハ其ノ構成員タル資格ヲ有スル者ハ總  
テ其ノ構成員タルモノトスルコト

七 經濟會議所ハ左ニ掲グル事業ヲ行フモノトスルコト

- (一) 當該地區内ニ於ケル産業經濟ニ關スル統制ニ對スル協力
  - (二) 當該地區内ニ於ケル産業經濟ノ運営又ハ整備ニ關スル連絡
  - (三) 産業經濟ニ關スル調査及研究
  - (四) 當該地區内ニ於ケル産業經濟ノ改善向上ヲ圖ル爲メノ施設
  - (五) 其ノ他經濟會議所ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事業
- 經濟會議所ハ行政官廳ニ建議シ又ハ行政官廳ノ諮問ニ對シ答申ス  
ルコト

經濟會議所ニ會頭、理事、監事及評議員ヲ置キ必要ニ應ジ副會頭  
又ハ理事長ヲ置クコトヲ得ルコト



- 十 會頭ハ銓衡委員ノ推薦シタル者ノ中ヨリ主務大臣之ヲ命ズルコト  
前項ノ場合ニ於テハ地方長官ニ經伺セシメ其ノ副申ヲ徵スルコト  
前項ノ銓衡委員ハ產業經濟ニ關シ經驗アル者又ハ學識アル者ノ中  
ヨリ地方長官之ヲ命ズルコト
- 副會頭、理事長、理事、監事及評議員ノ任命方法ニ關シ必要ナル  
規定ヲ設クルコト
- 十一 經濟會議所ニ總會ヲ置キ必要ニ應ジ總會ニ代ルベキ總代會ヲ設  
クルコトヲ得ルコト
- 十二 經濟會議所ハ其ノ構成員ニ對シ經費及過怠金ヲ賦課徵收スルコ  
トヲ得ルコト
- 十三 經濟會議所ニ對スル政府ノ監督ニ關シ必要ナル規定ヲ設クルコ  
ト
- 十四 經濟會議所ニ對スル課税ノ減免ニ關スル規定ヲ設クルコト



十 當該地區内ノ必要ナル地ニ經濟會議所ノ支部ヲ置キ經濟會議所ノ

事務ノ一部ヲ行ハシムルコトヲ得ルモトスルコト

十六 經濟會議所ハ命令ノ定ムル所ニ依リ登記ヲ爲スモノトスルコト

備考

一 商工會議所法ハ之ヲ廢止スルコト

二 本制度ノ適用ニ付テハ關係各廳間ニ於テ必要ナル協議ヲ爲ス

モノトスルコト

三 外地ニ於テモ本要綱ニ準ジ實施スルモノトスルコト

經濟會議所設立要綱(案)

一、方針

大東亞共榮圈ノ完成ヲ期シ強固ナル國防國家態勢ヲ確立スル爲經濟體制ノ整備強化ヲ圖ルハ現下喫緊ノ要務ナリ。之ガ爲重要産業部門ニ於ケル統制會組織ニ照應シテ産業ノ地方的組織ヲ整備シ行政官廳ト表裏一體ノ關係ニ於テ戰時經濟ノ運営ヲ協力セシムルト共ニ地方産業經濟ノ圓滑ナル連絡調整ヲ圖ラシメ以テ經濟總力ノ最高度發揚ヲ確保スルノ要アリ。仍テ左記要領ニ依リ經濟會議所及地方經濟會議所協議會ヲ設立セントス。

二、要領

- △地政
  - △構成性格
  - △事業
  - △政府ノ監督權
- 統制機關ノ限リ得ル

一九四二年八月一日  
 大東亞共榮圈  
 經濟會議所  
 設立要綱(案)  
 第一號

甲 經濟會議所

第一 目的

經濟會議所ハ國民經濟ノ總力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル爲行政官廳ニ協力シ産業經濟ノ圓滑ナル連絡調整ヲ圖ルト共ニ産業經濟ノ改善向上ニ努ムルコトヲ目的トスルコト

第二 組織

- 一、經濟會議所ハ道府縣ノ區域ニ依リ之ヲ設立スルコト
- 二、經濟會議所ハ法人トスルコト
- 三、經濟會議所ノ構成員タル資格ヲ有スル者ハ左ニ掲グルモノニシテ行政官廳ノ指定スルモノトスルコト

節示

重要産業團體令ニ依ル統制會（以下統制會ト稱ス）ノ會  
員ニシテ當該地區内ニ事務所、營業所、工場又ハ事業場ヲ  
有スル者

當該地區内ニ 營業所、工場又ハ事業場ヲ有シ商

業、貿易業、工業、鑛業、金融業、電氣事業、交通運輸業又ハ

土木建築業ヲ營ム者ニシテ統制會ノ會員ニ非ザル者

前號ニ掲グル事業ヲ營ム者ノ組織スル團體ニシテ當該地

區内ニ事務所ヲ有スルモノ（統制會ノ會員ナル團體ヲ除ク）

前號ニ掲グルモノノ外當該地區内ニ事務所ヲ有スル産

業經濟ニ關スル法人又ハ團體

經濟會議所ハ行政官廳ノ命令ニ依リ之ヲ設立スルコト

經濟會議所成立シタルトキ其ノ構成員タル資格ノ有スル者ハ總テ其ノ構成員タルヲ

トスルコト

表紙  
裏紙



第三 事業

經濟會議所ハ左ニ掲グル事業ヲ行フモノトスルコト

一、當該地區内ニ於ケル産業經濟ノ運營又ハ整備ニ關スル連絡調

整

二、當該地區内ニ於ケル産業經濟ニ關スル統制ニ對スル協力

三、當該地區内ニ於ケル地方計畫ニ對スル(參照) (内ノ浦内)

四、産業經濟ニ關スル調査及研究

五、當該地區内ニ於ケル産業經濟ノ改善向上ヲ圖ル爲ノ施設

六、其ノ他經濟會議所ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事業

第四 權限

一、經濟會議所ハ行政官廳ニ諮議シ又ハ行政官廳ヲ諮問ニ對シ答申スルコト

三、經濟會議所ハ其ノ學成員及構成員タル團體ヲ組織スル者ニ對シ產業經濟ニ關スル調査ヲ爲ス爲必要ナル資料ヲ提出ヲ求ムルコトヲ得ルコト

第五 機關

一、役員

一、經濟會議所ニ會頭、理事、監事及評議員ヲ置キ必要ニ應ジ副會頭又ハ理事長ヲ置クコトヲ得ルコト

二、會頭ハ經濟會議所ヲ代表シ所務ヲ總理スルコト  
副會頭ハ會頭ヲ輔佐シ會頭事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル

口ト

理事長ハ會頭及副會頭ヲ輔佐シ所務ヲ掌理シ會頭及副會頭共ニ事故アルトキハ會頭ノ職務ヲ代理スルコト

選事ハ會頭、副會頭及理事長ヲ輔佐シ所務ヲ分掌シ會頭、副會頭及理事長共ニ事故アルトキハ會頭ノ職務ヲ代理スルコト  
監事ハ經濟會議所ノ業務及財産ノ狀況ヲ監査スルコト

評議員ハ會頭ノ諮問ニ對シ答申シ又ハ會頭ニ對シ意見ヲ具申スルコト

3.

會頭ハ銓衡委員ノ推薦シタル者ノ中ヨリ主務大臣之ヲ命ズルコト

内 地方長官

前項ノ場合ニ於テハ地方長官ニ經伺セシメ其ノ副申ヲ徵スルコト  
前項ノ銓衡委員ハ産業經濟ニ關シ經驗アル者又ハ學識アル者

會改選 銓衡委員ノ中ヨリ地方長官之ヲ命ズルコト

副會頭、理事長及理事ハ地方長官ノ承認ヲ受ケ會頭之ヲ命ズル

コト

銓衡委員

評議員ハ銓衡委員ノ推薦シタル者ノ中ヨリ地方長官ノ承認ヲ受

ケ會頭之ヲ命ズルコト

前項ノ銓衡委員ハ經濟會議所ノ構成員中ヨリ地方長官ノ承認ヲ

△受ケ會頭之ヲ命ズルコトトシ銓衡委員ノ評議員推薦方法ハ定款中ニ之ヲ定ムルコト

監事ハ評議員之ヲ選任スルコト

會頭、副會頭、理事長及理事ノ任期ハ三年トシ監事及評議員

ノ任期ハ二年トスルコト

二、總會

入会者名簿

經濟會議所ニ總會ヲ置クコト

△定款ノ變更、收支豫算及賦課金ノ賦課徵收方法ハ總會ノ議決ス

經ルコトヲ要スルコト

經濟會議所ハ定款ノ定ムル所ニ依リ總會ニ代ルベキ總代會ヲ設

クルコトヲ得ルコト

第六 經費及過怠金

一、經濟會議所ハ定款ヲ定ムル所ニ依リ其ノ構成員ニ對シ經費及



過怠金ヲ賦課徴收スルコトヲ得ルコト

一、 經費及過怠金ノ徴收ニ付テハ強制徴收權ヲ認ムルコト

第七 政府ノ監督及助成

一、 行政官廳ハ經濟會議所ニ對シ必要ナル事業ノ施行ヲ命ジ又ハ

定款ノ變更其ノ他必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得ルコト

二、 行政官廳ハ經濟會議所ニ對シ其ノ業務及會計ニ關シ監督上必

要ナル命令ヲ發シ又ハ命令ヲ得ルコト

三、 定款ノ變更及收支豫算並ニ賦課金ノ賦課徴收方法ハ行政官廳

ノ認可ヲ受クベキコト

四、 行政官廳ハ當該官吏ヲ以テ經濟會議所ノ業務ノ狀況及帳簿書

類等ヲ検査セシムルコトヲ得ルコト

五、行政官廳ハ經濟會議所ノ役員ノ行爲ガ法令ニ違反シ又ハ公益ヲ害スヲ認ムルトキハ之ヲ解任スルコトヲ得ルモノトスルコト

六、經濟會議所コハ法人税、所得税、臨時利得税、地租、家屋税、紙税、登録税及地才租ヲ課セザルコト

第八 支部

(支部の目的)

當該地區内ノ必要ナル地ニ經濟會議所ノ支部ヲ置クコトヲ得ルコト

支部ニ支部長ヲ置キ必要ニ應ジ參與ヲ置クコトヲ得ルコト

支部長ハ經濟會議所ノ役員中ヨリ地方長官ノ承認ヲ受ケ會頭之ヲ



命ズルコト

參與ハ會頭ノ承認ヲ受ケ支部長之ヲ命ズルコト

支部ノ豫算ハ定款ノ定ムル所ニ依リ經濟會議所ヨリ分與セララル

モノトスルコト

其ノ他支部ニ關シ必要ナル事項ハ定款ヲ以テ之ヲ定ムルコト

第九登記

經濟會議所ハ命令ノ定ムル所ニ依リ登記ヲ爲スモノトスルコト

新項ノ登記ハ行政官廳ノ囑託ニ因リテ之ヲ爲スコト

司法省民事局  
申請登記

第十解散

經濟會議所ハ行政官廳ノ命令ニ因リテ解散スルモノトスルコト





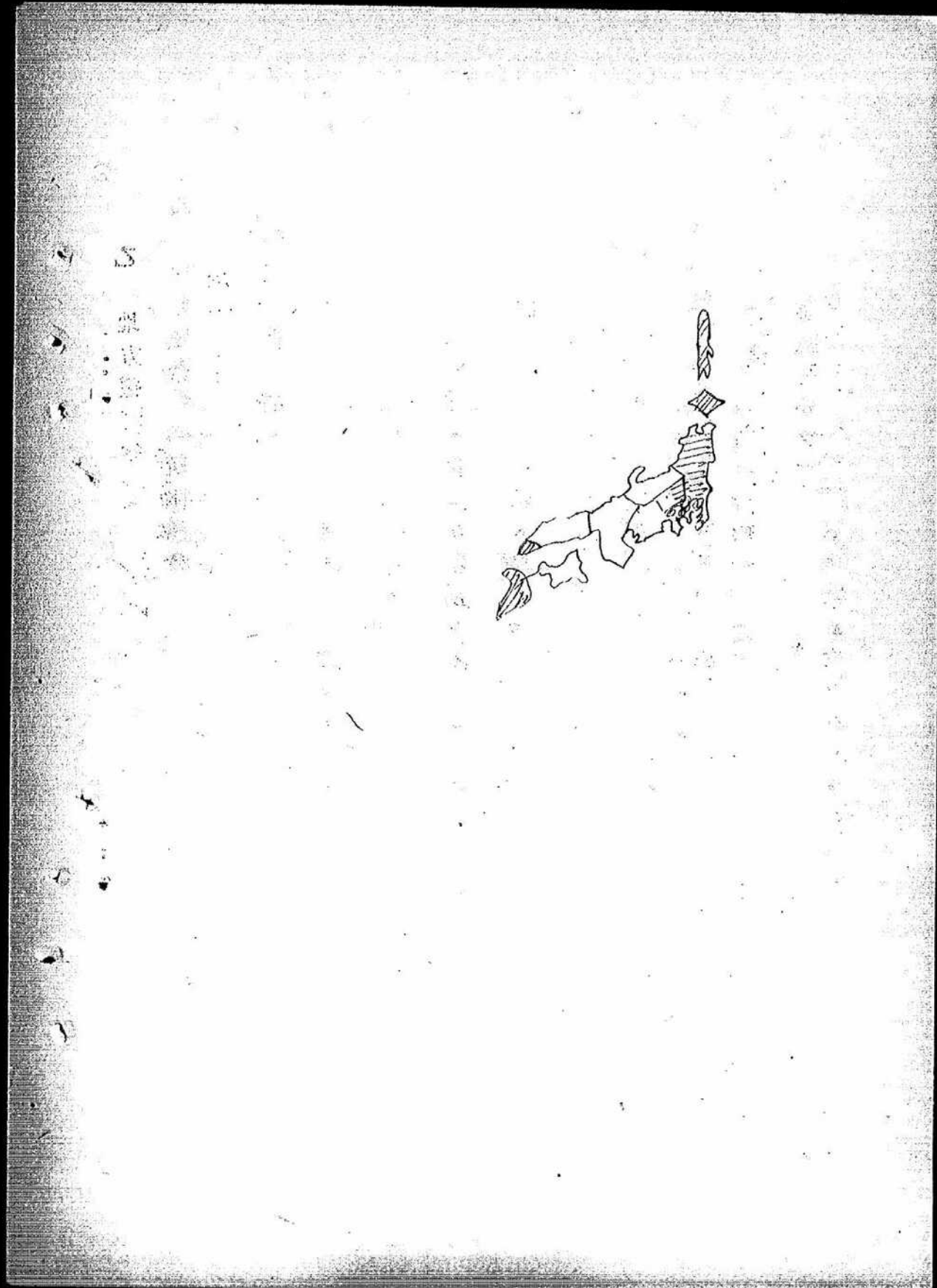
乙 地方經濟會議所協議會

第一 目的

地方經濟會議所協議會ハ國民經濟ノ總力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル爲行政官廳ニ協力セシ一定地區内ニ於ケル經濟會議所相互間ノ連絡ニ當ルヲ共ニ當該地區内ニ於ケル産業經濟ノ綜合的調整ヲ圖ルコトヲ目的トスルコト

第三 組織

一、地方經濟會議所協議會ハ一定地區ニ於テ之ヲ設立スルコト前項ノ地區ハ主務大臣之ヲ指定スルコトニ依テ之ヲ定メ乃至カク地區ニ分ツ



二、地方經濟會議所協議會ハ法人トスルコト、内(及村)

三、地方經濟會議所協議會ノ構成員タル資格ヲ有スル者ハ左ニ

掲グルモノニシテ主務大臣ノ指定スルモノトスルコト

1. 當該地區内ニ於ケル經濟會議所

2. 當該地區内ニ事務所ヲ有スル官署事務用紙等ニ依ル総制會支部

3. 前三號ニ掲グルモノノ外當該地區内ニ事務所ヲ有スル産

業經營ニ關スル法人又ハ團體ニシテ經濟會議所ノ構成員ニ

非ザルモノ

四、地方經濟會議所協議會ハ主務大臣ノ命令ニ依リ之ヲ設立ス

ルコト

五、地方經濟會議所協議會成立シタルトキハ其ノ構成員タル資

ハ

裏面白紙

格又有所者ハ總テ其ノ構成員タルモノトスルコト

### 第三事業

地方經濟會議所協議會ハ左ニ掲タル事業ヲ行ゾモノトスルコト

一、當該地區内ニ於ケル經濟會議所相互間ノ連絡

二、當該地區内ニ於ケル産業經濟人運營又ハ整備ニ關スル連絡

#### 調整

統制ニ對シテ後カ

三、當該地區内ニ於ケル地方計畫ニ對スル參劃

四、産業經濟ニ關スル調査及研究

五、其ノ他地方經濟會議所協議會ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事

業

改善等

第四 權 限

經濟會議所ニ準ズルモノトスルコト

第五 機 關

一、 役 員

地方經濟會議所協議會ニ會長、理事、監事及評議員ヲ置クコト

會長ハ協議會ヲ構成スル經濟會議所ノ會頭中ヨリ主務大臣之

ヲ命ズルコト

理事ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ會長之ヲ命ズルコト

評議員ハ協議會ヲ構成スル經濟會議所ノ役員及第二ノ三、ノ

ハ

2. <sup>3</sup>ニ掲ゲルモノノ代表者ノ中ヨリ主務大臣ノ認可ヲ受ケ會長  
之ヲ命ズルコト

監事ハ評議員之ヲ選任スルコト

其ノ他地方經濟會議所協議會ノ役員ニ關シテハ經濟會議所ニ  
準ズルモノトスルコト

二、總會

地方經濟會議所協議會ニ總會ヲ置クコト

定款ノ變更、收支豫算及賦課金ノ賦課徵收方法ハ總會ノ議決  
ヲ經ルコトヲ要スルコト

第六 經費及過怠金

經濟會議所ニ準ズルモノトスルコト

第七 政府ノ監督及助成

經濟會議所ニ準ズルモノトスルコト但シ甲第七中行政官廳トア  
ルハ主務大臣トスルコト

第八 登記及解散

經濟會議所ニ準ズルモノトスルコト但シ甲第九及第十中行政官  
廳トアルハ主務大臣トスルコト

備考

一、經濟會議所ヲ以テ全國經濟會議所協議會ヲ設クルコトヲ得  
ルコト

二、商工會議所法ハ之ヲ廢止スルコト

三、外地ニ於テモ本要綱ニ準ジ實施スルモノトスルコト

Où est ce qu'il y a  
la raison d'être de ce loi?

経路

1953年

南

南

南

解散

南

水

日

南

公



裏面白紙

經濟會議所設立要綱(案)

方針

大東亞共榮圈ノ完成ヲ期シ強固ナル國防國家態勢ヲ確立スル爲經濟體制ノ整備強化ヲ圖ルハ現下喫緊ノ要務ナリ。之ガ爲重要産業部門ニ於ケル統制會組織ニ照應シテ産業ノ地方的組織ヲ整備シ行政官廳ト表裏一體ノ關係ニ於テ戰時經濟ノ運營ニ協力セシムルト共ニ地方産業經濟ノ圓滑ナル連絡調整ヲ圖ラシメ以テ經濟總力ノ最高度發揚ヲ確保スルノ要アリ。仍テ左記要領ニ依リ經濟會議所及地方經濟會議所協議會ヲ設立セントス。

二、要領

裏面白紙

甲 經濟會議所

第一 目的

經濟會議所ハ國民經濟ノ總力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル爲行政官廳ニ協力シ産業經濟ノ圓滑ナル連絡調整ヲ圖ルト共ニ産業經濟ノ改善向上ニ努ムルコトヲ目的トスルコト

第二 組織

- 一、經濟會議所ハ道府縣ノ區域ニ依リ之ヲ設立スルコト
- 二、經濟會議所ハ法人トスルコト
- 三、經濟會議所ノ構成員タル資格ヲ有スル者ハ左ニ掲グルモノニシテ行政官廳ノ指定スルモノトスルコト



一、重要産業團體令ニ依ル統制會（以下統制會ト稱ス）ノ會員ニシテ當該地區内ニ事務所、營業所、工場又ハ事業場ヲ有スル者

二、當該地區内ニ營業所、工場又ハ事業場ヲ有シ商業、貿易業、工業、鑛業、金融業、電氣事業、交通運輸業又ハ土木建築業ヲ營ム者ニシテ統制會ノ會員ニ非ラズモ

三、前號ニ掲グル事業ヲ營ム者ノ組織スル團體ニシテ當該地區内ニ事務所ヲ有スルモノ（統制會ノ會員タル團體ヲ除ク）前號ニ掲グルモノノ外當該地區内ニ事務所ヲ有スル處業經濟ニ關スル法人又ハ團體

四、經濟會議所ハ行政官廳ノ命令ニ依リ之ヲ設立スルコト

五、經濟會議所成立シタルトキ其ノ構成員タル資格ヲ有スル者ハ總テ其ノ構成員タルモノナルコト



第三 事業

經濟會議所ハ左ニ掲グル事業ヲ行フモノトスルコト

一、當該地區内ニ於ケル産業經濟ノ運営又ハ整備ニ關スル連絡調  
整

二、當該地區内ニ於ケル産業經濟ニ關スル統制ニ對スル協力

三、當該地區内ニ於ケル地方計畫ニ對スル參照

四、産業經濟ニ關スル調査及研究

五、當該地區内ニ於ケル産業經濟ノ改善向上ヲ圖ル爲ノ施設

六、其ノ他經濟會議所ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事業

第四 權限



一、經濟會議所ハ行政官廳ニ建議シ又ハ行政官廳ヲ諮問ニ對シ答申スルコト

二、經濟會議所ハ其ノ構成員及構成員タル團體ヲ組織スル者ニ對シ產業經濟ニ關スル調査ヲ爲ス爲ニ必要ナル資料ヲ提出ヲ求めルコトヲ得ルコト

### 第五 機關

#### 一、役員

1、經濟會議所ニ會頭、理事、監事及評議員ヲ置キ必要ニ應ジ副會頭又ハ理事長ヲ置クコトヲ得ルコト

2、會頭ハ經濟會議所ヲ代表シ所務ヲ總理スルコト

副會頭ハ會頭ヲ輔佐シ會頭事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル

コト

理事長ハ會頭及副會頭ヲ輔佐シ所務ヲ掌理シ會頭及副會頭共ニ事故アルトキハ會頭ノ職務ヲ代理スルコト

理事ハ會頭、副會頭及理事長ヲ輔佐シ所務ヲ分掌シ會頭、副會頭及理事長共ニ事故アルトキハ會頭ノ職務ヲ代理スルコト  
監事ハ經濟會議所ノ業務及財産ノ狀況ヲ監査スルコト  
評議員ハ會頭ノ諮問ニ對シ答申シ又ハ會頭ニ對シ意見ヲ具申スルコト

3.

會頭ハ銓衡委員ノ推薦シタル者ノ中ヨリ主務大臣之ヲ命ズルコト

前項ノ場合ニ於テハ地方長官ニ經伺セシメ其ノ副申ヲ徵スルコト  
前項ノ銓衡委員ハ産業經濟ニ關シ經驗アル者又ハ學識アル者

ノ中ヨリ地方長官之ヲ命ズルコト

副會頭、理事長及理事ハ地方長官ノ承認ヲ受ケ會頭之ヲ命ズル

コト

評議員ハ銓衡委員ノ推薦シタル者ノ中ヨリ地方長官ノ承認ヲ受ケ會頭之ヲ命ズルコト

前項ノ銓衡委員ハ經濟會議所ノ構成員中ヨリ地方長官ノ承認ヲ受ケ會頭之ヲ命ズルコトトシ銓衡委員ノ評議員推薦方法ハ定款中ニ之ヲ定ムルコト  
監事ハ評議員之ヲ選任スルコト

會頭、副會頭、理事長及理事ノ任期ハ三年トシ監事及評議員ノ任期ハ二年トスルコト

二、總會

經濟會議所ニ總會ヲ置クコト

定款ノ變更、收支豫算及賦課金ノ賦課徵收方法ハ總會ノ議決ヲ  
經ルコトヲ要スルコト

經濟會議所ハ定款ヲ定ムル所ニ依リ總會ニ代ルベキ總代會ヲ設  
クルコトヲ得ルコト

第六 經費及過怠金

一、經濟會議所ハ定款ヲ定ムル所ニ依リ其ノ構成員ニ對シ經費及



過怠金ヲ賦課徴收スルコトヲ得ルコト

二、 經費及過怠金ノ徴收ニ付テハ強制徴收權ヲ認ムルコト

第七 政府ノ監督及助成

一、 行政官廳ハ經濟會議所ニ對シ必要ナル事業ノ施行ヲ命ジテハ定款ノ變更其ノ他必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得ルコト

二、 行政官廳ハ經濟會議所ニ對シ其ノ業務及會計ニ關シ監督ニ必要ナル命令ヲ發シ及ハ該分ヲ得ルコト

三、 定款ノ變更及收支豫算並ニ賦課金ノ賦課徴收方法ハ行政官廳ノ認可ヲ受クベキコト

四、 行政官廳ハ當該官吏ヲ以テ經濟會議所ノ業務ノ狀況及帳簿書

類等ヲ検査セシムルニトヲ得ルコト

- 五、行政官廳ハ經濟會議所ノ役員ノ行爲ガ法令ニ違反シ又ハ公益ヲ害スヲ認ムルトキハ之ヲ解任スルコトヲ得ルモノトスルコト
- 六、經濟會議所ニハ法人税、所得税、臨時利得税、地租、家屋税、印紙税、登録税及地方税ヲ課セザルコト

第八 支部

支那法界ノ目的ニ依リ他  
山あり地あり  
海あり

當該地區内ノ必要ナル能ニ經濟會議所ノ支部ヲ置クコトヲ得ルコト

支部ニ支部長ヲ置キ必要ニ應ジ參與ヲ置クコトヲ得ルコト

支部長ハ經濟會議所ノ役員中ヨリ地方長官ノ承認ヲ受ケ會頭之ヲ

命ズルコト

參與ハ會頭ノ承認ヲ受ケ支部長之ヲ命ズルコト

支部ノ豫算ハ定款ノ定ムル所ニ依リ經濟會議所ヨリ分與セラルル  
モノトスルコト

其ノ他支部ニ關シ必要ナル事項ハ定款ヲ以テ之ヲ定ムルコト

第九登記

經濟會議所ハ命令ノ定ムル所ニ依リ登記ヲ爲スモノトスルコト

前項ノ登記ハ行政官廳ノ囑託ニ因リテ之ヲ爲スコト

第十解散

經濟會議所ハ行政官廳ノ命令ニ因リテ解散スルモノトスルコト

乙 地方經濟會議所協議會

第一 目的

地方經濟會議所協議會ハ國民經濟ノ總力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル爲行政官廳ニ協力を一定地區内ニ於ケル經濟會議所相互間ノ連絡ニ當ルニ共ニ當該地區内ニ於ケル産業經濟ノ綜合的調整ヲ圖ルコトヲ目的トスルコト

第三 組織

一、地方經濟會議所協議會ハ一定地區ニ於テ之ヲ設立スルコト前項ノ地區ハ主務大臣之ヲ指定スルコトハ全國ヲ七乃至九ノ地區ニ分ツ

二、地方經濟會議所協議會ハ法人トスルコト

三、地方經濟會議所協議會ノ構成員タル資格ヲ有スル者ハ左ニ

掲グルモノニシテ主務大臣ノ指定スルモノトスルコト

1. 當該地區内ニ於ケル經濟會議所

2. 當該地區内ニ事務所ヲ有スル會堂業團行令ニ依ル統制會支部

3. 前三號ニ掲グルモノノ外當該地區内ニ事務所ヲ有スル産

業經營ニ關スル法人又ハ團體ニシテ經濟會議所ノ構成員ニ  
非ザルモノ

四、地方經濟會議所協議會ハ主務大臣ノ命令ニ依リ之ヲ設立ス  
ルコト

五、地方經濟會議所協議會成立シタルトキハ其ノ構成員タル資

ハ



格ヲ有スル者ハ總テ其ノ構成員タルモノトスルコト

第三 事業

地方經濟會議所協議會ハ左ニ掲グル事業ヲ行フモノトスルコト

一、當該地區内ニ於ケル經濟會議所相互間ノ連絡

二、當該地區内ニ於ケル産業經濟ノ運営又ハ整備ニ關スル連絡

調整

三、當該地區内ニ於ケル地方計畫ニ對スル參劃

四、産業經濟ニ關スル調査及研究

五、其ノ他地方經濟會議所協議會ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事業

業

後行ニ於テ  
略シ

第四 權 限

經濟會議所ニ準ズルモノトスルコト

第五 機 關

一、 役 員

地方經濟會議所協議會ニ會長、理事、監事及評議員ヲ置クコト

會長ハ協議會ヲ構成スル經濟會議所ノ會頭中ヨリ主務大臣之ヲ命ズルコト

理事ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ會長之ヲ命ズルコト

評議員ハ協議會ヲ構成スル經濟會議所ノ役員及第二ノ三ノ

ノ



2. <sup>3</sup>揚<sup>ク</sup>タルモノノ代表者ノ中ヨリ主務大臣ノ認可ヲ受ケ會長  
之ヲ命ズルコト

監事ハ評議員之ヲ選任スルコト

其ノ他地方經濟會議所協議會ノ役員ニ關シテハ經濟會議所ニ  
準ズルモノトスルコト

二、總會

地方經濟會議所協議會ニ總會ヲ置クコト

定款ノ變更、收支豫算及賦課金ノ賦課徵收方法ハ總會ノ議決  
ヲ經ルコトヲ要スルコト

第六 經費及過怠金

經濟會議所ニ準ズルモノトスルコト

第七 政府ノ監督及助成



經濟會議所ニ準ズルモノトスルコト但シ甲第七中行政官廳トアルハ主務大臣トスルコト

第八 登記及解散

經濟會議所ニ準ズルモノトスルコト但シ甲第九及第十中行政官廳トアルハ主務大臣トスルコト

備考

一、經濟會議所ヲ以テ全國經濟會議所協議會ヲ設クルコトヲ得ルコト

二、商工會議所法ハ之ヲ廢止スルコト

三、外地ニ於テモ本要綱ニ準ジ實施スルモノトスルコト

外  
入  
内  
由

別  
一  
松  
會  
係





經濟會議所設立要綱（案）

一七一一七

17.11.9  
17.11.10  
お決

一、方針

大東亞共榮圈ノ完成ヲ期シ強固ナル國防國家態勢ヲ確立スル爲經濟體制ノ整備強化ヲ圖ルハ現下喫緊ノ要務ナリ。之ガ爲重要産業部門ニ於ケル統制會組織ニ照應シテ産業ノ地方的組織ヲ整備シ地方行政官廳ト表裏一體ノ關係ニ於テ戰時經濟ノ運営ニ協力セシムルト共ニ地方産業經濟ノ圓滑ナル連絡調整ヲ圖ラシメ以テ經濟總力ノ最高度發揚ヲ確保スルノ要アリ。仍テ左記要領ニ依リ經濟會議所ヲ設立セントス。

及地方經濟會議所協同

二、要領



權限之指定

總命令 以下

會社 任令

附屬 事務

事業命令

監督命令

監款變更

臨時事務

附屬

地 十 之 行 務 令

會社 一 之 地

甲 經濟會議所

第一 目的



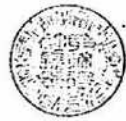
經濟會議所ハ國民經濟ノ總力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル爲行政官  
 廳ニ協力シ一定地區内ニ於ケル産業經濟ノ圓滑ナル連絡調整ヲ圖  
 ルト共ニ産業經濟ノ改善向ムニ努ムルコトヲ目的トスルコト

第二 組織

- 一、經濟會議所ハ道府縣ノ區域ニ依リ之ヲ設立スルコト
- 二、經濟會議所ハ法人トスルコト
- 三、經濟會議所ノ構成員タル資格ヲ有スル者ハ左ニ掲グル者ニシテ地方長官ノ指定スルモノトスルコト
  - 行政官
  - 産業團體代表
  - 統制會ノ會員ニシテ當該地區内ニ事務所、營業所、工場又

以下は別表トス

# 訂正

訂正理由	撮影ミス
訂正箇所	直前の / コマ取消 / コマ再撮影
訂正年月日	平成 16 年 11 月 11 日
このフィルムは、上記の理由で取消又は再撮影し訂正しました。	
撮影者	佐野 順一  印
受託責任者	神奈川県南足柄市沼210番地 富士写真フイルム株式会社 代表取締役  重隆  印

甲 經濟會議所

第一 目的

經濟會議所ハ國民經濟ノ總力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル爲行政官  
廳ニ協力シテ指定地區内ニ於ケル産業經濟ヲ圓滑ナル連絡調整ヲ圖  
ルト共ニ産業經濟ノ改善向上ニ努ムルコトヲ目的トスルコト

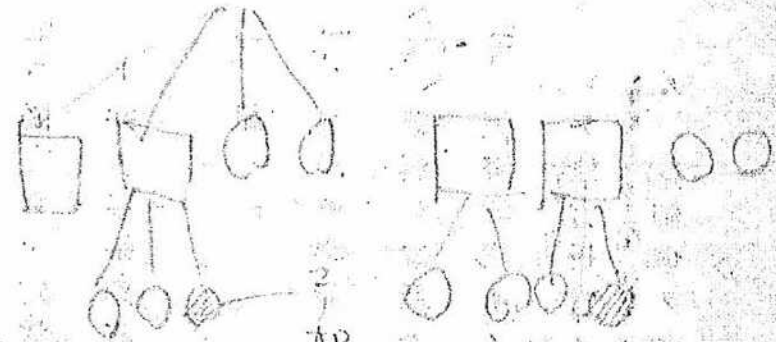
第二 組織

- 一、經濟會議所ハ道府縣ノ區域ニ依リ之ヲ設立スルコト
- 二、經濟會議所ハ法人トスルコト
- 三、經濟會議所ノ構成員タル資格ヲ有スル者ハ左ニ掲グル者ニシテ地方長官ノ指定スルモノトスルコト
  - 行政官
  - シテ地方長官ノ指定スルモノトスルコト
  - 産業團體代表ニ依リ
- 四、統制會ノ會員ニシテ當該地區内ニ事務所、營業所、工場又

以下は別令で定める



綾紉会



加  
入  
の  
手  
続  
は  
し

ハ事業場ヲ有スル者

2. 當該地區内ニ事務所、營業所、工場又ハ事業場ヲ有シ商業、

貿易業、工業、鑛業、金融業、電氣事業、交通運輸業、土木

建築業ヲ營ム者又ハ其ノ組織スル團體ニシテ該團體ノ會員又

ハ會員タル團體ヲ組織スルモノニ非ザル者

3. 前二號ニ掲グルモノノ外當該地區内ニ事務所ヲ有スル團體

4. 經濟會議所ハ(地方長官)ノ命令ニ依リ之ヲ設立スルコト

5. 經濟會議所成立シタルトキハ其ノ構成員タル資格ヲ有スル者

ハ總テ其ノ構成員タルモノトスルコト

第三事業

又ニシテ佳利會

全更

又ニシテ佳利會

又ニシテ佳利會



經濟會議所ハ左ニ掲グル事業ヲ行フモトスルコト

一、當該地區内ニ於ケル産業經濟ノ運営又ハ整備ニ關スル連絡調整

二、當該地區内ニ於ケル産業經濟ニ關スル統制ニ對スル協力

三、當該地區内ニ於ケル地方計畫ニ對スル參劔

四、産業經濟ニ關スル調査及研究

五、當該地區内ニ於ケル産業經濟ノ改善向上ヲ圖ル爲ノ施設

六、其ノ他經濟會議所ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事業

#### 第四 權 限

一、經濟會議所ハ行政官廳ニ建議シ又ハ行政官廳ノ諮問ニ對シ答

申スルコト

三、經濟會議所入其ノ構成員及構成員タル團體ヲ組織スルキニ  
對シ産業經濟ニ關スル調査ヲ爲ス爲必要ナル資料ノ提出ヲ求ム  
ルコトヲ得ルコト

第五 機關

一、役員

／經濟會議所ニ會頭、理事、監事及評議員ヲ置キ必要ニ應ジ副會  
頭又ハ理事長ヲ置クコトヲ得ルコト

／會頭ハ銓衡委員ノ推薦シタル者ノ中ヨリ主務大臣ノ認可ヲ受ケ

地方長官之ヲ命ズルコト

並ニ地方長官ニ於テ地方長官ニ推薦セシムル者ノ中ヨリ副會頭ヲ命ズルコト



前項ノ銓衡委員ハ産業經濟ニ關シ經驗アル者又ハ學識アル者ノ  
中ヨリ地方長官之ヲ命ズルコト

副會頭、理事長及理事ハ地方長官ノ認<sup>可</sup>ヲ受ケ會頭之ヲ命ズル

コト

評議員ハ銓衡委員ノ推薦シタル者ノ中ヨリ地方長官ノ認<sup>可</sup>ヲ受

ケ會頭之ヲ命ズルコト

前項ノ銓衡委員ハ經濟會議所ノ構成員及産業經濟ニ關シ經驗ナ

ル者又ハ學識ナル者ノ中ヨリ地方長官ノ認<sup>可</sup>ヲ受ケ會頭之ヲ命

ズルコトト<sup>レ</sup>銓衡委員ノ推薦シタル者ノ中ヨリ地方長官ノ認<sup>可</sup>ヲ受

監事ハ評議員之ヲ選任スルコト

4 ✓

六



二、總會

經濟會議所ニ總會ヲ置クコト

定款ノ變更、收支豫算及賦課金ノ賦課徵收方法ハ總會ノ議決ヲ

經ルコトヲ要スルコト

經濟會議所ハ定款ノ定ムル所ニ依リ總會ニ代ルベキ總代会ヲ設

クルコトヲ得ルコト

第六 經費及過怠金

一、經濟會議所ハ定款ノ定ムル所ニ依リ其ノ構成員ニ對シ經費及

過怠金ヲ賦課徵收スルコトヲ得ルコト

三、經費及過怠金ノ徵收ニ付テハ強制徵收權ヲ認ムルコト



第七 政府ノ監督及助成

- 一、行政官廳ハ經濟會議所ニ對シ必要ナル事業ノ旅行ヲ命ジ又ハ定款ノ變更其ノ他必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得ルコト
- 二、行政官廳ハ經濟會議所ニ對シ其ノ業務及會計ニ關シ監督上必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得ルコト
- 三、定款ノ變更ハ地方官ノ認可ヲ受クベキコト
- 四、行政官廳ハ當該官吏ヲシテ經濟會議所ノ業務ノ狀況及帳簿書類等ヲ検査セシムルコトヲ得ルコト
- 五、行政官廳ハ經濟會議所ノ役員ヲ解任スルコトヲ得ルコト
- 六、經濟會議所ニハ法人稅、所得稅、臨時利得稅、地租、家屋稅及地方稅ヲ課セザルコト

委任職  
 委任職  
 委任職

委任職  
 委任職

印稅  
 印稅  
 印稅

# 大日本帝國政府

支那ニ支部長ヲ置キ必要ニ應ジ參與ヲ置クコトヲ得ルコト

支部長ハ經濟會議所ノ役員中ヨリ地方長官ノ承認ヲ受ケ會議之ヲ命ズルコト

參與ハ會議ノ承認ヲ受ケ支部長之ヲ命ズルコト

支那ノ豫算ハ定款ノ定ムル所ニ依リ經濟會議所ヨリ分與セラルルモノトスルコト

其ノ他支那ニ關シ必要ナル事項ハ定款ヲ以テ之ヲ定ムルコト

裏面白紙

第八 支部

當該地區内ノ必要ナル地ニ經濟會議所ノ支部ヲ置クコトヲ得ルコト

ト

支部ニ關シ必要ナル事項ハ定款ヲ以テ之ヲ定ムルコト

✓ 第九 登記

經濟會議所ノ會令ノ定ムル所ニ依リ登記ヲ行フコトスルヲ  
別項ノ登記ニ係ル行政官ノ嘱託ニ因リテ之ヲ行フス

✓ 第十 解散

經濟會議所ノ行政官ノ會令ニ因リテ解散スルコト



乙 地方經濟會議所協議會

第一 目的

地方經濟會議所協議會ハ國民經濟ノ總力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル爲行政官廳ニ協力シ一定地區内ニ於ケル經濟會議所相互間ノ連絡ニ當ルト共ニ當該地區内ニ於ケル産業經濟ノ綜合的調整ヲ圖ルコトヲ目的トスルコト

第二 組織

地方經濟會議所協議會ハ一定地區ニ於テ之ヲ設立スルコト前項ノ地區ハ主務大臣之ヲ指定スルコト（全國ヲ七乃至九ノ地區ニ分ツ）





- 二、地方經濟會議所協議會ハ法人トスルコト
- 三、地方經濟會議所協議會ノ構成員タル資格ヲ有スルモノハ左ノ如ク  
 グルモノニシテ主務大臣ノ指定スルモノトスルコト
  - 1. 當該地區内ニ於ケル經濟會議所
  - 2. 當該地區内ニ事務所ヲ有スル統制會支部
  - 3. 前二號ニ掲グルモノノ外當該地區内ニ事務所ヲ有スル法人コト  
 ハ團體キシテ經濟會議所ノ構成員ニ非ザルモノ
- 四、地方經濟會議所協議會ハ主務大臣ノ命令ニ依リ之ヲ設立スルコト
- 五、地方經濟會議所協議會成立シタルトキハ其ノ構成員タル資格ヲ有スル者ハ總テ其ノ構成員タルモノトスルコト



第三 事業

地方經濟會議所協議會ハ左ニ掲グル事業ヲ行フモノトスルコト

- 一、當該地區内ニ於ケル經濟會議所相互間ノ連絡
- 二、當該地區内ニ於ケル産業經濟ノ運営又ハ整備ニ關スル連絡調整
- 三、當該地區内ニ於ケル地方計畫ニ對スル參劃
- 四、産業經濟ニ關スル調査及研究
- 五、其ノ他地方經濟會議所協議會ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事業

第四 權限

經濟會議所ニ準ズルモノトスルコト

第五 機關

一、役員

地方經濟會議所協議會ニ會長、理事、監事及評議員ヲ置キ必要

キ應ジ副會長又ハ理事長ヲ置クコトヲ得ルコト

會長ハ協議會ヲ構成スル經濟會議所ノ會頭中ヨリ主務大臣之ヲ命ズルコト

副會長、理事長及理事ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ會長之ヲ命ズルコト

評議員ハ協議會ヲ構成スル經濟會議所ノ役員並ニ第二ノ三ノ

及ニ揭グルモノノ代表者ノ中ヨリ主務大臣ノ認可ヲ受ケ

長之ヲ命ズルモノトスルコト

監事ハ評議員之ヲ選任スルコト

✓ 其ノ他地方經濟會議所協議會ノ役員ニ關シテハ經濟會議所

ノ規定ニ依リテスルコト

三、總會

地方經濟會議所協議會ニ總會ヲ置クコト

定款ノ變更、收支豫算及賦課金ノ賦課徵收方法ハ總會ノ議決ヲ經ルコトヲ要スルコト

第六 經費及過怠金

經濟會議所ニ準ズルモノトスルコト

第七 政府ノ監督及助成

經濟會議所ニ準ズルモノトスルコト但シ甲第七中行政官廳又ハ地方

長官トアルハ主務大臣トスルコト

✓ 第八 其他登記及解散

經濟會議所ニ準ズルモノトスルコト但甲第九第十中行政官廳ト記  
ハ之類ニ準ズルコト

備考

一、經濟會議所ヲ以テ全國經濟會議所協議會ヲ設クルコトヲ得ルモノトスルコト

全國經濟會議所協議會ハ任意的團體タルコト

二、商工會議所法ハ之ヲ廢止スルコト

三、外地ニ於テモ本要綱ニ準ジ實施スルモノトスルコト



12 11 11  
22 20 10  
11-14  
11月-11月  
法制局

經濟會議所設立要綱(案)

農、中、拓

(昭)七九二四

○参考資料  
○参考資料  
○参考資料

第一 目的

經濟會議所ハ國民經濟ノ總力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル爲メ  
區内ニ於ケル産業經濟ノ圓滑ナル連絡調整ヲ圖ルコトヲ目的トス  
ルコト

第二 組織

- 一 經濟會議所ハ道府縣ノ區域ニ依リ之ヲ設立スルコト
- 二 經濟會議所ハ法人トスルコト
- 三 經濟會議所ノ構成員タル資格ヲ有スル者ハ左ニ掲グルキニシテ地方長官ノ指定スルモノトスルコト

1 統制會ノ會員ニシテ當該地區内ニ事務所、營業所<sup>工場</sup>又ハ<sup>工場</sup>營業場ヲ有スル者

2 當該地區内ニ事務所、營業所<sup>工場</sup>又ハ<sup>工場</sup>營業場ヲ有シ商業、貿易業、工業、鑛業ヲ營ム者又ハ其ノ組織スル團體ニシテ統制會ノ會員又ハ會員タル團體ヲ組織スルモノニ非ザルモノ

3 前二號ニ掲グルモノノ外當該地區内ニ事務所ヲ有スル團體  
四 經濟會議所ハ地方長官ノ命令ニ依リ之ヲ設立スルコト

第三 專業

經濟會議所ハ左ニ掲グル專業ヲ行フモノトスルコト  
ニ 當該地區ニ於ケル産業經濟<sup>手前</sup>ノ統制ニ對スル協力



一 當該地區<sup>内</sup>ニ於ケル産業ノ運營又ハ整備ニ關スル連絡調整  
 二 該地區<sup>内</sup>ニ於ケル産業經濟ニ關スル調査及研究  
 三 該地區<sup>内</sup>ニ於ケル地方行政ノ改善  
 其ノ他經濟會議所ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事業

第四 權 限

- 一 經濟會議所ハ行政官廳ニ建議シ又ハ行政官廳ノ諮問ニ對シ答申スルコト
- 二 經濟會議所ハ其ノ權成員及構成員タル團體ヲ組織スルモノニ對シ産業<sup>任</sup>ニ關スル調査ヲ爲ス爲必要ナル資料ノ提出ヲ求ムルコトヲ得ルコト



第五 機關

一 役員

經濟會議所ニ會頭、理事、監事及評議員ヲ置キ必要ニ應ジ副會

頭又ハ理事長ヲ置クコトヲ得ルコト

會頭ハ銓衡委員ノ推薦シタル者ノ中ヨリ地方長官之ヲ命ズルコ

ト

前項ノ銓衡委員ハ地方長官之ヲ命ズルコト

副會頭、理事長及監事ハ地方長官ノ認可ヲ受ケ會頭之ヲ命ズル

コト

評議員ハ銓衡委員ノ推薦シタル者ノ中ヨリ地方長官ノ認可ヲ受

ケ會頭之ヲ命ズルコト



前項ノ銓衡委員ハ地方長官ノ認可ヲ受ケ會頭之ヲ命ズルコト  
監事ハ評議員之ヲ選任スルコト

二 總會

經濟會議所ニ總會ヲ置クコト  
定款ノ變更、收支豫算及賦課金ノ賦課徵收方法ハ總會（又ハ總  
代會）ノ議決ヲ經ルコトヲ要スルコト

第六 經費及過怠金

- 一 經濟會議所ハ定款ノ定ムル所ニ依リ其ノ構成員ニ對シ經費及  
過怠金ヲ賦課徵收スルコトヲ得ルコト
- 二 經費及過怠金ノ徵收ニ付テハ強制徵收權ヲ認ムルコト

第七 支部

必要アルトキハ當該地區内ノ市ニ經濟會議所ノ支部ヲ置クコトヲ得ルコト

第八 地方經濟會議所協議會

- 一 命令ノ定ムル一定ノ地域（全國ヲ七乃至九ノ區域ニ分ツ）毎
- ニ當該地區内ニ於ケル經濟會議所及統制會支部ヲ以テ地方經濟會議所協議會ヲ設クルコト
- 二 地方經濟會議所協議會ハ主務大臣ノ命令ニ依リ之ヲ設置スルコト
- 三 地方經濟會議所協議會ハ當該地區内ニ於ケル經濟會議所相互

間ノ連絡調整ヲ圖ルコトヲ目的トスルコト

第九 全國經濟會議所協議會

一 地方經濟會議所協議會ヲ以テ全國經濟會議所協議會ヲ設クル

コト

二 全國經濟會議所協議會ハ任意的團體トスルコト

三 全國經濟會議所協議會ハ地方經濟會議所協議會相互間ノ連絡

調整ヲ圖ルコトヲ目的トスルコト



經濟會議所設立要綱(案)

(昭)七六二四

第一 目的

經濟會議所ハ國民經濟ノ總力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル爲其ノ地區内ニ於ケル産業經濟ノ圓滑ナル連絡調整ヲ圖ルコトヲ目的トスルコト

第二 組織

- 一 經濟會議所ハ道府縣ノ區域ニ依リ之ヲ設立スルコト
- 二 經濟會議所ハ法人トスルコト
- 三 經濟會議所ノ構成員タル資格ヲ有スル者ハ左ニ掲グルモノニシテ地方長官ノ指定スルモノトスルコト

裏面白紙

1 統制會ノ會員ニシテ當該地區内ニ事務所、營業所又ハ事業場ヲ有スル者

2 當該地區内ニ事務所、營業所又ハ事業場ヲ有シ商業、貿易業、工業、礦業ヲ營ム者又ハ其ノ組織スル團體ニシテ統制會ノ會員又ハ會員タル團體ヲ組織スルモノニ非ザルモノ

3 前二號ニ掲グルモノノ外當該地區内ニ事務所ヲ有スル團體  
四 經濟會議所ハ地方長官ノ命令ニ依リ之ヲ設立スルコト

第三 專業

經濟會議所ハ左ニ掲グル事業ヲ行フモノトスルコト

一 當該地區ニ於ケル産業經濟ノ統制ニ對スル協力



- 二 當該地區ニ於ケル産業ノ運営又ハ整備ニ關スル連絡調整
- 三 當該地區ニ於ケル産業經濟ニ關スル調査及研究
- 四 其ノ他經濟會議所ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事業

#### 第四 權 限

- 一 經濟會議所ハ行政官廳ニ建議シ又ハ行政官廳ノ諮問ニ對シ答申スルコト
- 二 經濟會議所ハ其ノ構成員及構成員タル團體ヲ組織スルモノニ對シ産業ニ關スル調査ヲ爲ス爲必要ナル資料ノ提出ヲ求ムルコトヲ得ルコト

裏面白紙

第五 機關

一 役員

經濟會議所ニ會頭、理事、監事及評議員ヲ置キ必要ニ應ジ副會頭又ハ理事長ヲ置クコトヲ得ルコト

會頭ハ銓衡委員ノ推薦シタル者ノ中ヨリ地方長官之ヲ命ズルコト

前項ノ銓衡委員ハ地方長官之ヲ命ズルコト

副會頭、理事長及監事ハ地方長官ノ認可ヲ受ケ會頭之ヲ命ズルコト

評議員ハ銓衡委員ノ推薦シタル者ノ中ヨリ地方長官ノ認可ヲ受ケ會頭之ヲ命ズルコト





前項ノ銓衡委員ハ地方長官ノ認可ヲ受ケ會頭之ヲ命ズルコト  
監事ハ評議員之ヲ選任スルコト

二 總會

經濟會議所ニ總會ヲ置クコト  
定款ノ變更、收支豫算及賦課金ノ賦課徵收方法ハ總會ハ又ハ總  
代會ノ議決ヲ經ルコトヲ要スルコト

第六 經費及過怠金

- 一 經濟會議所ハ定款ノ定ムル所ニ依リ其ノ構成員ニ對シ經費及  
過怠金ヲ賦課徵收スルコトヲ得ルコト
- 二 經費及過怠金ノ徵收ニ付テハ強制徵收權ヲ認ムルコト

第七 支部

必要アルトキハ當該地區内ノ市ニ經濟會議所ノ支部ヲ置クコトヲ得ルコト

第八 地方經濟會議所協議會

- 一 命令ノ定ムル一定ノ地域（全國ヲ七乃至九ノ區域ニ分ツ）毎ニ當該地區内ニ於ケル經濟會議所及統制會支部ヲ以テ地方經濟會議所協議會ヲ設クルコト
- 二 地方經濟會議所協議會ハ主務大臣ノ命令ニ依リ之ヲ設置スルコト
- 三 地方經濟會議所協議會ハ當該地區内ニ於ケル經濟會議所相互



間ノ連絡調整ヲ圖ルコトヲ目的トスルコト

第九 全國經濟會議所協議會

一 地方經濟會議所協議會ヲ以テ全國經濟會議所協議會ヲ設クル

コト

二 全國經濟會議所協議會ハ任意的團體トスルコト

三 全國經濟會議所協議會ハ地方經濟會議所協議會相互間ノ連絡

調整ヲ圖ルコトヲ目的トスルコト



經濟會議所設立要綱（案）

（一七九一）

一、方針

大東亞共榮圈ノ完成ヲ期シ強固ナル國防國家態勢ヲ確立スル爲經濟體  
 制ノ整備強化ヲ圖ルハ現下喫緊ノ要務ナリ。之ガ爲重要産業部門ニ於  
 ケル統制會組織ニ照應シテ産業ノ地方的組織ヲ整備シ（地方）行政官廳ト  
 表裏一體ノ關係ニ於テ戰時經濟統制（連立）（徹底）セシムルト共ニ地方産  
 業機關ノ圓滑ナル連絡調整ヲ圖ラシメ以テ經濟總力ノ最高度發揚ヲ  
 確保スルノ要アリ。依ツテ左記要領ニ依リ經濟會議所ヲ設立セントス  
（地方會議所）

二、要領

甲、經濟會議所  
第一目的

經濟會議所ハ國民經濟ノ總力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル爲其ノ地  
 區内ニ於ケル産業經濟ノ綜合的連絡調整ヲ圖リ其ノ圓滑ナル統制運  
 營ヲ期スルコトヲ目的トスルコト



裏面白紙

第三組

一 經濟會議所ハ道府縣ノ區域ニ依リ之ヲ設立スルコト  
經濟會議所ノ構成員タル資格ヲ有スル者ハ左ニ總グル者ニシテ

地方長官ノ指定スルモノトスルコト

1 統制會ノ會員ニシテ當該地區内ニ事務所、營業所又ハ事業場  
ヲ有スルモノ

2 當該地區内ニ事務所、營業所又ハ事業場ヲ有シ商業、貿易業、  
工業、鑛業、金融業、電氣事業、交通運輸業、土木建築業ヲ  
營ム者又ハ其ノ組織スル團體ニシテ統制會ノ會員又ハ會員タル  
團體ヲ組織スル者ニ非ザルモノ

三 前二號ニ掲グルモノノ外當該地區内ニ事務所ヲ有スル團體  
經濟會議所ハ地方長官ノ命令ニ依リ之ヲ設立スルコト

前項ノ命令アリタルトキハ地方長官ノ命ズル設立委員ハ別ニ定ム  
ル所ニ依リ定款其ノ他經濟會議所ノ設立ニ必要ナル事項ヲ定メ地



方長官認可ヲ受クベキコト

AN 經濟會議所成立シタルトキハ其ノ構成員タル資格ヲ有スル者ハ  
該所其ノ構成員タルモノトスルコト

第三章 事業

經濟會議所ハ左ニ掲グル事業ヲ行フモノトスルコト

- 一 當該地區ニ於ケル地方計畫ニ對スル參贊
- 二 當該地區ニ於ケル<sup>産業</sup>生産<sup>設備</sup>、<sup>運輸</sup>運輸及<sup>運送</sup>運送並ニ之ニ對スル<sup>材料</sup>材料、<sup>資金</sup>資金、<sup>努力</sup>努力、<sup>動力</sup>動力<sup>供給</sup>供給ニ關スル統制ニ對スル協力
- 三 當該地區ニ於ケル價格、運送賃等ノ統制ニ對スル協力
- 四 當該地區<sup>内</sup>ニ於ケル産業<sup>經營</sup>經營又ハ整備ニ關スル連絡調整
- 五 當該地區ニ於ケル産業經濟ニ關スル調査及研究
- 六 其ノ他經濟會議所ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事業

第四條 權限

- 一 經濟會議所ハ行政官廳ニ建議シ又ハ行政官廳ノ諮問ニ對シ答申  
スルコト

二 經濟會議所ハ其ノ常成員及常成員タル團體ヲ經營スル者ニ對シ  
產業ニ關スル調査ヲ爲ス爲ニ必要ナル資料ノ提出ヲ求ムルコトヲ得  
ルコト

三 法令ニ定ムル行政官廳ノ職權ノ一部ヲ經濟會議所ヲシテ行ハシ  
ムルコトヲ得ルコト

第五機關  
一 役員

經濟會議所ニ會頭、理事、監事及評議員ヲ置キ必要ニ應ジ副會  
頭又ハ理事長ヲ置クコトヲ得ルコト

會頭ハ地方長官之ヲ命ジ副會頭、理事長及監事ハ地方長官ノ認可  
ヲ受ケ會頭之ヲ命ズルコト

評議員ハ銓衡委員ノ推薦シタル者ノ中ヨリ地方長官ノ認可ヲ受ケ  
會頭之ヲ命ズルコト

前項ノ銓衡委員ハ地方長官ノ認可ヲ受ケ會頭之ヲ命ズルコト

和記  
手帳  
75  
12  
17

理事ハ評議員之ヲ選任スルコト  
會頭必要アリト認ムルトキハ地方長官ノ認可ヲ受ケ副會頭、理事  
長又ハ理事ヲ解任スルコトヲ得ルコト

二 總會

經濟會議所ニ總管ヲ置クコト  
定款ノ變更、收支決算及賦課金ノ賦課徵收方法ハ總會ニ諮リ會頭  
之ヲ決スルコト  
經濟會議所ハ定款ノ定ムル所ニ依リ總會ニ代ルベキ總代會ヲ設ク  
ルコトヲ得ルコト

第六 經費及過怠金

一 經濟會議所ハ定款ノ定ムル所ニ依リ其ノ構成員ニ對シ經費及過  
怠金ヲ賦課徵收スルコトヲ得ルコト

二 經費及過怠金ノ徵收ニ付テハ強制徵收權ヲ認ムルコト  
第七 政府ノ監督及助成





行政の部

- 一 地方長官ハ經濟會議所ニ對シ必要ナル事業ノ施行ヲ命ジ又ハ定款ノ變更其ノ他必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得ルコト
- 二 地方長官ハ經濟會議所ニ對シ其ノ業務及會計ニ對シ監督上必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得ルコト
- 三 定款ノ變更ハ地方長官ノ認可ヲ受クベキコト
- 四 地方長官ハ該官吏ヲシテ經濟會議所ノ業務ノ狀況及帳簿書類等ヲ檢査セシムルコトヲ得ルコト
- 五 地方長官ハ經濟會議所ノ役員ヲ解任スルコトヲ得ルコト
- 六 經濟會議所ニハ所得稅、法人稅、地租、家屋稅及地方稅ヲ課セサルコト

第八支部

必要アルトキハ當該地區内(市)ニ經濟會議所ノ支部ヲ置クコトヲ得ルコト

乙 地方經濟會議所協議會

- 一 命令ノ定ムル一定ノ地區ニ全圖ヲ七乃至九ノ區域ニ分ツ一毎ニ當該地區内ニ於ケル經濟會議所ヲ以テ地方經濟會議所協議會ヲ設クルコト
- 二 地方經濟會議所協議會ハ主務大臣ノ命令ニ依リ之ヲ設置スルコト
- 三 地方經濟會議所協議會ハ當該地區内ニ於ケル經濟會議所相互間ノ連絡調整ヲ圖ルコトヲ目的トスルコト
- 四 地方經濟會議所協議會ニ會長及理事ヲ置クコト  
會長ハ主務大臣之ヲ命ジ理事ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ會長之ヲ命ズルコト
- 五 地方經濟會議所協議會ノ規約ノ設定又ハ變更ハ主務大臣ノ認可ヲ受クベキコト
- 六 各地方經濟會議所協議會ヲ網羅スル全國的機關ノ設置ニ付テハ綜合的經濟團體組織ノ問題ト併セ考慮スルコト

第 大 商 工 會 議 所 議 決 之 事 限 止 ス ル コ ト

以  
上

裏  
面  
白  
紙

經濟會議所設立要綱(案)

(一七五)

大東亞共榮圈ノ完成ヲ期シ強固ナル國防國家態勢ヲ確立スル爲經濟體制ノ整備強化ヲ圖ルハ現下喫緊ノ要務ナリ。之ガ爲重要産業部門ニ於ケル統制會組織ノ確立ニ照應シテ産業ノ地方的組織ヲ整備シ戰時經濟統制ノ徹底ヲ期スルト共ニ地方産業相互間ノ圓滑ナル連絡調整ヲ圖リ以テ經濟總力ノ最高度發揚ヲ確保セザルベカラズ。依ツテ左記要領ニ依リ經濟會議所ヲ設立セントス

記

第一目的

經濟會議所ハ國民經濟ノ總力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル爲其ノ地區内ニ於ケル産業經濟ノ綜合的連絡調整ヲ圖リ其ノ圓滑ナル統制運營ヲ期スルコトヲ目的トスルコト

第三組織

一 經濟會議所ハ命令ノ定ムル一定ノ地區(全國ヲ七乃至九ノ區域

ニ分ツニ依リ之ヲ設立スルコト

二 經濟會議所ノ構成員タル資格ヲ有スル者ハ左ニ掲グル者ニシテ政府ノ指定スルモノトスルコト

1 統制會ノ會員ニシテ當該地區内ニ事務所、營業所又ハ事業場ヲ有スルモノ

2 當該地區内ニ事務所、營業所又ハ事業場ヲ有シ商業、貿易業、工業、鑛業、金融業、電氣事業、交通運輸業、土木建築業ヲ營ム者又ハ其ノ組織スル團體ニシテ統制會ノ會員又ハ會員タル團體ヲ組織スル者ニ非ザルモノ

3 前二號ニ掲グルモノノ外當該地區内ニ事務所ヲ有スル團體

三 政府ハ設立委員ヲ命ジ經濟會議所ノ設立ニ關スル事務ヲ處理セシムルコト

四 經濟會議所成立シタルトキハ其ノ構成員タル資格ヲ有スル者ハ總テ其ノ構成員タルモノトスルコト

第三事業

經濟會議所ハ左ニ掲グル事業ヲ行フモノトスルコト

- 一 當該地區ニ於ケル地方的國土計畫ニ對スル參贊
- 二 當該地區ニ於ケル生産、配給及輸送並ニ之ニ要スル資材、資金、勞力、動力等ノ需給ニ關スル統制ニ對スル協力
- 三 當該地區ニ於ケル價格、運送賃等ノ統制ニ對スル協力
- 四 當該地區ニ於ケル産業ノ運営又ハ整備ニ關スル連絡調整
- 五 當該地區ニ於ケル産業經濟ニ關スル調査及研究
- 六 其ノ他經濟會議所ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事業

第四權限

- 一 經濟會議所ハ行政官廳ニ建議シ又ハ行政官廳ノ諮問ニ對シ答申スルコト
- 二 經濟會議所ハ其ノ構成員及構成員タル團體ヲ組織スル者ニ對シ産業ニ關スル調査ヲ爲ス爲ス必要ナル資料ノ提出ヲ求ムルコトヲ得ルコト

三 法令ニ定ムル行政官廳ノ職權ノ一部ヲ經濟會議所ヲシテ行ハシムルコトヲ得ルコト

第五機關

一 役員

經濟會議所ニ會頭、理事、監事及評議員ヲ置キ必要ニ應ジ副會頭又ハ理事長ヲ置クコトヲ得ルコト  
會頭ハ政府之ヲ命ジ副會頭、理事長、理事及評議員ハ政府ノ認可ヲ受ケ會頭之ヲ命ジ監事ハ評議員之ヲ選任スルコト  
會頭必要アリト認ムルトキハ政府ノ認可ヲ受ケ副會頭、理事長又ハ理事ヲ解任スルコトヲ得ルコト

二 總會

經濟會議所ニ總會ヲ置クコト  
定款ノ變更、收支豫算及賦課金ノ賦課徵收方法ハ總會ニ諮リ會頭之ヲ決スルコト

經濟會議所ノ定款ノ定ムル所ニ依リ總會ニ代ルベキ總代會ヲ設クル  
コトヲ得ルコト

第六 經濟費及過怠金

- 一 經濟會議所ハ定款ノ定ムル所ニ依リ其ノ學成員ニ對シ經費及過怠  
金ヲ賦課徵收スルコトヲ得ルコト
- 二 經費及過怠金ノ徵收ニ付テハ強制徵收權ヲ認ムルコト

第七 政府ノ監督及助成

- 一 政府ハ經濟會議所ニ對シ必要ナル專業ノ施行ヲ命ジ又ハ定款ノ變  
更其ノ他ノ必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得ルコト
- 二 政府ハ經濟會議所ニ對シ其ノ業務及會計ニ關シ監督上必要ナル命  
令ヲ爲スコトヲ得ルコト
- 三 定款ノ變更ハ政府ノ認可ヲ受クベキコト
- 四 政府ハ當該官吏ヲシテ經濟會議所ノ業務ノ狀況及帳簿書類等ヲ檢  
査セシムルコトヲ得ルコト



五 政府ハ經濟會議所ノ役員ヲ解任スルコトヲ得ルコト

六 經濟會議所ニハ所得稅、法人稅、地租、家屋稅及地方稅ヲ課セザルコト

第八支部

當該地區ノ各府縣ニ經濟會議所ノ府縣支部ヲ置クコト

必要アルトキハ府縣支部ノ下ニ更ニ市支部ヲ置クコトヲ得ルコト

第九各經濟會議所ヲ網羅スル全國的機關ノ設置ニ付テハ將來綜合的經濟

團體組織ノ問題ト併セ考慮スルコト

第十商工會議所法ハ之ヲ廢止スルコト

極秘

商工省

臨時會議所設立要綱

(一) 一、四、八)

大東亞共榮圈ノ樹立ヲ期シ強固ナル國防國家建設ヲ完備スラシムル  
爲學園一致ノ經濟體制ヲ整備強化スルハ興業ノ發達ナルヲ以テ重要  
機關部門ニ於ケル統制會議組織ニ依リ經濟新體制ノ確立ニ關係シテ  
地方ノ地方的組織ヲ整備シ戰時下經濟統制ノ徹底ヲ期スルト共ニ地方  
産業相互間ノ圓滑ナル連絡調整ヲ圖リ以テ經濟總力ノ最高度發揚ニ  
支障無カラシムルコトヲ要ス。依ツテ左記要綱ニ依リ臨時會議所ヲ  
設立セシトス

記

第一目的

臨時會議所ハ國民經濟ノ總力ヲ最も有效ニ發揚セシムル爲其ノ  
地區内ニ於ケル産業經濟ノ綜合的連絡調整ヲ圖リ其ノ圓滑ナル統  
制調整ヲ期スルコトヲ目的トスルコト

裏面白紙

第三編

- 一 經濟會議所ハ命令ノ定ムル一定ノ地區（全國ヲ七乃至九ノ區ニ分ツ）ニ依リ之ヲ設立スルコト
- 二 經濟會議所ハ左ニ稱グル者ニシテ政府ノ指定スルモノヲ以テ之ヲ組織スルコト
  - 1 管轄地區内ニ事務所、營業所又ハ事務場ヲ有シ商業、貿易、工業、鑛業、金融業、電氣事業、交通運輸業、土木建築業ヲ營ム者又ハ其ノ組織スル團體
  - 2 右ニ稱グルモノノ外管轄地區内ニ事務所ヲ有スル團體
- 三 經濟會議所成立シタルトキハ其ノ構成員タル資格ヲ有スル者ハ總テ其ノ構成員タルモノトスルコト

第三事

- 一 經濟會議所ハ左ニ稱グル事務ヲ行フモノトスルコト
- 二 管轄地區ニ於ケル地方的産業國土計畫ニ對スル建議



- 二 當該地區ニ於ケル物質ノ生産、販賣及輸送並ニ之ニ要スル資材、資金、努力等ノ供給ニ關スル政府ノ統制ニ對スル協力
- 三 當該地區ニ於ケル價格ノ統制ニ關スル參議
- 四 當該地區ニ於ケル雇傭ノ選定ニ關スル連絡調整
- 五 當該地區ニ於ケル雇傭ニ關スル調査及研究
- 六 當該地區ニ於ケル雇傭ニ關スル警備指導
- 七 法令ニ依リ經濟會議所ニ關スル事務及ノ他經濟會議所ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事業

第四條

- 一 經濟會議所ハ行政官廳ニ建議シ又ハ行政官廳ノ諮問ニ對シ答申スルコト
- 二 經濟會議所ハ其ノ行フ事業ニ付業務規程ヲ定メ構成員及構成員タル個體ヲ選定スル者ハ業務規程ニ從フコトヲ要スルコト
- 三 經濟會議所ハ其ノ構成員及構成員タル個體ヲ選定スル者ニ對

日本標準規格 JIS (102x207mm)



シ 調査ニ關スル調査ヲ爲ス爲必學ナル資料ノ提出ヲ求ムルコト  
ヲ得ルコト

四 經濟會議所必要アリト認ムルトキハ其ノ職員ヲシテ構成員及  
協成員タル團體ヲ組織スル者ノ業務又ハ附屬ノ狀況ヲ檢査セシ  
ムルコトヲ得ルコト

五 議會ニ屬ムル行政官廳ノ職權ノ一部ヲ經濟會議所ヲシテ行ハ  
シムルコトヲ得ルコト

第五條

一 役員 經濟會議所ニ會議員、理事、監事及評議員ヲ置キ必要ニ  
應ジ議會ヲ置クコトヲ得ルコト

二 總會 經濟會議所ニ總會ヲ置キ重要ナル事項ハ總會ニ諮リ會  
議之ヲ決スルコト

三 會議 經濟會議所ニ會議員ヲ置キ必要ニ應ジ議會ヲ置クコト  
ヲ得ルコト



裏面白紙

商 工 省

三 事務局 經濟會議所ニ事務局ヲ設キ該事務ノ一人ヲシテ之ヲ主  
宰セシムルコト

第六 經費及通惠金

一 經濟會議所ハ定款ノ定ムル所ニ依リ經費通惠金ヲ賦課徴收ス  
ルコトヲ得ルコト

二 經費及通惠金ノ徴收ニ付テハ強迫徴收權ヲ認ムルコト

第七 政府ノ監督及補助

一 政府ハ經濟會議所ニ對シ必與ナル事業ノ施行ヲ命ジ又ハ定款  
ノ變更其ノ權必發ナル事項ヲ命ズルコトヲ得ルコト

二 政府ハ經濟會議所ニ對シ其ノ業務及會計ニ關シ監督上必與ナ  
ル命令ヲ爲スコトヲ得ルコト

三 定款ノ變更並ニ業務規程ノ設定及變更ハ政府ノ認可ヲ受クベ  
キコト

四 政府ハ當該官吏ヲシテ經濟會議所又ハ其ノ構成員並ニ構成員



在ル團體ヲ組織スル者ノ業務ノ状況ヲ検査セシムルコトヲ得ル  
コト

五 政府ハ經濟會議所ノ役員ヲ解任スルコトヲ得ルコト

六 經濟會議所ニハ所得税・臨時利得税・法人税・印紙税及地方  
税ヲ免除スルコト

第八支節

必要ノ場ニ經濟會議所ノ支節ヲ置クコト

第九商工會議所法ヘ之ヲ廢止スルコト



極秘

經濟會議所設立要綱（案）

（一七 四一四）

大東亞共榮圈ノ完成ヲ期シ強固ナル國防國家態勢ヲ確立スル爲經濟體制ノ整備強化ヲ圖ルハ現下喫緊ノ要務ナリ即チ重要産業部門ニ於ケル統制會組織ノ確立ニ照應シテ産業ノ地方的組織ヲ整備シ戰時經濟統制ノ徹底ヲ期スルト共ニ地方産業相互間ノ圓滑ナル連絡調整ヲ圖リ以テ經濟總力ノ最高度發揚ヲ確保スルコトヲ要ス。依ツテ左記要領ニ依リ經濟會議所ヲ設立セントス。

記

第一目的

經濟會議所ハ國民經濟ノ總力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル爲其ノ地區内ニ於ケル産業經濟ノ綜合的連絡調整ヲ圖リ其ノ圓滑ナル統制運営ヲ期スルコトヲ目的トスルコト  
第一組織

裏面白紙



第三專業

- 一 經濟會議所ハ命令ノ定ムル一定ノ地區（全國ヲ七乃至九ノ區域ニ分ツ）ニ依リ之ヲ設立スルコト
- 二 經濟會議所ハ左ニ掲グル者ニシテ政府ノ指定スルモノヲ以テ之ヲ組織スルコト
  - 1 統制會ノ會員ニシテ當該地區内ニ事務所、營業所又ハ事業場ヲ有スルモノ
  - 2 當該地區内ニ事務所、營業所又ハ事業場ヲ有シ商業、貿易業、工業、鑛業、金融業、電氣事業、交通運輸業、土木建築業ヲ營ム者又ハ其ノ組織スル團體ニシテ統制會ノ會員又ハ會員タル團體ヲ組織スル者ニ非ザルモノ
  - 3 前二號ニ掲グルモノノ外當該地區内ニ事務所ヲ有スル團體
- 三 經濟會議所成立シタルトキハ其ノ構成員タル資格ヲ有スル者ハ總テ其ノ構成員タルモノトスルコト

經濟會議所ハ左ニ掲グル事業ヲ行フモノトスルコト

- 一 當該地區ニ於ケル地方的國土計畫ニ對スル參贊
- 二 當該地區ニ於ケル生産、配給及輸送並ニ之ニ要スル資材、資金、勞力、動力等ノ需給ニ關スル統制ニ對スル協力
- 三 當該地區ニ於ケル價格、運送費等ノ統制ニ關スル參贊
- 四 當該地區ニ於ケル産業ノ運営又ハ整備ニ關スル連絡調整

五 當該地區ニ於ケル産業經濟ニ關スル調査及研究

六 法令ニ依リ經濟會議所ニ屬スル事務其ノ他經濟會議所ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事業

第四條 權限

一 經濟會議所ハ行政官廳ニ建議シ又ハ行政官廳ノ諮問ニ對シ答申スルコト

二 經濟會議所ハ其ノ行フ事業ニ付處務規程ヲ定メ構成員

↑ 處務規程ニ従フコトヲ要スルコト

三 經濟會議所ハ其ノ構成員及構成員タル懸休ヲ組織スル者ニ對シ  
産業ニ關スル調査ヲ爲ス爲必要ナル資料ノ提出ヲ求ムルコトヲ得  
ルコト

四 法令ニ定ムル行政官廳ノ職權ノ一部ヲ經濟會議所ヲシテ行ハシ  
ムルコトヲ得ルコト

第五機關

一 役員 經濟會議所ニ會頭、理事、監事及評議員ヲ置キ必要ニ應  
ジ副會頭又ハ理事長ヲ置クコトヲ得ルコト  
會頭ハ政府之ヲ命ジ副會頭、理事長、理事及評議員ハ政府ノ認可  
ヲ受ケ會頭之ヲ命ジ監事ハ評議員之ヲ選任スルコト  
二 總會 經濟會議所ニ總會ヲ置キ重要ナル事項ハ總會ニ諮リ會頭  
之ヲ決スルコト

第六 經費及過怠金



一 經濟會議所ハ定款ノ定ムル所ニ依リ經營及過怠金ヲ賦課徵收スルコトヲ得ルコト

二 經費及過怠金ノ徵收ニ付テハ強制徵收權ヲ認ムルコト

第七 政府ノ監督及助成

一 政府ハ經濟會議所ニ對シ必要ナル事業ノ施行ヲ命ジ又ハ定款ノ變更其ノ他必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得ルコト

二 政府ハ經濟會議所ニ對シ其ノ業務及會計ニ關シ監督上必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得ルコト

三 定款ノ變更並ニ其ノ規程ノ設定及變更ハ政府ノ認可ヲ受クベキコト

四 政府ハ當該官吏ヲシテ經濟會議所ノ業務ノ狀況ヲ時時報告スルコトヲ得ルコト

五 政府ハ經濟會議所ノ役員ヲ解任スルコトヲ得ルコト

六 經濟會議所ニハ所得稅、法人稅、地租、家屋稅、印紙稅及地方稅ヲ課セザルコト

第八支部

必要ノ地ニ經濟會議所ノ支部ヲ置クコト

第九商工會議所法ハ之ヲ廢止スルコト

裏面白紙

日本商工會議所

東京市麹町區内三丁目十四番地

( )

地方税、所得税、法人税、地租及家屋税ニ關スル  
商工會議所ノ實情報告 (報告數 一一一ヶ所)

内 容

- 一、課税免除ノ會議所
- 二、課税ナキ會議所
- 三、一部課税會議所
- イ、課税ノ内容
- ロ、課 税 額
- ハ、會議所名

此の用紙の寸法は商工省決定の日本標準規格(BS 100x257mm)に準據したるものなり

裏面白紙

日本工商會議所

( ) 東京市麹町區内三丁目十四番地

一、課税免除ノ會議所 (公ニ諸税全部ヲ免税セラレ居ルモノ)

鹿兒島、川内、高田、宇和島、知取、豊原、松江、釧路、宇部、  
半田、神戸、大津。 . . . . . 一二ヶ所

二、課税ナキ會議所 (單ニ諸税全部ノ課税ナキモノ)

徳山、旭川、小樽、島原、岡谷、津、米子、足利、日田、東京、  
眞岡、徳島、帯廣、新居濱、布施、敷香、横濱、三條、釜石、  
柏崎、玉島、横須賀、福島、海南、川口、千葉、直江津、防府、  
會津若松、山形、和歌山、長濱、諫早、盛岡  
. . . . . 三四ヶ所

三、一部課税會議所 (諸税中ノ一部ヲ課税セラル、モノ)

大部分ノ賦課ハ地租並同附加税ニシテ報告會議所一一ヶ所ノ中  
一部課税會議所七五ヶ所、其ノ内容ヲ分類スレバ次ノ如シ

此の用紙の寸法は商工省決定の日本標準規格B5(182×257mm)に準拠したるものなり

裏面白紙



所 議 會 工 商 本 日

地 番 四 十 日 丁 三 内 ノ 九 區 町 御 市 京 東

( )

(イ) 課税ノ内容		(ロ) 課税ノ額	
地 租	ヲ納ムルモノ	五 九	會 議 所
地 方 稅	"	六 四	"
家 屋 稅	"	六	"
法 人 稅	"	ナシ	"
所 得 稅	"	ナシ	"
(但シ七五ケ所會議所ノ集計)			
地 租	同附加稅及地租割等	一九〇二	圓
家 屋 稅	同附加稅及家屋稅割等	六一八八	圓
地 方 稅	同附加稅	二〇九	圓
法 人 稅	以テ	ナシ	
所 得 稅	以テ	ナシ	
	以外ノ地方稅	ナシ	
	地租、家屋稅ノ附加稅	ナシ	
		一、一六、七八一	

此の用紙の寸法は商工省決定の日本標準規格B3に準據したるものなり

裏面白紙



日本商工會議所

東京市麹町區内之三丁目十四番地

( )

(一) 一部課稅會議所名

博多、小樽、佐賀、九州若松、倉敷、門司、佐世保、福山、  
 名古屋、宇都宮、尾道、長岡、八幡、靜岡、桐生、甲府、長  
 野、新潟、豊橋、秋田、大分、青森、仙臺、大垣、札幌、濱  
 松、明石、姫路、下關、尼崎、高崎、廣島、岐阜、大阪、大  
 牟田、前橋、別府、弘前、四日市、丸龜、八戸、栃木、長崎、  
 福井、唐津、直方、小倉、郡山、宇治山田、室蘭、金澤、高  
 知、三原、都城、北見、鳥取、一宮、函館、京都、水戸、戸  
 畑、中津、松山、堺、熊本、上田、富山、川崎、吳、津山、  
 岡崎、佐伯、坂出、敦賀、高岡  
 .....七五ヶ所

計 一、三、二、九、五、九

計

一、三、二、九、五、九

此の用紙の寸法は商工省決定の日本標準規格(JIS規格)に準拠したるものなり

裏面白紙

所議會工商本日

地番四十日丁三内ノ九區町麹市京東

( )

商工經濟會法提案理由

緊迫セル經濟消耗戰ニ照應シテ短期間ニ生産力ノ飛躍的上昇ヲ圖ル爲ニハ資材、資金、勞務、動力、輸送力等ノ生産要因ヲ重點的ニ軍需・生産産業ニ振向ケルト同時ニ之等生産要因ヲ最モ作業能率ノ高イ優秀企業ニ集中致シマシテ生産効率ノ上昇ヲ圖ル要ガアリ、統制會ノ設立、運営ニハ專ラ如上ノ點ヲ狙ツテキルノデアリマス。

然シナガラ鐵、石炭、機械工業等ノ重要産業ノ個々ニ就イナミマシテモ各産業ハ夫々地域的ニ分布シテ居リ、而モ各企業ハ各地ニ分工場ヲ有シ、地方ニ散在スル多數ノ中小企業ヲ下請、協力セシメテ經營サレテキルノデアリマス。統制會ガ勞務、原料、資材、動力等ノ生産要因ヲ統制スルト申シマシテモ、之等生産要因ガ地域的ニ分布サレテキル經濟場面ヲ抽象シテ個別的ニ統制シテイタトイフコトハ極メテ困難ナコトデアリ且之等生産要因ヲ機械的ニ組合セタマケデハ生産能率ハ發揮サレナイノデアリマス。

此の用紙の寸法は商工省決定の日本標準規格B5(182×257mm)に準拠したるものなり

裏面白紙

日本工商會議所

東京市麹町區内三丁目十四番地

( )

即チ上述シタル生産要因或ハ地方的ナ交通、運輸、物價、資金等ノ經濟要因ヲ地域の經濟場面ノ上デ綜合的ニ連絡統制スル必要ガアルノデアリマス。更ニ重要産業全般ノ地域の調整ヲ圖リ、之ガ再編成ニ協力スルト共ニ中小企業ノ橫斷的整備ニ當ル民間協力機關ノ必要ヲ痛感スル次第デアリマス。

殊ニ戰時經濟ノ進展ニ伴ヒマシテ民需生産ハ已ムヲ得ズ窮屈トナツテ參ルノデアリマスガ、民需品ノ生産ヲ確保シ之ガ圓滑ナル配給ヲ圖リ、消費規正等ヲ實施スルニ當リマシテハ縱ニ業種別團體統制ヲ行ヒマスト共ニ之等統制團體ヲ橫ニ連絡スル有力ナ民間協力機關ヲ是非トモ必要トスルノデアリマス。

業種別ノ縱斷的ナ統制カラ包括地域別ノ經濟場面的ナ統制ヲ必要トスルコトハ戰時經濟ノ計畫、運行ガ一段ト進ンダ段階ヲ示スモノト思フノデアリマス。

申スマデモナク今日ノ經濟統制ハ主ニ府縣行政ヲ通ジテ地域的ニ

此の用紙の寸法は商工省決定の日本標準規格(JIS X 6365)に準拠したるものなり

裏面白紙

日本工商會議所

東京市麹町區内三丁目十四番地

實施サレテキルノデアリマス。然シナガラ經濟ノ實相ハ府縣ニ依ツ  
テ夫々異ツテ居リ、而モ經濟ノ自己調整機能ガ全ク停止サレテキル  
今日ニ於キマシテハ府縣行政ト表裏一体ヲナス經濟ノ地域的調整機  
關ヲ除イテハ經濟統制ノ圓滑ナル運行ハ期シ難イノデアリマス。之  
民需物資ノ生産ヲ抑へ、軍需生産ヲ重點的ニ敢行シヨウトスル今日  
特ニ本案ヲ提出シタ理由デアリマス。

此の用紙の寸法は商工省決定の日本標準規  
格B5(182×257mm)に準拠したるものなり

裏面白紙

日本工商會議所

東京市麹町區内三丁目十四番地

( )

新機關の名稱は

産業經濟會議所となすを妥當なりと信ず

今日二十四日閣議決定にかゝる新法律案要綱の内容等に徴し左記の理由に依り新機關の名稱は産業經濟會議所となすを妥當なりと信ず

記

一 性格より見たる理由

眞に綜合的民間團體として地方行政廳と表裏一体となり産業經濟一般の施策に協力する機關なるを以て

一 目的より見たる理由

1、商工省始め産業經濟關係行政官廳に協力する機關なるを以つて

2、産業經濟の圓滑なる連絡を圖る機關なるを以つて

3、産業經濟の改善向上に努むる機關なるを以つて

此の用紙の寸法は商工省決定の日本標準規格(JIS規格)に準ずるものなり

裏面白紙



日本商工會議所

東京市麹町區内三丁目十四番地

( )

一 地區より見たる理由

1、新法「地區」は道府縣行政區劃へと著しく擴大されたるに依り從來の都市の産業を代表するが如き「商工」の名稱よりも民間唯一の綜合的經濟團體としては寧ろ「産業經濟」の名稱適切なるべきを以つて

一 構成員より見たる理由

1、構成員の所屬産業部門は商業及工業に限らず貿易業、鑛業、金融業、電氣事業、交通事業、土木事業等であり、更に農林畜水産業係と雖も團體を除けば亦この範圍に入り産業經濟全般に亘ることゝなるを以つて

2、從來は業者（法人、個人）のみを所謂、有權者とせるも、新法要綱に依れば中小業者の多くが團體名を以つて構成員とせらるため個々の産業部門のみを對象とするやに推測せしむるが如き名稱（例へば「商工」の如き）は不適當なるかに思はる

此の用紙の寸法は商工省決定の日本標準規格 JIS X 6185 に準ずるものなり

裏面白紙



日本工商會議所

東京市麹町區九丁目三十四番地

( )

ると共に他方、廣く産業經濟一般に關する公共體を意味せしむるの要あるを以つて

「事業より見たる理由

従來は「商工業」の改善發達を圖る爲の事業なりしところ、新法要綱に依ればその事業は何れも産業經濟に關して左記の如くなるを以つて

- 1、産業經濟に關する統制に關する協力
- 2、産業經濟の運営又は整備に關する連絡
- 3、産業經濟に關する調査及研究
- 4、産業經濟の改善向上を圖る爲の施設
- 5、其の他目的達成に必要なる事業

「監督より見たる理由

新法要綱に依れば「政府の監督」となり従來の所管廳たる商工省の外新に内務省等關係官廳の監督下にあるを以つて

此の用紙の寸法は商工省決定の日本標準規格(JIS X 618)に準據したるものなり

裏面白紙

日本商工會議所

東京市麹町區内三丁目十四番地

( )

一 其の他の主なる理由

- 1、商工省主管たる重要産業団体令ありて物資別縦の産業団体の根據法となり本令既に「産業」なる交字を使用せるところ今般商工省主管として横の産業団体として地域的に産業經濟に亘る機關設置の根據法を制定されんとす「産業經濟」なる文字を使用さるゝ方妥當なるべし
- 2、行政機構の簡素化による行政廳の權限委讓範圍は産業經濟一般に亘るべきを豫想さるべし

此の用紙の寸法は商工省決定の日本標準規格 JIS X 6266 に準據したるものなり

裏面白紙